

ルベク其ノ他ノ攻撃ハ其ノ左右ニ連繫シ主攻撃ヲ容易ナラシメ又ハ之ヲ掩蔽スルノ用ヲ爲ス
 實施上ノ見地ニ於テハ此等各攻撃ハ何等ノ區別ナク總テ左右ノ整頓ニ顧慮スルコトナク徹底的ニ
 遂行セラルベキモノトス

第二百二十六 各種戰鬥手段ヲ有スル指揮官ノ可能性ハ其ノ企圖シ得ル攻撃正面ノ廣狹ト密接ナ
 ル關係ヲ有ス其ノ可能性ハ必然的ニ諸目標ノ縱深及最モ有利ナル攻撃方向ノ選定ニモ影響スベシ
 然レドモ此ノ可能性ハ指揮官ノ精力ト兵力ノ節約ヲ最高度ニ迄進メ得ベキ指揮ノ卓越トニ絶大ノ
 關係アルコトヲ忘ルベカラス而シテ指揮官ハ屢、主攻撃ニ與フル方向ニ依リテモ敵ノ最モ危険ト
 スル諸點ヲ一舉ニ脅威シ之ヲ防勢ニ陥ラシメ右ノ兵力節約ニ依ル否定スベカラザル危険ヲ除去シ
 得ベシ

其ノ一 一般部署

第二百二十七 攻撃ハ通常大單位部隊ノ建制諸隊ノミニテハ行フヲ得ズ必ズヤ若干ノ補助部隊ヲ

要ス補助部隊ハ殆ド常ニ砲兵及戰車ヨリ成リ時トシテ機關銃大隊ヲモ増加セラレ

戰車ハ特ニ歩兵ガ其ノ前進中ニ遭遇スル各困難ヲ克服スルヲ援助スルニ適ス

機關銃大隊ハ戰線ノ受動的部分ヲ保持シ以テ活動的方面ニ一層強大ナル兵力ノ集中ヲ行ヒ得シム
 又攻撃ノ進出ニ際シテハ火力基地ヲ増援シ前進スル諸隊ノ側面ヲ掩護スルコトヲ得

指揮官ハ此等補助手段ヲ分配ス之ガ爲先ヅ隷下諸隊ノ需要ニ備ヘ次ニ其ノ殘餘ノ使用ヲ保留ス

第二百二十八 大單位部隊ノ攻撃部署ハ通常左ノ如シ

第一線ノ諸隊ハ指揮官ガ其ノ攻撃ニ附與スル重要度ニ對應スル正面ノ地域ニ其ノ目標ニ面シテ
 併立シテ展開セシム

第二線ニハ第一線ノ諸隊ヲ交代、超越又ハ増援シ或ハ會戰ノ不測ノ狀況ニ備フル爲控置セラレ
 タル諸隊ヲ有ス

第二百二十九 砲兵ハ特ニ裝甲兵器ニ對シ掩蔽セラルルヲ要スルモ爲シ得ル限り前方ニ展開シ以
 テ作戰中ニ其ノ陣地變換ヲ少カラシムル如クス

第二百三十 多數戰車ヲ廣正面ニ分配シ且縱長ニ梯次セシムルハ攻撃ニ於ケル戰車用法ノ一般ノ

原則ナリ

此ノ用法ハ大ナル有形無形ノ效果ヲ發生シ步兵ノ前進ヲ容易ニシ敵砲兵及對戰車火器ヲシテ其ノ火力ヲ分散スルニ至ラシム

指揮官ハ戰車ノ主力集團ノ參戰ノ時機ヲ決定ス戰車ハ時ニハ作戰行動ノ當初ヨリ參戰セシメ時ニハ一若クハ數目標ノ奪取後ニアラザレバ參戰セシメザルコトアリ

戰車ハ敵ノ攻撃準備破摧射撃ノ射程外ニ發進基地ヲ定メ之ヨリ某距離ノ地點ニ攻撃當初ノ部署ヲ取ル爲有利ニ其ノ速度ヲ利用スルコトヲ得

各戰車隊ハ或ハ隨伴任務ノ爲步兵ニ隸屬シ（凡テノ型ノ戰車トモ此ノ任務ニ服スルコトヲ得而シテ其ノ間之ヲ隨伴戰車ト稱ス）或ハ全般ノ機動ノ爲ニ會戰ニ參加シ大單位部隊ノ指揮官ノ直接隸下ニ置カル（此ノ任務ノ間此ノ戰車隊ハ全般機動戰車隊ト稱ス）

前者ノ場合ニハ步兵及戰車ノ混成集團構成セラレ正面及縱長ニ於ケル其ノ指揮ハ成ルベク諸隊ノ建制的連鎖ヲ中斷セザル如ク編成セラレ

後者ノ場合ニハ各戰車隊ハ逐次ニ正確ニシテ且地域的ニ限度アル任務ヲ受ク其ノ際大單位部隊ノ

指揮官ハ其ノ活動ヲ一般ノ部署ニ在ル砲兵及他ノ諸隊ノ活動ト協調セシム

第二百三十一 指揮官ハ各大單位部隊ノ攻勢部署ヲ其ノ全縱長ニ互リ敵裝甲兵器ノ攻撃ニ對シ防護スル爲總ユル必要ノ處置ヲ講ズ（第三百八十五）

其ノ二 攻撃準備射撃

第二百三十二 攻撃準備射撃ハ攻撃開始時前ニ行フ射撃ノ全般ヲ謂フ（第二百三十三）

此ノ準備射撃ハ主トシテ砲兵ノ任務ナレドモ步兵及飛行隊モ亦之ニ參加スルコトアリ

準備射撃ノ程度及實施期間ハ狀況ニ依リ差異アリ時ニハ縱長地域ニ於ケル敵ノ諸機關ノ破壊及制壓ヲ目的トシ時ニハ單ニ敵ノ第一線諸隊ノ制壓ヲ目的トス例外トシテ攻撃ハ準備射撃ナクシテ行ハル其ノ際ハ攻撃ガ奇襲的ニ行ハレタリト稱ス

準備射撃ニ關スル前記諸點ノ決定ハ敵ノ編成及我が指揮官ノ有スル戰鬪諸手段ニ關ス有力ナル戰車部隊ヲ配屬セラレ瞬間的ニ偉大ナル效果ヲ發揮シ得ル多數ノ砲兵ヲ有スルガ如キ場合ニハ攻撃

準備射撃ヲ短縮シ或ハ例外トシテ之ヲ省略シ得ルモノナリ

其ノ三 攻撃ノ實施

第二百三十三 攻撃ノ發進ハ指揮官ニ依リ極メテ明確ニ規定セララルヲ要ス

攻撃開始時トハ一般ノ規定トシテ攻撃部署ノ第一線諸隊ガ發進基地ヨリ進出スベキ時刻ナリ
若シ攻撃諸隊ガ敵ノ第一線ヨリ異ナル距離ニ在リテ諸隊夫々ノ發進基地ヨリ敵ノ第一線部隊迄砲兵射撃ニ依リ其ノ前進ヲ掩護スルヲ要スル如キ場合ニハ此ノ攻撃開始時ハ砲兵射撃ノ開始時タルコトアリ其ノ際各隊ノ進出ハ其ノ各異ノ狀況ニ應ジテ規定セララル

攻撃開始時ハ適時ニ確實ナル方法ニ依リ通告セララル豫メ準備セザル攻撃ニ在リテハ屢、一ノ信號或ハ信號ノ綜合ニ依リテ之ヲ傳達ス攻撃發起ハ此等信號ノ直後又ハ若干時間ノ經過後ニ開始セララル但シ此等ノ協定ハ其ノ祕密ヲ確保スル爲絶エズ更新セララルベキモノナリ

第二百三十四 指揮官ハ少クモ縱長ノ攻撃ノ爲ニハ各異ノ目標ニ對スル前進條件即チ前進ノ平均

速度、各目標上ノ停止時間、逐次ノ目標ヨリ運動再開ノ爲ノ協定竝ニ運動再開ヲ命令スベキ擔當者ノ指定、砲兵ノ移動等ヲ決定ス

此等ノ處置ハ敵ガ有力ニシテ防禦ノ爲多クノ餘裕アルニ隨ヒ益、之ヲ細密ニ規定スベキモノトス
第二百三十五 砲兵ノ準備射撃ノ有無ニ拘ラズ攻撃ハ**砲兵ノ全集團**ノ濃密ナル火力ノ掩護下ニ發進ス

一般原則トシテ此ノ火力活動ハ次ノ如キ各射撃ニ依リ實施セララル

直接支援射撃 攻撃ノ第一線諸隊(歩、戰車)ヲ爲シ得ル限り近ク掩蔽シ且前進中ニ逐次ニ遭遇

スル諸抵抗ヲ制壓スベキ射撃

掩護射撃 直接支援射撃ヲ爲シ得ル限り縱長地帯ニ延伸シテ更ニ敵ガ其ノ自動火器及對戰車火

器ヲ配置シテ活動シ且我方攻撃地區ヲ通視シ得ベキ遠距離ノ諸點ヲ制壓スベキ射撃

對砲兵射撃及遠距離活動射撃 縱長的效果ニ依リ敵砲兵ヲ制壓シ遠距離觀測所ニ目潰ヲ加ヘ尙

豫備隊及補給ノ行動ヲ阻止スベキ諸種ノ射撃

直接支援及掩護ノ各射撃ハ次ノ砲兵集團ニ依リ行ハル

直接援助砲兵集團 其ノ射撃ハ直接ニ且優先的ニ攻撃部署ノ第一線部隊ノ要求ニ依リ行ハル
全般任務砲兵集團 大單位部隊ノ指揮官ノ命令ニ依リ行動ス
對砲兵及遠距離活動ノ射撃ハ原則トシテ特別ノ集團ニ依リ行ハル

第二百三十六 攻撃ニ戰車ノ參加スルト否トヲ問ハズ又其ノ戰車ノ任務如何ニ拘ハラズ砲兵ノ活動ハ前述ノ如ク行ハル然レドモ此ノ活動ノ方法ハ攻撃部署ノ第一線ヲ構成スル諸隊ノ種類及特性ニ適合スルヲ要ス

攻撃ニ戰車ヲ使用セザルトキ又ハ戰車ガ隨伴任務ノミヲ受ケタルトキハ步兵諸隊或ハ狀況ニ依リ步兵及隨伴戰車ノ混成集團ハ直接援助砲兵集團ニ依リ援助セラル其ノ際直接支援射撃ハ展開セル先頭諸隊ニ最モ近ク實施セラル但シ使用彈藥ノ安全地帯及若シ隨伴戰車アルトキハ其ノ戰車ノ機動ニ要スル範圍ハ之ヲ顧慮ス(第三百九十八)

步兵及隨伴戰車ノ混成集團ガ更ニ其ノ前方ニ全般機動戰車ヲ有スルトキ(第二百三十)ハ直接援助砲兵集團ニ依リ援助セラルルハ後者ノ戰車隊ナリ其ノ際直接支援射撃ハ全般機動戰車ノ第一線部隊ノ可ナリ前方ニ行ハル是該戰車隊ヲシテ友軍砲兵ノ砲彈ヲ恐ルルコトナク其ノ武器及速度ヲ十

分ニ利用シ得シメン爲ナリ

前項ノ場合ニ於テ直接支援及掩護射撃ノ全般ハ恰モ彈幕ニ依リ閉鎖セル如キ地區ヲ逐次ニ成形シ其ノ内部ニテ全般機動戰車次ニ步兵及隨伴戰車ノ混成集團ガ自己固有ノ手段ニ依リ直接ノ抵抗ヲ制壓シツツ躍進的ニ前進ス其ノ際砲兵ノ指揮ノ編成ハ步兵及隨伴戰車ノ混成集團ガ全般機動戰車ニ依ル掩蔽ヲ失フ場合ニ於テ該混成集團ノ各ガ遲滯ナク直接支援射撃及掩護射撃ヲ得ル如ク豫メ確立セラルルヲ要ス

第二百三十七 凡ユル場合砲兵ハ步兵及戰車ガ其ノ攻略セル目標上ニ駐止間之ヲ掩護スルノ準備ニ在ルベシ

第二百三十八 飛行隊ハ其ノ爆彈ニ依リ戰場ノ後方ニ砲兵ノ射撃ヲ延長ス時トシテ其ノ手段之ヲ許ストキハ攻撃前進スル第一線部隊ノ前方ニ其ノ機關銃火ヲ注グコトアリ

其ノ四 指揮官ノ活動

第二百三十九 會戰ノ各時機ニ於テ大單位部隊ノ指揮官ハ其ノ砲兵火力ノ機動、飛行隊ノ參戰(第二百九十六及其ノ以下)竝ニ特ニ其ノ豫備隊タル歩兵及戰車ノ戰鬪加入ニ依リ主トシテ其ノ活動ヲ行フモノトス

指揮官ハ又攻撃中ニ或ハ戰線ノ某正面ニ火力ノ增強ヲ爲シ或ハ集合中ノ敵ノ諸隊ヲ散亂シ敵ノ歩兵又ハ戰車ノ逆襲ヲ破推シ或ハ脅威セラレタル側面ヲ掩護スル等砲兵ヲシテ其ノ當初ノ射擊計畫中ニ豫期セザリシ戰況ニ迅速ニ應ゼシムル爲飛行隊ト協力シテ集團的ノ活動ヲ行ハシムルコトアリ

指揮官ハ歩兵又ハ戰車ノ豫備隊ノ配置ヲ規定シ且決勝的成果ヲ得ント欲スル地帯ニ適時且確實ニ之ヲ參戰セシムル如ク漸次該地帯ニ接近セシム

指揮官ハ前項ノ部隊ヲシテ或ハ攻撃ノ續行ヲ確保シ或ハ攻撃前進中ノ大單位部隊ヲ増援シ或ハ失敗セル機動ヲ所望ノ方向ニ再興シ或ハ戰線ノ間隙ヲ充實シ側面ヲ掩護シ不成功ヲ局限スル等ノ爲戰鬪ニ加入セシム

指揮官ハ當初ノ豫備隊ノ參戰スルニ從ヒ其ノ隸下ノ總ユル部隊ヨリ適時豫備隊ヲ再建スルニ努ム

ベシ然レドモ必要ニ際シテハ戰勝ヲ爭フ爲其ノ最後ノ豫備隊ヲ戰鬪ニ投ズルニ躊躇スベカラズ
指揮官ハ會戰ノ指導ニ方リテハ其ノ部下ノ意志及自發心ヲ擧ゲテ共同ノ目的ニ指向シ絶エズ其ノ協調ヲ確保シ以テ戰勝ニ缺クベカラザル一致ノ特性ヲ發揮スルヲ要ス又會戰ノ計畫ニ於テモ其ノ實施ニ於テモ自己ノ人格ヲ深刻ニ具現スルコト肝要ナリ

第五款 會戰ノ完結

第二百四十 攻撃成功セバ敵ノ崩壞ヲ完全ニシ其ノ兵力ノ再建ヲ妨遏スル爲猶豫ナク戰果ヲ擴張ス

然レドモ實現セラルル突破口ハ通常過狹ニシテ之ヨリ豫備隊ヲ突入セシムルノミニテハ多クノ場合前項ノ如キ成果ヲ獲得スルヲ得ズ

故ニ指揮官ハ特ニ其ノ突破口ノ各支點ヲ陥落セシメ以テ突破地帯ヲ擴大スルニ努ムベシ
突破口ノ擴大ハ其ノ兩端ニ對スル旋回機動ニ依リ或ハ攻撃地帯ノ漸次ノ延伸ニ依リ或ハ兩者ノ併

用ニ依リ獲得セラルベシ

第二百四十一 破壊ニ依リ阻害セラレ後衛ニ依リ阻止セラレ加フルニ既ニ戰鬪ノ爲疲勞セル軍隊ヲ以テ行フ戰果ノ擴張ハ緩慢漸進的トナリ其ノ進捗斷續的トナルノ虞アリ

故ニ極力敵トノ觸接ヲ保チ又ハ之ヲ恢復スルニ努力ス

各大單位部隊ハ次第ニ益々分散的トナリ縱長ニ梯次シ諸兵種ヨリ成ル集團ニ區分セラルル配備ニ漸次ニ移ル而シテ其ノ各集團ハ果敢ニ前進シ其ノ活動ハ敵ノ弱點即チ間隙、外翼及退路等ヲ目標トスル戰果擴張方向ノ指示ニ依リテ協調セシメラル

狀況上其ノ使用ヲ許スニ至ルヤ敵ノ瓦解ハ主トシテ機械化部隊(第三十八)及飛行隊ニ要求セラレ其ノ兩者ハ退却中ノ敵ノ縱隊及縱列ヲ攻撃シ且各地障ニ於テ退却遲滯シアル敵ノ諸隊ヲ超越スルニ努ム騎兵部隊次デ自動車化部隊モ漸次ニ此等ノ活動ノ成果ヲ持續スル爲參戰ス

交通線ノ迅速ナル恢復ハ至急ニ企圖スルヲ要ス

敵若シ新陣地ニ據ルトキハ爲シ得ル限り速カニ新ナル攻撃ヲ行フベシ

若シ敗敵ガ抗戰ヲ斷念シ混亂シテ退却セバ追撃ヲ開始ス追撃ハ中斷スルコトナク放膽且激烈ナル

ヲ要ス

第二百四十二 攻撃成功セザルトキハ指揮官ハ先ヅ占領地區ノ領有ヲ確實ニシ次デ砲兵ノ掩護ノ下ニ部署ノ秩序ヲ恢復シ最モ損傷セル部隊ヲ後退セシメ且速カニ其ノ改編ヲ實施ス

指揮官ハ又成ルベク速カニ攻勢ヲ再興シ得ル爲兵員及彈藥ヲ補充ス

第六款 攻勢會戰ニ於ケル通信

第二百四十三 接敵間ニ於テハ通信ノ編成ハ機動中ニ發生スベキ總ユル必要ニ速カニ適應シ得シムル爲十分自在性アル方式ヲ取ルヲ特性トス特ニ至短時間ニ各情報機關ノ通信ヲ確實ニスルヲ要ス

觸接及攻撃準備戰鬪間ニハ右ノ他適時ニ此等ノ作戰行動ニ任ズル諸隊ノ支援ニ要スル連絡ヲ目的

トス

前記諸項ノ作戰期ニ於テハ

迅速ナル傳令ヲ大イニ利用シ

電話電信網ノ架設及擴張ハ指揮官ガ其ノ攻撃ヲ豫定スル地帯ニ於テハ準備セラレ

無線電信ハ緊要缺クベカラザル場合(防空隊、飛行機、騎兵部隊等)ノ外ハ使用セラレズ

攻撃ノ爲通信ノ編成ハ指揮官ヲシテ速カニ砲兵及飛行隊ノ火力竝ニ豫備隊ヲ運用シ得シムルヲ要ス

通信編成ハ刻下ノ狀況ニ密接ニ適合スルト共ニ尙速カニ新ナル狀況ニモ應ジ得ルヲ要ス通信編成ノ發展ハ狀況ニ依リ一樣ナラズ

陣地ニ據レル敵ニ對シテハ攻撃準備ノ爲ニ要スル期間竝ニ攻撃前進中ニ要スル駐止時間アルヲ以テ頗ル充實セル通信網ヲ容易ニ編成スルコトヲ得

防備不完全ナル敵ニ對シテハ攻撃ヲ迅速ナラシムル爲通信ノ建設ハ通常嚴ニ必要缺クベカラザルモノニ止ム

攻撃ノ準備間電話網ハ通信組織ノ骨子ヲ構成ス此ノ通信網ハ攻撃ノ進捗ニ伴ヒ必要ヲ生ズベキ迅速ナル擴張ニ對シ最モ良ク應ジ得ルヲ要ス

無線電信ハ指揮官ノ命令ニ基キ或ハ敵ノ攻撃ニ際シ活動ヲ開始シ得ル準備ニ在ルヲ要ス

攻撃間ハ各手段トモ悉ク使用セラレ特ニ無線電信ハ常時所要ノ連絡ヲ確保シ得ベキ唯一ノモノタルベシ

攻撃地區ニ電話網ヲ延長スルコトハ著大ナル困難ヲ呈スルヲ以テ通常最モ重要ナル部下トノ連絡ニ止メ且緩急度ニ隨ヒ漸次ニ他ノ連絡ニ及ブヲ適當トス

戰果ノ擴張及追撃間ニ於テハ通信ノ編成ハ先ヅ以テ指揮官ニ觸接ノ保持又ハ之ガ恢復ニ任ズル諸隊トノ密接ナル連絡ヲ確保シ得シムルヲ要ス其ノ他部署内ニ構成セラルル各種ノ集團次デ追撃開始ニ任ズル各支隊トノ連絡ニ速カニ適應シ得ルヲ要ス

迅速ナル傳令及無線電信ハ頗ル廣ク利用セラル

第七款 攻勢會戰ノ特別ノ場合

其ノ一 對陣正面ノ攻撃

第二百四十四 對陣正面ニ於テハ攻勢會戰ハ敵ノ抵抗陣地ニ對スル直接ノ觸接ヨリ發進シテ行ハル該觸接ハ若干期間前ヨリ保持セラレ且奇襲ヲ避クル爲又ハ攻撃ノ發進條件ヲ改善センガ爲ニ豫メ行ヘル部分的作戰ニ依リ查覈セラレアリ對陣正面ノ攻勢會戰ハ突擊ニ依リ開始セラレ

第二百四十五 敵ノ防禦編成ノ偵知及第一線ノ諸隊ニ依ル掩護ハ攻撃ノ準備ヲ長時日前ヨリ企圖シ得シム攻撃準備ノ實行ニ方リテハ敵ノ注意ヲ喚起セザル如クシ以テ奇襲ノ利益ヲ收メ得ルニ努ム

攻撃ニハ著大ナル物質的手段殊ニ強大、多數且彈量豐富ナル砲兵ノ使用ヲ必要トシ其ノ射擊ハ細密ニ準備セララルヲ要ス

攻撃ハ又頗ル強大ナル戰車ノ使用ニ依リ容易ナラシメラルベシ

攻撃ノ進捗ニ伴ヒ砲兵ノ活動不統一トナリ其ノ效果減少スルノ時期ニ於テ尙敵陣地ノ縱長内ニ存續スル防備ニ對シ活動セシムル爲指揮官ハ戰車ヲ控置シ置クヲ有利トス

奇襲ハ攻撃成功ノ爲重要ナル役割ヲ演ズ故ニ長期ノ砲兵準備射擊ヲ要スル場合ニ於テモ突擊時機ヲ至當ニ選定シ以テ奇襲ヲ求ムルヲ要ス

對陣正面ノ防禦編成ハ頗ル發展強化シアルヲ以テ會戰ハ屢、長期ニ亙ルベシ故ニ敵ノ消耗ヲ利用シ最後ノ壓迫ニ依リ之ヲ決定的ニ突破スルニ至ル迄敵正面ヲ動搖セシメ又ハ之ヲ切り崩スベキ逐次攻撃ノ編成ヲ必要トス

其ノ二 築城正面ノ攻撃

第二百四十六 築城正面ノ攻撃ハ對陣正面ノ攻撃ト同一原則ニ從ヒ行ハルルモ更ニ一層威力アル手段ヲ用フ

第三章 防勢會戰

第二百四十七 防勢ノ一般特性ハ第二篇ニ定義セルモ其ノ形態ハ狀況ニ依リテ次ノ三者中何レカノ一タルベシ

退却意志ナキ防勢 敵ノ如何ニ拘ラズ與ヘラレタル陣地ヲ固持ス
 退却機動 故意ニ企圖スル後退ニシテ其ノ目的ハ敵ニ逐次ノ抵抗ヲ加ヘ敵觸接スルニ至ルヤ之
 ヲ退避シ以テ時間ノ餘裕ヲ得又ハ選定セル陣地ニ敵ヲ誘致セントスルニ在リ
 退却 敗戦後後衛ノ掩護ノ下ニ主力ヲ敵ノ壓迫ヨリ免レシメントスルモノナリ
 此等三箇ノ形態中第一ノモノハ常規ト認ムベキモ他ノ二者ハ特別ノ狀況ニ應ズル例外タルニ過ギ
 ザルモノトス

第一款 退却意志ナキ防勢

其ノ一 一般特性

第二百四十八 敵ノ如何ニ拘ラズ與ヘラレタル地區ヲ固持スベキ防禦ハ天然又ハ人工ノ障礙物ニ
 依リ掩蔽セラルル抵抗陣地上ニ編成セラレ左ノ如ク戰鬪ヲ指導ス

先ヅ前進部隊及長射程砲兵ノ火力活動ト破壊作業トニ依リ敵ヲ最モ遠距離ニ遲滯セシメ

次ニ歩砲ノ火力ニ依リ敵ノ諸隊ヲ離解セシメ以テ其ノ攻撃ヲ失敗セシムルニ努メ

最後ニ攻者ガ障礙物ヲ超過セントスルトキ歩砲全火器ノ火力ヲ之ニ集中ス

戰鬪ハ要スレバ抵抗陣地ノ内部ニテ豫備隊ノ參加ニ依リ繼續セラレ

此ノ陣地上ニテ各防者ハ最後迄抵抗シ退却スルヨリモ寧ろ現地ニ死スルヲ要ス

防勢ノ力ハ障礙物ト連合セル良好ナル火網地區ノ至當ナル編成及豫備隊ノ機動ニ存ス

其ノ二 防禦陣地

第二百四十九 防禦陣地ハ本質トシテ一ノ抵抗陣地ヲ有シ抵抗陣地ハ多クノ場合前哨組織ニ依リ
 掩蔽セラレ

抵抗陣地ハ其ノ外縁即チ主線ト阻止線トニ依リ定マル縱長ヲ有ス但シ主線及阻止線ナル兩字句ハ
 兵力ノ線狀配置ヲ意味スルモノニアラズシテ單ニ全般ノ經始ヲ示スモノナリ

第二百五十 防禦陣地ノ占領ハ其ノ陣地内ニ各手段特ニ火力手段ヲ縱長ニ梯次スルヲ特性トス

此ノ梯次ハ安全ヲ保證シ軍隊ノ損害ヲ減少シ火力幕ノ設置ヲ有利ニシ逆襲行動ヲ可能ニシ且敵ヲシテ逐次ノ攻撃ヲ餘儀ナクセシム
從ツテ此ノ梯次ハ障碍物ノ價值薄弱ニシテ防禦編成十分ナラザルニ從ヒ益々其ノ縱深ヲ大ニスベキモノナリ

然レドモ多數ノ防禦線上ニ諸隊ヲ等齊ニ分置スルガ如キコトアルベカラズ是防禦組織ノ堅固ト相容レザル兵力ノ分散ニ陥レバナリ

1、抵抗陣地

第二百五十一 抵抗陣地ハ防禦陣地ノ主要ナル部分ヲ構成ス

防禦兵力ノ重點ノ配置セラルルハ同陣地ニシテ會戰ハ同陣地ノ爲ニ行ハルルナリ

抵抗陣地ノ選定ハ次ノ主要ナル兩條件ニ適應スルヲ要ス

指揮官ガ敵ノ攻撃ヲ破摧セント決シタル地域上ニ一般彈幕ト稱セララルル全兵器ノ火力幕ヲ構成

シ得ルコト

此ノ彈幕ハ濃密、連續的ニシテ縱深アルヲ要ス之ハ防禦スベキ陣地上又ハ其ノ掩護スル地區

上ニ梯次セル歩砲ノ火器及對戰車火器ノ連合セル火力網ニ依リ成形セラル

攻者ノ侵入特ニ其ノ裝甲兵器ニ對シ破壊工事ト併用セラレ且彈幕射撃ニ依リ掃射セラルル天然

又ハ人工ノ障碍物ノ存在ニ依リ防者ヲ掩護スルコト

抵抗陣地ハ尙左ノ諸件ヲ必要トス

主線ノ前方ニ清掃セル射界ヲ利用スルコト天然障碍物ノ存在セザルトキ特ニ然リ

抵抗陣地ノ前方及其ノ全縱長上ヲ通視シ得ル觀測所ヲ掩蔽スルカ又ハ少クモ之ヲ同陣地内ニ包

含スルコト

陣地後方ニハ遮蔽セル交通線ヲ有スルコト

主線ハ陣地ノ防禦ニ任ズル諸隊ノ配備ノ前方限界ヲ劃ス抵抗ノ主ナル努力ヲ致スベキハ實ニ此ノ線上ナリ

阻止線ハ陣地内ニ突破口ヲ作レル敵ノ進撃ヲ破摧シ砲兵及後方ヲ掩蔽シ且主線ノ失地部奪還ノ爲

ノ逆襲ニ際シ該線ノ全部又ハ一部ヲ發進基地ト爲シ得ルヲ要ス
 阻止線ヲ防守スル重火器ハ爲シ得ル限り増援火力トシテ一般彈幕ニ參加ス
 主線及阻止線ハ更ニ隔障部(譯者註 陣地ノ破綻ヲ一部ニ制限スル爲ニ設クルモノナリ)ニ依リテ連絡セラレ之ニ依リ敵ノ前進ヲ局限シ尙敵ガ成功セル場合ニ於テモ其ノ横方向ノ戰果擴張ヲ爲シ得ザラシム

2、前哨

第二百五十二 抵抗陣地ハ通常前哨組織ニ依リ掩蔽セラル

前哨ハ左ノ任務ヲ有ス

敵ノ接近ヲ監視シ且指揮官ニ情報ヲ提供ス

敵歩兵ノ重火器ノ火力竝ニ裝甲兵器ノ侵入ニ對シ抵抗陣地ノ戍兵ヲ防護ス

戍兵ニ戰鬪準備ヲ整フル爲所要ノ時間ヲ與フ

狀況ニ依リテハ抵抗陣地ニ課セラルル任務ニモ參加ス

此等ノ任務ハ原則トシテ二箇ノ梯隊即チ監視梯隊及抵抗梯隊ニ分擔セシメラル
 但シ狀況ニ依リテハ單ナル監視ニ任ズル單一ノ梯隊ノミヲ設クルコトアリ
 前哨ノ位置及編成ハ晝夜ニ依リ異ナルコトアリ
 抵抗梯隊ノ位置ハ敵ニ通視ヲ許スベキ諸觀測所ヲ包含シ良射界ヲ有シ監視梯隊ヲ收容シ且自ラハ抵抗陣地ノ火力殊ニ特定ノ砲兵部隊(譯者註 抵抗陣地ノ戰鬪參加ノ爲ニ指定セラレアル砲兵)ノ火力ニ依リ支援セラレ得ルヲ要ス

砲兵ノ若干部隊ハ敵ヲ成ルベク遠距離ニ射撃シ得ル爲抵抗陣地ノ前方ニテ前哨ノ掩護下ニ展開セシメラルコトアリ

抵抗陣地ノ編成ノ初期ニハ前哨ノ對戰車部隊ヲ増援スルヲ必要トス

前哨ハ狀況ニ依リ次ノ目的ニテ抵抗陣地ノ任務ニ加ルコトアリ

抵抗陣地ノ前方ニテ重要ナル地點(觀測所、一般彈幕ノ及バザル地域ヲ一時的ニ射撃シ得ベキ支撐點等)ヲ一時保有シ置カントスルトキ

敵ノ攻撃氣勢ヲ分散セシメントスルトキ

前哨ノ任務、種類及兵力ハ大單位部隊ノ各特異ノ狀況ニ從ヒテ差異アリ
何レノ場合ニ於テモ前哨ノ任務ハ抵抗陣地編成作業ノ進捗狀態竝ニ該陣地ノ守兵ガ其ノ戰鬥準備
ヲ整ヘ得ベキ時間ヲ考慮シ指揮官ニ依リ明白ニ決定セラル

第二百五十三 所要ノ地域及兵力ヲ有スルトキハ前哨ノ前方ニ對戰車兵器ヲ有スル若干支隊（騎
兵、機械化又ハ自動車化部隊）ヲ進出セシムルヲ有利トス該支隊ノ任務ハ飛行隊ト連絡シテ成ル
ベク遠ク敵ヲ偵察シ敵ノ前進ニ連繫シテ行動シ之ヲ戰場ノ全縱長ニ於テ遲滯セシメ特ニ爲シ得レ
バ砲兵ト協力シテ敵ノ必ズ通過スベキ地點ヲ成ルベク長ク保持スルニ在リ
此等ノ支隊ハ同時ニ破壞作業ノ實施ヲ掩蔽ス

其ノ三 防禦ノ編成及準備

第二百五十四 防勢ハ指揮官ノ主動性ヲ制限スト雖モ指揮官ハ狀況之ヲ許ス限り防禦ノ豫測ヲ遠
大ニ進ムベキ絶對的ノ責務ヲ有ス

此等ノ豫測ハ防禦計畫ニ記述セラル（第十九）

此ノ計畫ハ指揮官ノ作戰ノ思想ニ從ヒ作ラルモノニテ其ノ基礎ハ敵ニ禁制スベキ攻撃方向ノ選
定ニ在リ其ノ選定ニ方リテハ該方向ガ敵ニ與ヘ得ベキ諸利益及防禦指揮官ガ爾後ノ攻勢再興ノ爲
保留スベキ活動ノ自由ヲ考慮スベキモノトス

防禦計畫ハ後ニ述ブル一般指示ニ準據シ各大單位部隊ノ任務、防禦ノ諸陣地、一般ノ配備、裝甲
兵器ニ對スル防禦條件、砲兵ノ用法、破壞ノ實施、航空部隊ノ任務、防空、通信及連絡、側面ノ
掩護處置、豫備隊ノ位置及狀況ニ依リ之ガ使用ニ關スル豫測ヲ決定ス
同計畫ニハ又工事ノ緩急順序ヲ決定シ時宜ニ依リ將來ノ増援又ハ兵力抽出ヲ記載ス尙諸部ノ編成
及其ノ使用ヲ豫定ス

1、情報及觀測

第二百五十五 情報ノ探求ハ第三篇所載ノ如ク行ハル（第二百二十一）

觀測ハ防禦ニ於テ特ニ重要ナリ之ガ爲情報ノ探求計畫ニハ觀測計畫ヲモ附ス觀測計畫ノ目的ハ全手段ノ連合セル活動ニ依リ陣地ノ全縱長ニ互リ缺陷ナク且成ルベク廣ク不斷ノ觀測ヲ實施シ尙其ノ觀測結果ノ確實ナル普及及迅速ナル利用法ヲ講ズルニ在リ

2、一般配備

第二百五十六 各大單位部隊ハ防禦ヲ有利ニ行ヒ且戰鬪指揮ヲ縱長ニ互リ行使シ得ル爲併立セシ
ノヲル

各大單位部隊ノ行動地域ハ其ノ任務、地形ノ状態、其ノ防守スベキ方向ノ重要度竝ニ交通線ニ從ヒ指揮官ニ依リ決定セラル各單位部隊間ノ連絡法モ確實ニ指示セラル

側面ノ掩護ハ地區ノ編成、破壊及豫備隊ノ配置ニ依リテ確保セラル

各大單位部隊ハ其ノ行動地域内ニ縱長ニ梯次シ其ノ主力ハ抵抗陣地上ニ、豫備隊ハ該陣地ノ後方ニ在ラシム各大單位部隊ノ内部ニ於ケル抵抗陣地ノ諸隊ノ配備ハ要點ノ形式即チ抵抗中心及支撐

點ニ依リ構成セラル此等ノ諸點ハ堅固ニ占領セラレ十字火網ニ依リ十分ニ掩護セラレ且克ク監視、掃射セラレ尙障碍物ヲ設置セル散兵壕ニ依リ圍繞セラル

併立セル各部隊ニ抵抗陣地ノ占據ヲ如何ニ區分配當スベキヤハ保持スベキ兵力點ノ決定ノ結果ニ依リ定ム

各部隊ハ其ノ行動地域内ニ前哨ヲ配置ス

第二百五十七 各大單位部隊ノ砲兵ハ二箇ニ區分セラル其ノ一ハ直接援助砲兵ト謂ヒ隸下諸隊ノ使用ニ供シ他ノ一ハ全般任務砲兵ト謂ヒ其ノ使用ハ指揮官自ラ之ヲ保留ス

全般任務砲兵ハ抵抗陣地ノ防禦ニ參加ス但シ敵攻撃ノ發展ニ備フル爲指揮官ヨリ命ゼラルル火力機動ヲ直チニ實施シ得ル状態ニ在ルヲ要ス

砲兵ノ一般ノ配備ハ其ノ主力ヲ以テ敵ノ攻撃部隊ノ集合竝ニ發進地域ヲ射撃シ且其ノ全力ヲ以テ一般彈幕ニ參加スルト共ニ原則トシテ阻止線ノ前方ヲ射撃シ得ル如ク抵抗陣地ノ掩蔽下ニ縱長ニ

梯次セラル(註)第二百五十二ニ示セル如ク抵抗陣地ノ前方ニ一時的ニ出セルモノヲ除ク

第二百五十八 豫備隊ハ抵抗陣地ノ保全又ハ恢復ノ爲ニ速カニ戰鬪參加ヲ爲シ得ル如ク梯置セラル

豫備隊ニハ其ノ使用シ得ル兵力ノ許ス限り戰車部隊ヲ含マシメ且之ヲ特ニ全般ノ逆襲ニ使用スルヲ有利トス

3、装甲兵器ニ對スル防禦

第二百五十九 装甲兵器ニ對スル防禦ハ戰場ノ全縱長ニ互リテ行ハル(第四百二十)飛行隊、騎兵又ハ時宜ニ依リ第二百五十三ニ示セル各支隊竝ニ砲兵ガ之ニ參加ス敵装甲兵器ガ前哨ノ活動圏内ニ入ルヤ前哨ニ配置セラレタル對戰車火器竝ニ砲兵ハ之ニ對シ射撃ス

此ノ装甲兵器ガ抵抗陣地ニ接近スルニ至ルヤ其ノ戰鬥ハ決戰的段落ニ入ル之ガ爲防禦ノ射撃計畫ニハ障礙物ト其ノ活動ヲ連合スル對戰車火器竝ニ砲兵ノ使用ヲ豫定ス豫備隊ニ控置セラレタル戰車隊ハ前述ノ活動ニ依リ離散セシメラレシ敵装甲兵器ニ對シ攻撃ヲ實施スル準備ヲ爲シアルベシ側面及後方ノ掩護ハ現用装甲兵器ノ行動半徑ノ廣濶ナルニ依リ細心ニ準備セラル

4、砲兵ノ用法

第二百六十 砲兵ノ任務ハ次ノ如シ

敵ガ抵抗陣地ノ突撃距離ニ近接スルヲ妨遏シ少クモ其ノ配備ヲ離開セシム

敵若シ抵抗陣地ノ攻撃ニ移ルニ至ラバ全火力ヲ以テ一般彈幕ニ參加シ要スレバ陣地ノ全縱長ニ

互リ抗戰ノ繼續ヲ確保ス

會戰ノ各期ニ於テ装甲兵器ノ破壊ヲ求ム

第二百六十一 前條ノ任務中ノ第一ハ砲兵ノ周到ニシテ缺陷ナキ觀測竝ニ其ノ材料及射撃ノ自在性アル機動ヲ必要トス該任務ハ決定的成果ヲ齎スコトアリ

砲兵ハ大射程砲及抵抗陣地ノ前方ニ一時的ニ展開セル遊動砲兵ノ射撃ニ依リ損害ヲ與ヘ得ベキ總ユル目標ヲ成ルベク遠ク捉フルコトニ努ム(第二百五十二)

敵ノ攻撃切迫セリト認メラルルトキ砲兵ハ攻撃準備破摧射撃ノ開始ヲ命ゼラルルコトアリ其ノ目

的ハ敵ガ攻撃部署ヲ探ラントスルトキ之ニ打撃ヲ加フルニ在リ

第二百六十二 抵抗陣地ノ攻撃ニ際シテハ砲兵ハ防禦ノ全兵力ニ依リ最大ノ速度ニテ主線ノ至近距離ニ瞬間的ニ行フ其ノ阻止射撃ニ依リ一般彈幕ニ參加ス此ノ阻止射撃ハ要スレバ反復セラル右阻止射撃ノ目的ハ左ノ如シ

歩兵火力ヲ増援シ又ハ其ノ缺陷ヲ補ヒ以テ一般彈幕ノ縱長及威力ヲ増大ス

障碍物又ハ破壊ト連合シテ敵ノ戰車及豫備隊ノ進出路ヲ遮斷ス

抵抗陣地ノ内部ニ於テハ砲兵ノ活動ハ正確ナル情報ヲ得ラレザルニ依リ益々困難トナルモ觀測ヲ連續的ニ行フヲ得バ頗ル有效ナルコトアリ

第二百六十三 砲兵ノ使用計畫ニハ又對砲兵戰計畫及交通遮斷射撃計畫ヲモ包含ス

5、地區ノ編成及破壊

第二百六十四 地區ノ編成ハ總テノ防禦編成ニ缺クベカラザル補足ナリ其ノ發展ハ之ニ使用シ得

ル時間及手段ニ依リテ差異アリ

射界ノ清掃、偽裝、障碍特ニ對戰車障碍物ノ設置、火力諸機關及通信諸手段ノ防護ハ第一ニ企圖

セラルベキモノナリ

地區ノ編成ハ編成計畫ト稱セラルル全般ノ計畫ノ範圍内ニテ遂行セラル此ノ計畫ハ爲シ得ル限り速カニ作ラレ且之ニハ漸次ニ使用可能トナルベキ器材及勞力ヲモ考ヘ火器ノ活動ヲ増援シ兵員ヲ

掩護シ指揮ノ行使ヲ容易ニシ且會戰ヲ持續スルニ供スベキ諸工事ヲ緩急順序ニ從ヒ豫定ス

第二百六十五 破壊ノ目的ハ敵ノ交通網ノ利用ヲ遮斷シテ其ノ諸作戰ヲ遲滯セシムルニ在リ(第三百三十三)

破壊ハ起伏地又ハ交通手段ノ乏シキ地區ニ於テハ特ニ有效ナリ

各破壊ハ成ルベク各障碍物ト連繫シ尙飛行隊、砲兵及歩兵ノ火力配置ト連絡セシメラル

前哨ノ前方ニ實施セル破壊ハ敵ノ接近ヲ遲滯ス抵抗陣地ノ前方及内部ニ實施セル破壊ハ一般彈幕及内部彈幕ノ價值ヲ増大ス

廣地域ニ互リ且火力ニ依リ掃射セラルル破壊ノミガ眞ニ有效ニシテ相當ノ期間敵ヲ遲滯シ得ベシ

但シ其ノ準備ニハ多クノ手段ト大ナル期間トヲ要ス

其ノ四 指揮官ノ活動

第二百六十六 指揮官ハ防禦ヲ編成シタル後會戰中ニハ主トシテ其ノ砲兵火力ノ機動、飛行隊ノ參加(第二百九十五及其ノ以下)及其ノ豫備隊(歩兵及戰車)ノ參戰ニ依リ其ノ活動ヲ行フ

1、火力ノ機動

第二百六十七 大單位部隊ノ指揮官ハ遠戰間此ノ會戰期ノ爲豫定セル砲兵射撃ノ實施ヲ遂行スルモ其ノ砲兵ノ配備竝ニ兵力ヲ過早ニ敵ニ暴露セザルコトニ努ム

攻撃準備破摧射撃ノ開始ヲ命ズルハ指揮官ノ責務ナリ攻撃準備破摧射撃ハ若シ適時適當ナル位置

ニ行ハルトキハ決定的效力ヲ齎シ得ルモ防禦砲兵ノ兵力ヲ現示シ且多量ノ彈藥ヲ消費ス

敵ガ抵抗陣地ニ侵入スルニ至ルヤ指揮官ハ特ニ脅威セラレアル正面ニ其ノ砲兵火力ヲ運用ス

若シ抵抗陣地突破セラルルニ至ルヤ指揮官ハ使用シ得ル全砲兵ヲ以テ逆襲ノ援助及其ノ掩護ニ當ラシム

2、豫備隊ノ用法

第二百六十八 大單位部隊ノ指揮官ハ敵ノ得タル局地的成功ヲ限局シ或ハ抵抗陣地ノ保全ヲ恢復スル爲其ノ豫備隊ヲ使用ス

第二百六十九 敵ノ得タル局地的成功ヲ限局スル場合ニ於テハ豫備隊ハ防禦ノ爲最モ重要ナル抵抗陣地ノ脅威セラレタル部分ヲ増援スルニ利用セラル之ガ爲先ヅ攻者ノ爲作ラレタル凹部ノ兩側面ヲ鞏固ニスルニ努メ以テ敵ノ横方向ノ戰果擴張ヲ妨遏シ其ノ攻撃ヲ薄弱ナラシム次デ凹部ノ底ヲ閉塞シ尙敵ノ侵蝕セル線ノ後方ニ位スル堅固ナル諸點ヲ占領シ以テ中斷セル火力ヲ漸次ニ復舊

連續セシムルコトヲ求ム

第二百七十 抵抗陣地ノ保全ヲ恢復スル場合ニ於テハ豫備隊ハ逆襲ト稱セラルル限定的ノ兵員及範圍ノ攻勢行動ヲ以テ敵ノ占領セル抵抗陣地ノ部分ヲ奪還スルニ利用セラル

第一線諸隊ノ豫備隊ハ敵ガ整頓スルニ先ダチ直接逆襲ヲ實施ス

抵抗陣地内ノ廣大ナル突破孔ニ對シテハ更ニ大ナル逆襲ヲ必要トス

此ノ逆襲ハ概シテ眞ノ攻撃ノ如ク準備シ指揮シ且擴張セラル

逆襲ハ其ノ企圖セラルル戰況及目的ニ稽ヘ構想ヲ單簡ニシ實行ヲ靱強ナラシムルヲ以テ其ノ成功ノ重要ナル素因トナス

戰車ハ其ノ活動ノ齎スベキ有形無形ノ效果ニ依リ特ニ逆襲ニ參加スルニ適ス

逆襲ニ任ズル諸隊ヲ部署ニ就カシムルハ必要ナル時期ニ占領シ得ベキ發進基地ノ掩蔽下ニ行ハル砲兵ハ成ルベク逆襲軸線上ニ展開シ攻撃ニ於ケルト同一條件ニテ歩兵及戰車ヲ援助ス

第二百七十一 或有利ナル狀況ニ於テハ指揮官ハ敵ノ消耗及我方有利ノ狀況ヲ利用スル爲攻勢ニ轉ズルノ決意ヲ執ルコトアリ

其ノ際企圖セラルル全般的ノ活動ハ攻勢移轉ト稱セラル

其ノ五 高級指揮官ノ豫測

第二百七十二 防禦陣地ノ編成ヲ高度ニ堅固ナラシムル爲時間ト手段トヲ使用シ得タルトキト雖モ敵ガ之ヲ突破シ得ルノ狀況ヲ絶對ニ考慮外ニ置クコトヲ得ズ

斯カル危險ニ備フル爲他ノ諸陣地ノ編成ヲ考慮シ又時宜ニ依リ其ノ一陣地ノ占領ヲ豫測スルコトハ高級指揮官(Le commandement supérieur)唯一人ニ(第三百十九及第三百三十參照)ノミニ屬スベキ責務ナリ

高級指揮官ノ此ノ豫測ハ第一陣地ノ諸隊ニ指定セル抵抗任務ノ堅確度ヲ寸毫モ萎靡セシムベカラズ

豫定セル諸陣地ノ各、ハ敵ノ砲兵ガ陣地ヲ變換セズシテ同一準備射擊中ニ第一陣地ト同時ニ制壓シ得ザル如ク相當ノ距離ニ設クルヲ要ス各陣地ハ又裝甲兵器ヲ有スル敵ガ前方陣地上ニ得タル成

功ヲ迅速ニ擴張シ奇襲的活動ヲ爲スニ對シ備フル爲障礙物ニ依托シアルヲ要ス
砲兵射程ノ増加竝ニ近代裝甲兵器ノ速度ノ迅速ハ逐次ノ諸陣地ヲ既往ニ於ケルヨリモ一層大ナル
距離ニ離隔セシムルニ至レリ

逐次ノ兩陣地ハ斜方向ニ經始セララル斜交陣地ニ依リ連絡セララルコトアリ此等斜交陣地モ亦天
然障礙ニ依リ有利ニ掩護セラレアルトキハ正面ノ連續ヲ恢復シテ突破孔ヲ局限シ得シム同陣地ハ
尙第一陣地ヲ突破シタル敵ノ側面ニ指向スル逆襲ノ爲發進ノ基地ヲ提供ス

逐次ノ陣地及斜交陣地ハ高級指揮官ノ命令ニ依リ豫備隊又ハ新ナル大單位部隊ニ依リテ占領セラ
ル

第二款 退却機動

第二百七十三 退却機動ハ成ルベク遠距離射撃ノ活動ニ有利ニシテ斷絶地又ハ障礙物ニ掩護セラ
ル諸陣地ニ占據セル逐次ノ梯隊ノ行動ニ依リ實施セララル各梯隊ハ原則トシテ近接戰鬥ヲ避ケ且

地形甚ダシク蔭蔽セルカ又ハ斷絶セル場合ヲ除キ主トシテ夜暗中ニ大距離躍進ニ依リ次ノ梯隊ノ
位置ニ向ヒ退却ス

騎兵、機械化又ハ自動車化諸隊、砲兵、飛行隊ハ退却機動ノ主要ナル諸要素ニシテ其ノ活動ハ破
壞作業ト連合スルトキハ有利ナリ

騎兵殊ニ機械化諸隊ハ敵トノ觸接ヲ保持シ各梯隊ノ退却及此等梯隊ノ側面ヲ掩蔽シ又敵ヲ其ノ前
進中ニ逆襲シテ之ヲ疲勞困憊セシムルニ使用セララル

障礙物及破壞作業ト併用セララル砲兵ノ遠距離射撃及飛行隊ノ威力アル活動ハ晝夜トモ敵ノ前進
ヲ阻害ス

第二百七十四 退却機動間各部隊ハ逐次ノ各陣地上ニ齊一ニ分置セララルベキモノニアラズ是努力
ノ分散ヲ來シ受ケタル任務ヲ良好ニ實施スル爲不利ナレバナリ

此等陣地ノ各、ノ占領兵力ハ指揮官ガ敵ニ課セントスル阻止時間ニ應ジテ差異アラシメ且自己ニ
與ヘラレタル猶豫期間、地形及敵情ニ依リ防禦ノ難易ニ從ヒテ決定セララルヲ要ス

第三款 退却

第二百七十五 攻勢又ハ防勢會戰ガ失敗ニ終リ退却ノ止ムナキニ至ルトキハ指揮官ハ後衛ノ掩蔽ノ下ニ其ノ主力ヲ敵ト離脱セシム而シテ其ノ退却位置ハ諸隊ヲ改編シ且増援ヲ受クルヲ得シムル爲敵ヨリ十分ナル距離ニ定ムルヲ要ス

後衛ハ敵ヨリ接近セラルルニ先ダチ其ノ火網ヲ設備シ得ル爲戰線ヨリ相當ノ遠距離ニ展開セシメラル

後衛ノ編組及行動ハ第四百十五ニ述ベタル如シ

指揮官ハ後衛ノ掩蔽ノ下ニ猶豫ナク戰場後方ノ整理ヲ行フ是急速ニ道路網ヲ解放シ次デ混雜ナク戰鬪部隊ノ通過ヲ確保セン爲ナリ

夜暗ハ交戰諸隊ノ離脱ヲ行フ爲ニ有利ニ使用セラル

退却諸隊ノ運動ヲ停止セシムル爲該部隊ノ前面ニ新銳部隊ヲ送ルコトハ有利ナラズ之ニ反シ其ノ新銳諸隊ヲシテ堅固ニ地區ヲ占據スルノ餘裕ヲ得シムル爲稍々後方ニ選定セル陣地ニ據ラシムル

ヲ可トス

第四款 防勢會戰ニ於ケル通信

第二百七十六 退却意志ナキ防勢ニ於ケル通信ノ編成ハ指揮官ノ機動ノ思想ニ準據シテ考案セラレ主トシテ敵ノ攻撃方向ヲ遮斷スベキ方面ニ通信手段ヲ集中ス

右通信編成ハ抵抗陣地ノ爲(抵抗陣地上ニテハ主線ノ爲)ニ各通信手段ノ増援ヲ行フヲ特性トシ尙攻撃準備破摧射撃、一般彈幕射撃ノ機ニ投ズル活動及豫備隊ノ迅速ナル參戰ヲ可能ナラシムルヲ要ス

更ニ右通信編成ハ増援計畫ノ各種ノ場合ニ適合シ且最モ發生シ得ベキ各種ノ狀況ニモ應ジ得ルヲ要ス特ニ敵ノ陣地内侵入ヲ豫想シテ後方ニ向フ諸通信ヲ梯次ニ設備シ指揮ノ行使ニ必要ナル連絡ノ繼續ヲ確實ニスル如ク準備スルコト肝要ナリ

電話(又ハ電信)網ハ通信ノ骨子ヲ構成ス

敵ノ攻撃ガ開始セラレザル限り無線電信ノ使用ハ嚴密ニ制限セララル
通信ノ編成ニ關スル諸規定ハ防禦計畫中ニ挿入セララル
退却機動ニ於ケル通信ノ編成ハ各陣地上ニ其ノ占領部隊ニ指定セル任務ト關連シテ實施セララル
退却ニ於ケル通信上ノ努力ハ後衛ニ必要ナル諸連絡ヲ確保スルコトニ傾注セララル一般ニ無電通信、
迅速ナル連絡兵及既存電話網ハ最モ重要ナル需要ヲ充足シ得シム

第五款 防勢ノ特別ノ場合

其ノ一 築城正面ノ防禦

第二百七十七 築城正面ノ編成ハ永久築城工事ノ存在ト其ノ正面ノ防禦ニ特ニ側防火力ニ依リ有
力ニ協力シ得ベキ多數ノ歩砲兵火器ヲ有スルコトヲ特性トス
築城正面ノ抵抗陣地ニハ堡壘及堡壘相互ノ間隔ニ在ル諸隊ノ支撐點ヲ包含ス同陣地ハ主線ヨリ阻

止線迄縱長ニ延長ス

主線ハ陣地中ノ最モ重要ナル諸堡壘ヲ骨子トス同線ハ通常天然又ハ人工ノ障碍物ニ依リ掩蔽セラ
レ要スレバ對戰車地雷ニ依リ補強セララル

諸堡壘ハ攻者ガ其ノ前進ノ遂行上領有ヲ必要トスル地區ノ強固ナル諸地點ヲ占ム其ノ堡壘ガ嚴存
スル限り攻者ハ縦ヒ間隔内ノ侵入ニ成功スルモ部分的且一時的ノ成功ヲ得ルニ過ギザルベシ

之ニ依リ諸堡壘ハ爭奪ノ目的物トナリ**築城正面ニ於ケル會戰ハ專ラ堡壘線即チ主線上ニ於テ行ハ
ルモノナリ**

築城正面ニ於ケル防勢作戰ハ必然的ニ退却意志ナキ防勢ノ形態ヲ取ルモノトス
同作戰ハ野戰ノ防禦陣地ニ於ケル作戰ノ一般原則ニ準據シ計畫指導セララルモ唯該原則ノ適用上
永久築城編成ノ特性ハ之ヲ考慮スルヲ要ス

1、堡壘、堡壘ノ間隔及其ノ側面ノ防禦

第二百七十八 諸堡壘及其ノ間隔ニ在ル諸隊ハ相互ニ援助ス

第二百七十九 堡壘ハ戰鬪單位ヲ成形シ一指揮官(堡壘指揮官)ノ隸下ニ在ル諸兵種ヨリ成ル戍兵ヲ有ス

堡壘ハ通常後方ヨリノ輸送ニテ補給セラルルモ巨額ノ補給品ヲ蓄ヘ縦ヒ包圍セラレタル場合ニ於テモ長期ノ抵抗ヲ爲スヲ得シム

各堡壘ハ左ノ兩任務ヲ確保スルヲ要ス

隣接堡壘ノ火力支援及各間隔ノ支援

其ノ領有シアル地區ノ保持

此等任務中ノ第一ハ上級指揮官ニ依リ明示セラレ防禦ノ全般計畫ニ於ケル堡壘ノ火力活動ヲ決定ス堡壘兵備ノ大部ハ此ノ任務ノ遂行ヲ主トシアルヲ以テ各堡壘ハ縦ヒ攻撃セラレ包圍セラルル場合ニ於テモ本任務ノ確保ヲ第一トセザルベカラズ

然レドモ堡壘ノ運命危殆ニ瀕スルトキ其ノ堡壘ノ責任者タル堡壘指揮官ハ防禦上唯一ノ主權者トナリ戰鬪指導ノ爲完全ナル權限ヲ以テ凡テノ戰鬪手段ヲ使用ス而シテ危機去ラバ同指揮官ハ直チ

ニ其ノ第一任務ニ復歸スベキ嚴重ナル責任ヲ有ス

堡壘指揮官ハ其ノ全戰鬪手段ノ消耗スルニ至ル迄堡壘ノ抵抗ヲ持續ス

第二百八十 堡壘間隔ノ防禦ハ各堡壘ヲ支持スル如ク編成セラレ且指導セラル之ガ爲間隔ニ位置スル諸隊ハ其ノ火力ヲ以テ堡壘ノ正面及外翼ヲ増援ス

陣地ノ内部ニ於テハ火力幕ガ豫定セラレ隔障部ハ堡壘ノ側面及交通線ヲ掩蔽スル爲準備セラル阻止線モ亦堡壘ノ入口及交通線ヲ少クモ火力ニ依リ掩護スルヲ顧慮シテ經始セラル

第二百八十一 築城地帯ノ側面ハ防勢的ニ編成セラル

其ノ編成ハ築城地帯ノ間隔内ニ於ケル戰鬪ノ變動如何ニ拘ラズ築城地帯ノ交通線ヲ掩護シ隣接諸隊トノ連絡ヲ保持シ得シム

2、砲兵ノ用法及觀測

第二百八十二 堡壘外ノ砲兵ハ野戰ノ防禦陣地ニ於ケルト同一ノ任務ヲ受ケ同要領ニ依リ配置セ

ラル

窰室内又ハ砲塔内ニ在ル堡壘ノ砲兵ハ主線ノ防禦ヲ主要任務トス

同砲兵モ亦遠戰ニ用ヒラルルコトアルモ此ノ種ノ任務ハ堡壘外ノ砲兵ニ依リテモ同様ニ達成シ得ルトキハ毎ニ堡壘外砲兵ニ之ヲ委シ以テ堡壘砲兵ヲ浪費セズ且成ルベク其ノ本來ノ任務ヨリ離隔セシメザルヲ可トス

堡壘砲兵ノ活動地帯ノ潤度及縱長ニ稽ヘ指揮官ハ常ニ其ノ任務ノ種類及緩急順序ヲ明示スルニ注意ス

右ト同一ノ理由ニ依リ堡壘砲兵ハ通常築城地區ノ砲兵指揮官ニ隸屬スル全般任務ノ數集團ニ區分セラルルヲ有利トス此等ノ砲兵集團ハ屢、一又ハ數箇ノ小地區ノ直接援助ヲ増援スベキ任務ヲ受クルコトアリ此ノ場合ニ於テハ堡壘砲兵ノ火力ハ各、關係小地區ノ直接援助砲兵集團ノ各指揮官ノ隸下ニ置カル

第二百八十三 築城正面ニハ多數ノ防護アル觀測所ヲ有ス

此等ノ觀測所ハ其ノ大部分ガ歩、砲兵部隊ニ分配シアルモ何レモ指揮官ノ爲ニ活動ス

3、裝甲兵器ニ對スル防禦

第二百八十四 障碍物及地雷地域ノ存在竝ニ各堡壘ノ兵備ノ多樣ナルコトハ裝甲兵器ニ對スル防禦ノ容易ナラシム

此ノ防禦ハ野戰ノ防禦陣地ニ於ケルト同ジク砲兵及戰闘司令所ニ至ル迄配備ノ全縱長ニ互リ編成セラル

通過容易ナル正面ノ若干部分ニ於テハ防禦ニ尙一層ノ縱長ヲ與フル爲後方彈幕ヲ地隙上ニ又ハ天然障碍物ニ依托シテ設クルコトアリ

4、築城地帯ノ防空

第二百八十五 防空ハ築城地帯内ニ樹立セラレタル國土防空ト緊密ニ連繫シ第三百一及其ノ以下

ニ規定セル一般條件ニ於テ編成セラル

防空ハ軍ノ作戰ノ範圍内ニ於テ指導セラレ空中ノ危險ニ對シ左記ノモノヲ掩護スルヲ目的トス

堡壘外ノ陣地上ニ駐軍スル諸隊

堡壘ノ重要機關

後方ノ危險ナル諸點特ニ諸廠及諸倉庫ノ補給品

5、指揮官及豫備隊

第二百八十六 築城地帯ハ數箇ノ築城地區ニ分タル

築城地區ハ通常一築城地帯旅團ニ依リ占領セラル該旅團ハ狀況ニ依リ増援セラル

各地區ハ若干ノ小地區及小分地區ニ區分セラル

諸堡壘ハ右編成内ニ包容セラレ其ノ重要度ニ依リ階級ニ上下アル指揮官ニ屬ス

指揮官ハ各堡壘ト其ノ間隔内諸隊トノ間ニ戰術的連鎖ガ鞏固ニ成立シアルコトヲ監視ス

第二百八十七 築城ハ陣地上ノ兵員ヲ節約シ得シムルモ會戰ヲ指導スル爲ニハ大單位部隊、總豫

備ノ諸隊等多數且移動性アル豫備隊ヲ有スルコト必須ノ要件ナリ此等ノ豫備隊ハ特ニ築城地帯ノ

側面防禦ノ目的ニテ配置セラル

6、直接逆襲

第二百八十八 敵ガ陣地内ニ進入セバ敵ガ其ノ攻撃ヲ集中スベキ溢出セラレタル堡壘又ハ包圍サ

レタル密室ヲ最モ速カニ救出スル目的ヲ以テ防禦ノ指導ヲ爲ス

其ノ際直接逆襲ノ目的ハ當初ノ戰線ヲ完全ニ恢復スルニ在リ此ノ恢復ハ築城正面ニ於テハ野戰ノ

防禦陣地ニ於ケルヨリモ一層ノ力行ヲ必要トス

阻止線ノ火力及堡壘外ノ砲兵火力ニ依リ準備セラレタル此等ノ逆襲ハ陣地内ニ暴進スル敵ノ諸隊

ニ對シ其ノ側面及背後ヨリスル横方向ニ在ル諸堡壘ノ活動ニ依リ頗ル有效ニセラル

7、増援

第二百八十九 増援計畫ニハ野戰小部隊或ハ野戰大單位部隊ノ參加ヲ豫定ス

野戰小部隊參加ノ場合ニ於テハ増援諸隊ハ既存ノ配備内ニ加入ス此等野戰諸隊ハ各堡壘ノ防禦ヲ除キ其ノ間隔ノ防禦ニ充當セラレ尙局地豫備隊トナリ又ハ局地豫備隊ヲ増援ス

野戰大單位部隊參加ノ場合ニ於テ將ニ攻撃ヲ受ケントスル時機ニハ特ニ砲兵火力及對戰車火力ヲ増援シ配備ノ縱長ヲ後方ニ尙狀況ニ依リテハ前方ニモ増加シ且豫備隊ノ參戰ヲ準備ス又敵ノ攻撃中ニ在リテハ野戰大單位部隊ハ或ハ突破口ヲ閉塞シ或ハ逆襲スル爲活動ス

一般ニ要塞部隊ハ依然永久的設備ノ器材及配置ヲ運用シ野戰諸隊ハ唯堡壘ノ間隔内ニ於テノミ參戰スルモノトス

野戰大單位部隊ニ依ル増援後ニ於ケル指揮ノ編成ハ要塞部隊ト野戰部隊トノ間ノ密接ナル連繫ヲ確保シ且指揮編成ノ一層完全ナル組織ヲ實現スルコトヲ考慮ニ入レテ行ハル

之方爲指揮ハ各野戰大單位部隊ノ指揮官ト要塞大單位部隊ノ指揮官トノ間ニ分タル而シテ増援ノ

行ハルル正面ノ廣狹ト戰鬪參加ニ招致セラレタル野戰大單位部隊ノ大小トニ從ヒ此ノ野戰大單位部隊ノ指揮官ハ増援地區ノ全部又ハ單ニ一部ノ指揮ヲ行使ス

野戰部隊ノ指揮官特ニ各大單位部隊ノ指揮官ノ任務遂行ヲ容易ナラシムル爲該指揮官ニ少クモ一時ニ要塞部隊ノ參謀部又ハ軍隊ヨリ取レル一名ノ將校ヲ配屬スルノ必要アルベシ

8、撤去

第二百九十 作戰ガ築城地帯ヨリ遠距離ニ發展シアリテ指揮官ガ要塞部隊ヲ野戰ニ利用セント欲スル場合ニハ此ノ要塞部隊ノ撤去ヲ命ゼラルスカル狀況ニ於テ該撤去部隊ハ舊年次ノ兵員ニ依リ増援サレタル若干ノ特業兵ヲ堡壘ニ殘置スベシ

其ノ二 對陣正面上ノ防勢

第二百九十一 防勢ニハ戰鬪ノ交綏期間ヲ伴フコトアリ其ノ間若干ノ大單位部隊ハ敵ニ觸接シアル正面ノ保持ノミヲ以テ任務トスベシ

此ノ期間中ニ指揮官ハ其ノ守備スベキ正面ノ防備ヲ補強編成スル爲ニ總テノ處置ヲ命ズ

諸工事ハ先ヅ抵抗陣地上ニ次ニ他ノ諸陣地上ニ長期ニ互ル計畫ニ從ヒ地形及築城ノ總ユル資源ヲ利用シテ實施セラレ且何時ニテモ敵ノ攻撃ニ際シ良好ニ之ヲ利用シ得ル如ク指導セラレ

斯クシテ漸次ニ堅固ナル正面ガ創設セラレ其ノ若干部分ハ地形竝ニ各占領部隊ノ使用シ得ベキ時間及資材ニ依リテ永久築城ニ近キ價值ヲ有スルニ至ルベシ

防勢會戰ノ準備竝ニ指導ニ關スル諸規定ハ對陣ノ狀況ニ適合スル如ク定メラレ

防禦計畫ニハ一層詳密ナル指示ヲ含ム戰線ノ兵員ハ防禦編成ノ完成スルニ從ヒ減少スルコトヲ得尙現地ニハ勉メテ最少限ノ兵力ノミヲ殘シ所要ニ際シ之ガ増援法ヲ豫定シ置クヲ要ス其ノ増援法ハ最モ公算多キ想定ノ下ニ研究セラレアルベシ

陣地ノ偽裝ハ彼我長期ニ互リ接近シアルヲ以テ特ニ重要ナリ

陣地ノ裝備竝ニ各部ノ施設ハ運動ヲ容易ニシ且使用ヲ豫想セララルル全兵員ノ維持、給養ヲ確實ナ

ラシムルガ如ク實施セラレ

其ノ三 廣正面上ノ防勢

第二百九十二 廣正面上ノ防勢ハ防勢ノ特別ナル場合ナリ

此ノ防勢ハ比較的受動的正面又ハ天然或ハ人工ノ大障礙ニ依リ掩蔽セラレアル正面上ニテ特ニ之ヲ用フ然レドモ優勢ナル敵ニ對シ之ヲ拒止シ又ハ其ノ前進ヲ遲滯スル爲交戦スル先頭部隊ハ地形ノ如何ニ拘ラズ廣正面防勢ヲ餘儀ナクセララルコトアリ
何レノ場合ニ於テモ廣正面上ニ參戦セル一部隊ニ強大ナル攻撃ニ對スル長時日ノ抵抗ヲ期待スル能ハザルベシ

廣正面上ノ防勢ニハ次ノ如キ二箇ノ主要ナル活動法アリ

單一陣地ノ防禦

機動ニ依ル防禦

此ノ兩活動法ノ何レヲ選定ベキヤハ本來ノ任務、敵トノ距離、得ントスル時間、許サレタル後退ノ程度、附與セラレタル行動地帯ノ潤度、地形竝ニ使用シ得ル各手段ノ種類如何ニ關ス
何レノ活動法ヲ採ルニ拘ラズ一正面上ノ防勢會戰ニハ左ノ各項ヲ必要トス

情報上ノ特別ノ顧慮

指揮ノ分割(狀況ニ依リテ戰術的集團ノ構成ニ至ル迄進メラル)

極メテ良好ニ確保セラレタル諸通信

戰線ニ兵力ヲ平等ニ分配スルコトヲ絕對ニ排除スルコト是到ル處薄弱トナレバナリ

豫備隊ヲ爲シ得ル限り大ニシ且移動性アラシムルコト

兵器、築城竝ニ地形ノ特性ヲ最大限ニ利用スルコト

破壊ノ廣範ナル使用

第二百九十三 單一陣地ノ防禦ノ場合ニ於テ正面ノ延長ハ正面ノ全部又ハ一部ニ於ケル天然又ハ人工ノ障碍物ノ有無及其ノ價值、陣地ヲ編成スル爲使用シ得ル時間及手段竝ニ敵ノ阻止ヲ必要トスル時間ニ關ス

重大ナル障碍物ハ之ノミニテ長時ノ抵抗ヲ行ヒ得シムルコトアリ

時間ヲ得ル爲最有利ナル方法ハ敵ガ抵抗陣地ヲ攻撃スベキ時機ヲ遲緩セシムルニ在リ此ノ時機ヨリ以後ハ其ノ攻撃ヲ抑止シ或ハ其ノ進捗ヲ制限スルノ外ハ他ニ何等特別ノ手段ナク時間ノ獲得ハ唯戰鬪ノ僥倖ニ從屬スルノミニ正面ノ延長ハ各小部隊ノ延伸又ハ配備ノ縱長ノ全廢ニ依リ得ベキモノニアラズシテ屈曲セル經始ノ稜堡ヲ成形スル諸抵抗中心ノ占領(占領密度ハ其ノ重要度ニ依ラザルベカラズ而シテ各稜堡ノ中堤ハ其ノ守備ヲ微弱ニシ各稜堡相互ノ側防火ニ依リ之ヲ掃射ス一般彈幕ノ價值ハ比較的僅少ナルヲ以テ敵ノ我が抵抗陣地前ヘノ到着竝ニ攻撃設備ヲ遲滯セシムル爲ニハ總ユル常用ノ手段即チ裝甲兵器ヲ主トスル遲滯部隊、遠距離射撃ノ活動ト併用セル破壊、障碍物ノ利用、地雷地帯及對戰車火網ノ編成等ヲ用フルヲ要ス
有形的障碍及偽裝ハ保持スベキ正面ニ比シ兵力僅少ニシテ且全正面ニ十分ナル前哨組織ヲ設ケ得ザルニ從ヒ益、其ノ利用ヲ必要トス

第二百九十四 正面ノ廣大ニ依リ指揮官ガ連續セル火力配置ヲ爲シ得ザルニ至ルヤ機動ニ依ル防禦ヲ必要トス

此ノ防禦ニ在リテハ敵ノ侵入ヲ阻止シ且之ヲ遲緩スルニ要スル最小限ノ兵力ヲ以テ正面ヲ保持シ主力ハ至當ニ配置セラレテ以テ敵ノ攻撃ニ備ヘ又狀況ニ依リ之ヲ反撃スル爲ニ使用セラル

此ノ機動ハ左ノ主ナル二箇ノ形式ヲ呈ス然レドモ其ノ兩者ハ全然相互ニ獨立スベキモノニアラズ退却機動

被脅威正面ノ部分ニ兵力ノ集中ニ依ル機動

退却機動ハ通常ノ方法ニ依リ實施セラル然レドモ正面ノ廣濶ニ依リ此ノ特別ナル場合ニ於テハ廣範ナル指揮ノ分割ヲ來スニ至ル

兵力ノ集中ニ依ル機動ハ次ノ如キ一般形態ノ下ニ行ハル

敵ノ各進入路ノ前方ニ於テ主力ノ機動ヲ可能ナラシムベキ任務ヲ以テ諸兵種ヨリ成ル一支隊ヲ派遣ス

固定又ハ移動ノ警戒部隊ヲ以テ前項各支隊ノ相互間ヲ連絡ス

各支隊ハ大單位部隊指揮官ノ定ムル各軸線上ニ機動シツツ退却ス

敵ガ總攻撃ヲ爲ス場合ニハ此ノ機動ハ退却機動ニ變化スル外ナシ

敵ガ局地攻撃ヲ爲ス場合ニハ主力ハ敵ヲ既知ノ陣地上ニ阻止シ又ハ之ニ對シ逆襲スル爲參戰ス情報ノ蒐集、奇襲及速度ハ斯カル機動ノ成功ノ要件ニシテ尙此ノ機動ニハ指揮官ノ機敏、果斷及放膽ヲ必要トス

第四章 會戰ニ於ケル航空隊及防空隊

其ノ一 飛行隊

第二百九十五 飛行隊ハ他ノ兵種ト同ジク會戰ニ其ノ主ナル努力ヲ傾注ス即チ會戰間指揮官及軍隊ノ爲ニ情報ヲ提供シ敵飛行隊ノ搜索ヲ不能ニシ或ハ其ノ火力ニ依リ我ガ砲兵ノ活動ヲ戰場ヨリ最モ遠隔セル後方ニ迄補足ス

例外トシテ若干ノ特別任務ノ實施ニ任ズル諸支隊ヲ敵ノ戰場ニ降下セシムルコトヲ命ゼラルルコトアリ

第二百九十六 指揮官ニ狀況ヲ明カナラシムル爲ニハ飛行隊ハ特ニ指揮官ヲシテ會戰ニ於テ克ク戰況ヲ意識シテ諸手段ノ參戰竝ニ其ノ活動ノ指導ヲ爲シ得シムベキ諸情報ヲ探究スルニ努ム此ノ趣旨ニ於テ特ニ探求スベキハ敵ノ豫備隊ノ行動ナリ蓋シ其ノ配置竝ニ移動ハ敵ノ爲シ得ベキ企圖ヲ表ハスヲ以テナリ

第二百九十七 軍隊ニ關シテハ飛行隊ハ第一ニ砲兵ニ對シ目標ノ位置竝ニ射撃ノ修正ニ就キ情報ヲ提供ス

火砲ノ射程増大シ且敵ハ其ノ諸隊ヲ地上ノ通視ヨリ免レシメ最後ノ時機ニアラザレバ其ノ配備ノ全般ヲ暴露セザル如ク益々有效ナル處置ヲ講ズルニ至レルヲ以テ目標ノ發見竝ニ砲兵射撃ノ觀測ハ飛行隊ノ熱心且緊密ナル協力ヲ得ルニアラザレバ良好ナル條件ニテ實施シ得ザルベシ此ノ協リナクバ砲兵ハ部分的ニ失明スルコトナルベシ

斯クノ如キヲ以テ砲兵ニ關スル飛行隊ノ任務ハ會戰ニ於テ軍隊ノ爲ニ活動スル情報飛行隊ノ最も重要ナル責務ヲ構成ス

飛行隊ハ其ノ他地上觀測所ガ十分ナラザル正面ニ於テ指揮官ヲシテ隸下先頭諸部隊ノ狀況ヲ明カ

ナラシメ且歩兵部隊ノ戰闘ニ隨伴シテ之ニ對スル狀況ノ通報ニ任ズ

第二百九十八 會戰ノ若干ノ期間情報飛行隊ニ活動ノ自由ヲ確保シ又友軍諸隊ヲ敵ノ飛行隊ノ通視及攻撃ヨリ免レシムルコト極メテ重要ナリ此ノ目的ヲ達スル爲ニハ制空權ヲ獲得スルヲ要ス此ノ制空權ノ獲得ハ防禦用輕飛行隊ト同重飛行隊トノ連合セル活動ニ俟ツベク前者ハ飛行中ノ敵ヲ、後者ハ地上ノ敵ヲ攻撃ス但シ制空權ハ局限セル正面竝ニ時機ニアラザレバ其ノ獲得不可能ナリ故ニ指揮官ハ飛行隊ノ最も重大ナル努力ヲ要スベキ制空權獲得ノ諸地點及時機ヲ決定スルヲ要ス

第二百九十九 尙飛行隊ハ其ノ射程、其ノ奇襲性竝ニ其ノ威力ニ依リ絶大ナル有形無形上ノ效果ヲ生ズベキ火力ニ依リテ戰場ノ最も遠隔セル後方ニ至ル迄猛烈ニ敵ノ破摧ニ協力ス

其ノ際ニ於テモ亦指揮官ハ此等極メテ重要ナル諸點ニ適切ナル時機ニ大ナル成果ヲ得ン爲飛行隊ノ攻撃ガ集中セラルベキ諸目標竝ニ諸地點ヲ選定スルヲ要ス特ニ敵部隊ノ集合地、戰場ニ向ヒ前進中ノ敵縱隊竝ニ敵ガ動搖シアルトキ及退却中ノ敵部隊ハ何レモ決勝的成果ヲ求ムベキ地帯ニ於テ飛行隊ニ指定セラルベキ目標ナリ

必要缺クベカラザル參戰ヲ迅速ニ實現スル爲ニハ各飛行隊長ニ攻撃スベキ目標ノ種類竝ニ達成スベキ目的ニ關シ豫メ方針ヲ示シタル後攻撃開始ノ獨斷ヲ委スルヲ適當トス
此ノ活動ニハ雷ニ爆撃用飛行隊ノミナラズ使用シ得ル總テノ飛行隊ヲシテ火力ニ依リテ參加セシメ以テ爲シ得ル限り集團的ノ效果ヲ求ムルヲ適當トス
隨ツテ戰鬪ノ經過ヲ熱心ニ注意シ且其ノ情報及其ノ火力ニ依リ地上諸隊ニ強力ナル援助ヲ致サントノ熱望ニ燃エアル飛行隊ハ會戰ニ於テ成功ヲ齎シ得ベキ唯一ノ要件タル努力ノ集中ニ依リ其ノ全威力ヲ發揮ス

第三百 狀況有利ニシテ且所期ノ目的ノ重要度ガ斯カル決意ヲ至當トスルトキハ指揮官ハ敵大單位部隊ノ後方ニ特別任務(敵ノ必ズ通過スベキ地點、交通線ノ要點、補給上ノ重要ナル中心地等ノ破壊又ハ占領)ニ任ズル諸兵種ヨリ成ル支隊ヲ降下セシムルコトヲ飛行隊ニ要求スルコトアリ
斯カル行動ニハ細密ナル準備ト此ノ特種任務ニ訓練セラレタル諸隊トヲ必要トス
之ガ爲ニハ通常支隊主力ノ將來ノ降下ヲ掩護スベキ落下傘降下部隊ヲ豫メ配置シ置クモノトス

其ノ二 防空隊

第三百一 防空隊ハ飛行隊ト協力シ情報ト火力トニ依リテ戰場竝ニ其ノ後方ニ對スル敵ノ航空部隊ノ搜索及攻撃ヲ遮斷スルヲ目的トスル空中掩蔽ヲ確保シ以テ會戰ニ參加ス(第五百五十三參照)
防空隊ノ活動ハ其ノ不斷的ナルヲ特長トス之ニ反シ飛行隊ノ活動ハ斷續的ナリ隨ツテ空中掩蔽ニ缺陷ナカラシムル爲此ノ兩者ノ連合使用ハ其ノ各ノ活動地域ヲ併列スルニアラズシテ重複スベキモノナリ

第三百二 指揮官ハ地上ノ機動ト關連シテ空中掩蔽ガ會戰間時間的ニ又地域的ニ確實ニ實施セラレベキ諸條件ヲ決定ス

之ガ爲指揮官ハ飛行隊ト防空隊(國土防空隊モ含ム)トノ活動ノ連合ヲ編成ス

防空隊ノ活動ハ火力ノ集中ニ依リ其ノ效果ヲ發揮スルモノニテ左ノ如ク行ハル

第一線ノ大單位部隊ノ地域ニ於テハ戰線ノ直近ニ爲シ得ル限り連續且縱長ノ彈幕ヲ構成ス(前方集團ノ任務)

後方ノ地域ニ於テハ危險ナル諸點及地域ノ防禦ヲ確實ニス(後方集團ノ任務)
防禦輕飛行隊ノ爲ニ行フ信號上ノ諸任務ハ展開シアル高射砲中隊ニ委託スルヲ得但シ斯カル任務
ハ高射砲隊ノ本然ノ掩蔽ノ任務ニ附加セラルルモノニシテ之ガ爲同高射砲兵隊ヲシテ其ノ本來ノ
任務ヨリ解離セシムルガ如キコトナキヲ要ス

行軍中ノ大單位部隊ノ空中掩蔽ハ連續的ニ確保セラルルヲ得ズ單ニ防空隊ヲ以テ最モ危險ナル地
點又ハ地域ヲ防禦スルニ止ム之ガ爲要スレバ各手段ノ全部ヲ使用ス即チ防禦輕飛行隊モ亦其ノ使
用シ得ル機數ノ許ス範圍ニ於テ行軍中ノ縱隊ヲ警戒シ且掩護ス
前項ノ規定ハ殊ニ自動車化大單位部隊ニモ適用セラル是其ノ移動ノ範圍廣大ニシテ其ノ前進ノ速
度迅速ナルヲ以テナリ

第三百三 指揮官ハ或ハ前方集團ノ使用ヲ自ヲ留保シ或ハ之ヲ隸下ノ大單位部隊ノ指揮官ノ直接
隸下ニ置ク(接敵行進、戰果擴張等ノ場合)コトヲ得前者ノ場合ニ於テハ該集團ハ運動、防護並ニ
補給ノ爲ニハ各大單位部隊ニ屬セラル
指揮官ハ後方諸集團ノ使用ハ原則トシテ常ニ自己ニ留保ス

其ノ三 國土防空隊

第三百四 會戰ガ國土内ニ於テ行ハルルトキ各軍ノ地帯内ニ分置セラレアル國土防空ノ全手段
(第五十七)ハ左ノ如ク之ニ參加ス

一般警戒ノ各機關ハ飛行隊及各軍ノ防空隊並ニ各大單位部隊ニ警報シ次デ情報ヲ與フ
砲兵、機關銃、防護用氣球及照明隊ノ諸隊ハ各軍ノ空中掩蔽ニ協力ス

此ノ會戰參加ハ此等諸隊ノ通常ノ任務ノ達成上ニ混亂ヲ來スガ如キコトアルベカラズ其ノ任務ハ
左ノ如シ

一般警戒ノ諸機關(監視、情報、通信)トシテハ絶エズ内地地帯ノ防空ニ關係ヲ有スル諸情報ヲ
蒐集シ且之ヲ移牒ス

他ノ諸隊トシテハ此等ガ防護ヲ確保シアル危險ナル諸點及諸地域ヲ優先的ニ防禦ス
此等ノ留保ヨリシテ各大單位部隊ノ指揮官特ニ各軍司令官ハ左ノ義務ヲ有スルコトナルベシ

總司令官ヨリ豫メ認可ナキトキハ軍ノ行動地域内ニ在ル國土防空ノ配備ニ何等ノ變更モ加ヘザルコト

前進又ハ退却ノ場合一般警戒組織ノ活動ノ持續ヲ確保スルコト

若シ前進ガ國境ヲ越エテ行ハルルトキハ國土ノ一般警戒組織ヲ占領地ニ延長シ成ルベク速カニ新ナル監視線ヲ編成スルコトモ亦前項ノ各指揮官ノ責務ナリ

之ニ反シ若シ會戰ノ發展ガ此ノ組織ノ破壊ヲ來ストキハ指揮官ハ其ノ可能ナルニ至ルヤ或ハ當初ニ豫定セル斜方向ノ監視線ヲ利用シ或ハ新ナル監視線ヲ急造シテ情報蒐集ノ連續ヲ恢復スルニ努ムルヲ要ス

第六篇 軍ノ會戰

第三百五 軍ハ戰略的機動ノ基礎的單位ニシテ此ノ機動ノ實現ヲ戰術的範圍ニ於テ遂行スル爲必要ナル總テノ手段ヲ有ス

即チ軍司令官ハ高等統帥ヨリ受クル任務ノ範圍ニ於テ行動シツツ其ノ固有ノ作戰ヲ計畫スルト同時ニ其ノ實施ヲ確保スルヲ要ス此ノ二重ノ特權ハ軍司令官ニ他ノ總テノ階級ノ指揮官ニ於ケルヨリモ更ニ其ノ活動上ニ成功上必須ナル統一ヲ與フルノ權能ヲ附與ス

之ガ爲軍司令官ハ其ノ直屬指揮下ニ在ル各軍團長及他ノ大單位部隊ノ指揮官竝ニ其ノ軍ノ砲兵、工兵、航空隊、防空隊及戰車ノ各指揮官ニ命令ヲ下シ其等ノ活動ヲ協調セシム

第三百六 攻防ノ會戰ニ於ケル軍ノ統帥ハ前諸篇特ニ第三、第五篇ニ述ベタル一般ノ規定竝ニ次ノ各章ニ述ブル特別ノ指示事項ニ基キテ行ハル

第一章 軍ノ攻勢

第一款 準備的處置

第三百七 軍司令官ハ受ケタル訓令及諸作戰ノ全般ニ於テ軍ニ歸屬スル任務竝ニ其ノ時迄ニ得タル敵情ニ基キ原則トシテ結著ニ至ル迄ノ軍ノ機動ヲ考案ス
從ツテ軍司令官ハ作戰指導ノ指針トナルベキ機動計畫(第十九)ヲ定ム
此ノ趣旨ニ於テ又情報計畫ヲ作ル同計畫ハ逐次補修セラレ軍司令官ノ定メタル目的ニ向ヒ其ノ機動ノ進展ヲ確保シ得シムルモノナリ(第二十三)

1、搜索及警戒

第三百八 飛行隊及騎兵ハ協力シテ第三篇(第三百三十及第三百三十九)ニ示セル條件ニ於テ搜索及警戒ヲ確保ス

戒ヲ確保ス

第三百九 軍騎兵ノ可能性ハ軍隷下各大單位部隊ノ各偵察隊ノ協力ヲ以テスルモ同時ニ軍ノ正面ニ互リ地上ノ搜索及遠距離ノ警戒ヲ常ニ確保シ得シムルモノニアラズ
故ニ軍騎兵ニ軍ノ正面ノ全般ニ互ル警戒任務ヲ與ヘテ其ノ主力ノ有害ナル分散ヲ來サンヨリモ寧ロ搜索ニ十分ナル手段ヲ充當シタル後此ノ主力ヲ最モ有利ナル軸線上(屢、軍ノ方向上又ハ一翼ニ於ケル)ニ保持スルヲ可トス之ニ依リ主力ハ其ノ任務ノ要求スル所ニ從ヒ或ハ搜索隊ヲ支援シ或ハ敵ノ斷絶地通過ヲ遮斷シ又ハ退却機動ニ依ル時間ヲ得ル爲十分集結セル兵力ヲ以テ有效ニ戰鬪シ得ベシ

2、方向

第三百十 軍司令官ハ隷下大單位部隊ニ對シ其ノ計畫セル機動全經過ニ互ルガ如キ長期間ノ方向ヲ當初ヨリ與フルハ有利ナラズ實際豫測スベカラザル各事件ハ當初ノ計畫ニ變更ヲ必要トスルコ

トアリ此ノ變更ハ屢、一又ハ數軍團ノ方向ニ一時的ノ轉換ヲ行フニ至ラシム初期ノ部署ヲ刻下ノ現實ノ狀況ニ終始適合セシムルコトハ軍司令官ガ其ノ活動ヲ感ゼシムル爲其ノ手裡ニ有スル單一且強力ナル手段ヲナス即チ隣接スル諸軍團ノ方向ヲ僅カニ集中セシムルコトニ依リ頗ル迅速ニ某正面上ニ諸手段ノ著大ナル増加ヲ來スベク之ニ反シテ其ノ方向ノ僅少ナル分散ハ正面ヨリ接近困難ナル一地方ヲ速カニ包圍シ輻湊セル道路網ヲ緩和スル等ヲ可能ナラシム

然レドモ各軍團ノ方向ハ適時ニ十分遠距離迄指定セラルルヲ要ス是此等ノ大單位部隊ガ決シテ不決心ニ陥ルコトナカラシメンガ爲ナリ

各軍團ニ示セル諸方向ハ常ニ結局ハ軍ヲ其ノ企圖スル方向ニ導クニ至ラシムベキモノタルヲ要ス

第二款 接敵及部署

第三百十一 軍ノ接敵ハ第二百九ニ示セル一般ノ規定ニ從ヒテ實施セラル

中間ノ軍又ハ其ノ戰場ガ稍、狹地域ニ局限セラレアル軍ニ於テ軍司令官ノ第一ノ注意ハ必要アル

時機ニ堅固ナル展開正面ヲ構成スル爲嚴密ニ必要トスル大單位部隊ノ數ヲ第一線ニ配置シテ其ノ活動地域ノ全般ヲ領有シ置クコト是ナリ軍ガ未ダ集結シアラザルトキ使用シ得ル先頭ノ各大單位部隊ハ此ノ第一線ノ兵力ノ骨子ヲ成形シ以テ軍ノ集結ヲ掩護スベキ任務ヲ受ク

第二線ニハ大單位部隊及總豫備隊ヲ配置シ其ノ參戰ハ機動ノ發展ヲ確實ニスルヲ要ス此等第二線ノ兵力ハ多數ナルヲ有利トス是軍司令官ヲシテ遂ニ其ノ意志ヲ敵ニ強要スルヲ得ルニ至ラシムルハ此ノ兵力ニ俟ツモノナレバナリ

敵ヨリ遠キトキハ第一線ノ各軍團間竝ニ隣接軍トノ間ニ單簡ニ警戒セル間隔ヲ置クコトヲ得之ニ依リ部署ノ自由性ヲ獲得ス然レドモ敵ト觸接スルニ至レル際正面ヲ連續セシムル如ク總テノ處置ヲ講ジアルヲ要ス之ガ爲ニハ或ハ當初第二線ニ保持スル兵力或ハ此ノ時期ニ於テハ既ニ正面ノ前方ニ用途ヲ有セザル騎兵ノ主力ヲ使用ス

第二線ノ各大單位部隊ハ横方向及縦長ニ互リ廣ク配置セラルルモ機動ノ全般ニ於テ此等大單位部隊ニ課セラルベキ任務ニ常ニ適應スル如ク位置ス

敵ニ近接スルニ至ルヤ軍ノ部署ハ殊ニ縦長ニ於テ閉縮セラル移動迅速ナル大單位部隊ノ位置ハ要

スレバ之ヲ準備シ置クベシ是此ノ種部隊ハ屢、最終時機ニ到着スルヲ以テナリ
何レノ場合ニ於テモ軍司令官ハ軍ノ附近ニ於ケル空中掩蔽ヲ確保シ或ハ之ガ爲ニ所要ノ要求ヲ提
示ス

第三款 觸接及攻撃準備戰闘

第三百十二 觸接ニ關スル軍司令官ノ訓令ハ遠距離警戒ノ諸機關竝ニ第一線ノ各大單位部隊ノ任
務ヲ決定ス

第一線大單位部隊ノ前衛ハ軍司令官ノ採ラントスル態度ニ從ヒテ或ハ最モ速カニ觸接騎兵ヲ支持
シ且其ノ活動ヲ増援シ或ハ之ニ反シテ某陣地上ニ於テ該騎兵ヲ收容スルコトヲ命ゼラル
前衛ニ指定セラルベキ右兩任務中前者ハ特ニ陣地ニ在ルカ又ハ退却スル敵ノ場合ニ對應ス又後者
ハ攻勢的ニ前進スル敵ニ對スル場合ニシテ其ノ際ハ攻撃ニ先ダチ之ヲ阻止スルコト緊要ナリ(第
二百一及第二百十九)之ガ爲第一線ノ各大單位部隊ハ有效ナル火網ノ迅速ナル編成ニ有利ナル

陣地上ニ遲滯ナク展開シ以テ展開ノ優先ニ附隨シアル總ユル利益ヲ享有シテ茲ニ占據ス

此ノ陣地ハ軍司令官ノ選定セル戰場ト關連スルモノニシテ從ツテ軍司令官ヨリ命令的ニ指示セラ
ルルコトモアリ他ノ狀況ニ於テ若シ地形ガ之ニ適當セバ軍司令官ハ其ノ定ムル範圍内ニ於テ各軍
團長ニ該陣地ノ決定ヲ委スルコトアリ

觸接ヲ求ムル爲ノ各戰闘中ニ軍砲兵ハ漸次ニ参加ス

第三百十三 觸接確定スルヤ各軍團長ハ夫々自己ノ地域ニ於ケル戰闘ノ指揮ヲ掌握ス各軍團長ハ
軍司令官ヨリ受ケタル命令ノ範圍ニ於テ第二百二十一ニ示セル如ク其ノ軍團ノ攻撃準備戰闘ヲ行
フ

軍司令官ハ攻撃準備戰闘ノ初期ヨリ豫メ計畫シアル機動ノ爾後ノ發展ヲ容易ナラシムル爲遲滯ナ
ク奪取スルヲ要スル諸點ニ向ヒ戰闘ヲ開始シアル諸軍團ヲ指導スルコトニ注意ス又軍ノ攻撃ガ進
展スベキ地域外ニテモ第一線ノ諸軍團ガ皆ニ各前衛ノ增強ニ依リテ強固ニ其ノ戰線ヲ構成スルノ
ミナラズ十分ニ準備シ十分ニ火力ヲ以テ援助シ屢、前衛相互間ニ協同連合スル局地的ノ活動ニ依
リ果敢ニ參戰スベキヲ監視ス尙機ヲ失セズ其ノ軍砲兵ヲ以テ各軍團ニ對スル援助ヲ確保ス此等ノ

攻撃準備戰闘ハ縦ヒ敵ノ抵抗ヲ打破スルニ至ラザルトキト雖モ少クモ之ヲ正確ニ判定シ尙正面ノ全般ニ互リ攻撃ヲ加フルコトニ依リ敵ヲシテ不決心ニ陥ラシム

第四款 攻撃

第三百十四 觸接竝ニ攻撃準備戰闘中ニ軍司令官ハ得タル成果、蒐集セル情報、敵ノ對抗狀況ヲ細密ニ審査ス而シテ此等確實ナル諸元ヲ軍ノ可能性ト企圖トニ對照シ以テ其ノ作戰ヲ練リ且軍ノ活動ヲ親シク手裡ニ掌握シツツ會戰ノ主要行爲タル攻撃ニ依リテ敵ノ抵抗ヲ破摧スベキ諸條件ヲ確定ス

之ガ爲軍司令官ハ其ノ攻撃ヲ開始スベキ正面竝ニ軸線ヲ決定シ且精細ニ其ノ兵力ノ區分ヲ行ヒ以テ常ニ戰場ノ各部分ニ於テ敵ノ如何ニ拘ラズ其ノ攻撃ノ成功ヲ確保シ得ルニ十分ナル手段ヲ有シ得ル如クス

第三百十五 軍司令官ハ任務ニ對應シ兵力、資材ノ至當ナル適合竝ニ豫備隊ノ合理的ノ配置ニ依

リテ其ノ兵力ノ區分ヲ實施ス

此ノ趣旨ニ於テ軍司令官ハ所要ノ軍團ニ對シ増援ス又其ノ時迄後方ニ控置シアル諸軍團、諸師團及總豫備諸隊ヲ第一線ニ參加セシム要スレバ當初第二線ニ控置シアリシ各大單位部隊ノ砲兵ヲモ使用ス

軍司令官ハ軍砲兵司令官ニ總豫備隊ノ砲兵諸隊ヲ各軍團ト軍砲兵トノ間ニ區分スベキ件ニ就キ訓令ヲ下シ尙速カニ軍砲兵ノ任務ヲ決定ス

軍司令官ハ同様ノ條件ニテ軍ノ隸下ニ置カレタル戰車ノ區分ヲ行ヒ其ノ使用條件ヲ命令ス
軍司令官ハ總豫備隊ノ諸隊(自動車化又ハ機械化)又ハ大單位部隊中ヨリ至當ニ選出セル軍豫備隊ノ位置ヲ決定ス

軍司令官ハ戰線ノ受動的方面ヨリ兵力ノ抽出ヲ行ヒ又攻撃ガ開始セラルルヤ兵力ノ節約ヲ其ノ局限迄推シ進ムル爲實施スベキ兵力抽出ヲ準備ス

第三百十六 軍司令官ハ指揮及連絡ノ編成ヲ定メ情報ノ探求及其ノ傳達法ヲ攻撃上ノ必要ニ適合セシム

軍司令官ハ同時ニ後方ノ設備ヲ監視シ各部ノ配置ヲ確保シ所要ノ彈藥及器材ヲ其ノ使用位置ニ到ラシム又交通計畫ニ依リ會戰ノ補給及還送ヲ準備セシム

此等ノ處置ノ目的ハ軍ノ有スル總○ユ○ル○兵○力○、資○材○ヲ決定○的○戰○果○ヲ豫○期○セ○ラ○ル○ベ○キ○方○向○ニ最小ノ期間ニ於テ運用スルコトヲ確保スルニ在リ

第三百十七 攻撃ハ第五篇ニ述ブル一般ノ條件ニ於テ發展ス其ノ指導ハ第二百三十九ニ述ブル如ク終始軍司令官ニ依リテ行ハル

第五款 會戰ノ完結

第三百十八 軍司令官ハ攻撃ニ依リテ得タル成果ニ從ヒ戰果ノ擴張ヲ策シ又不成功ノ場合ニハ奪取セル地區ノ領有ヲ確實ニシタル後成ルベク速カニ攻勢ヲ再開シ得ル如ク準備ス(第二百四十一及其ノ以下)

第二章 軍ノ防勢

第一款 退却意志ナキ防勢

第三百十九 防勢會戰ニ於ケル軍ノ任務ハ軍團及師團ニ課セララルル任務トハ根本的ニ異ナレリ

軍團及師團ハ其ノ防禦力ニ委セラレタル單一ノ抵抗陣地ヲ退却ノ意志ナク固守スルノ任務ヲ有スルノミナリ

軍ハ防勢會戰ニ其ノ兵力、資材ノ重要度ニ比例セル濶度ヲ與ヘ得ベク又之ヲ與フルヲ要スルモノナリ

軍司令官ハ前項ノ目的ヲ達成スル爲敵ノ遠隔ニ依リ之ヲ許ストキハ抵抗陣地ノ前方ニ行フ活動ニ依リ又ハ抵抗陣地ノ突破セラルル場合ヲ顧慮シ其ノ後方ニ編成セル逐次陣地ノ設備ニ依リ防禦ノ縱長及自在性ヲ増加ス(第二百七十二)

從ツテ軍司令官ハ次ノ二様ノ考慮ヲ要ス

抵抗陣地ノ防禦ヲ準備シ且指導スルコト

抵抗陣地ノ前方ニ及要スレバ其ノ後方ニ軍ノ防勢機動ヲ豫定シ必要ニ應ジ之ヲ指導スルコト

第三百二十 右ノ兩見地ニ基キ軍司令官ハ軍ノ防禦計畫(第二百五十四)及之ニ對應スル情報計畫(第二十三)ヲ定ム

其ノ一 抵抗陣地ノ防禦

1、防禦ノ編成及準備

第三百二十一 軍ノ抵抗陣地ノ防守ニ任ズル各大單位部隊ノ任務ハ常ニ退却意志ナキ抵抗ニ在リ

第三百二十二 築城正面ノ防禦ニアラザル限り軍司令官ハ受ケタル任務、敵ヲ遮斷スベキ主ナル方向及必ズ保持スルヲ要スル各重要點ニ基キ抵抗陣地ヲ選定ス

軍司令官ハ抵抗陣地ノ一般ノ經始竝ニ此ノ陣地ノ縱長ヲ概略決定ス

此ノ經始ニハ地形上ノ利益特ニ大ナル障礙及大ナル起伏ヲ最善ニ利用ス

軍司令官ハ又前哨組織設置ノ一般條件竝ニ前哨ノ任務ヲ決定ス

第三百二十三 抵抗陣地上ニ配備セラルル各軍團ハ成ルベク地形上ノ一區劃及遮斷スベキ一方向ニ對應スル行動地域ヲ受領ス斯クシテ其ノ軍團ハ完全ニ一ノ任務ニ没頭スルヲ得其ノ統一モ亦之ニ依リ確保セラルベシ

軍砲兵ハ廣地域ニ梯次シ以テ縱長ニ活動シ且軍團砲兵ノ活動ヲ増援シ得ル如ク展開セラル

第三百二十四 軍豫備隊ハ大單位部隊(爲シ得レバ自動車化)及總豫備隊ノ諸隊特ニ戰車及對戰車兵器ニ依リテ編成セラル

豫備ニ控置セラレタル大單位部隊及諸隊ノ偵察ハ其ノ將來ノ任務ニ關連シテ實施セラル又此等諸部隊ニ課セラルル諸工事ハ明示セラルルモノトス

一翼軍又ハ築城若クハ對陣正面ノ一翼ニ在ル軍ニ於テ豫備隊ノ至當ナル梯次ハ暴露セルカ又ハ築城ナキ側面ノ安全ヲ保證ス

第三百二十五 戰線交綏スルニ至ルヤ軍司令官ハ防禦編成ノ完成スルニ從ヒ軍豫備隊ヲ作ル爲漸

次ニ地區ニ在ル諸隊ノ兵員ヲ減少スルノ義務ヲ有ス

軍豫備隊ハ總豫備隊ノ諸隊及爲シ得ル限り完全ナル大單位部隊(師團及軍團)ニ依リ編組セラレ通
常敵ノ攻撃強力ナル場合ニハ軍ノ正面ヲ増援シ狀況ニ依リテハ高等統帥 (Le haut commande-
ment)ノ要求ニ依リ活動的正面ニ指向セラレ或ハ又高等統帥ヨリ與ヘラルル戰略訓令ニ從ヒ軍ノ
正面上ニ攻勢ヲ採ル等ノ準備ニ在ルモノトス
之ニ依リ軍司令官ハ増援計畫、狀況ニ依リ撤去計畫及攻勢計畫ヲ定ム
其ノ際軍ノ正面ハ此等ノ狀況ニ適應シ且敵ノ注意ヲ惹クコトナク攻勢上必要トスル著大ノ増援ヲ
近接セシメ尙之ヲ最小限ノ時間ニ於テ配置ニ就カシメ得ベキ諸工事ヲ施サル

2、防禦ノ指揮

第三百二十六 軍司令官ハ第五篇(第二百六十六)ニ示スガ如ク火力ノ機動竝ニ其ノ豫備隊ノ使用
ニ依リテ其ノ活動ヲ隸下ニ及スモノトス

敵ノ攻撃迫ルト認ムルヤ軍司令官ハ攻撃準備破摧射撃ノ開始ヲ命ズ但シ豫メ之ヲ部下ノ獨斷ニ委
シアル場合ハ此ノ限ニアラズ

又原則トシテ破壊計畫ニ豫定セル方法ニ從ヒ破壊ノ實施ヲモ命令ス(第二百六十五)

第三百二十七 各大單位部隊ハ其ノ全手段ヲ以テ抵抗陣地上ノ戦闘ヲ實施ス

軍司令官ハ細心ニ其ノ成行ヲ注視シ適時ニ特ニ各軍團長ニ依リ編成シ且開始セララルル重要ナル逆
襲ノ爲所要ノ増援、砲兵ノ援助竝ニ軍ノ航空隊ヲ附與ス

數箇軍團ニ關係アル正面突破セララルル場合其ノ狀況ヲ恢復スルハ軍司令官ノ責務ナリ之ガ爲軍司
令官ハ突破口ノ附近ニ在ル各軍團ノ火力及活動ヲ協調セシメ又自ラ其ノ豫備隊ノ使用ヲ規定ス參
戰セル諸隊ハ地區ニ鈎著シ連續セル火線ノ急造ニ努ム軍司令官ハ狀況有利ト認ムルヤ攻撃スル敵
ヲ逆襲セシム(第二百七十)

若シ特ニ此ノ突破ガ多戰ノ裝甲兵器ヲ有スル敵ノ攻撃ニ依リ生ジタルトキハ軍司令官ハ現地ノ諸
隊及移動迅速ナル各大單位部隊ヲ利用シ主トシテ地隙アル正面ニ於テ其ノ進出ヲ阻止スルニ努ム
又爲シ得ル限り對戰車火器ヲ之ニ増援シ以テ速カニ對戰車彈幕ヲ構成スル如クス爾後ノ逆襲ニハ

敵ノ裝甲兵器ヲ攻撃シ得ベキ戰車ヲ配屬スルヲ有利トス
狀況之ヲ許ストキ軍司令官ハ攻勢移轉ヲ決行スルヲ得

第三百二十八 長時ニ互ル防勢會戰ニ於テハ軍司令官ハ諸隊ノ體力及氣力ヲ恢復スル爲必要ナル
交代ノ一般條件ヲ定ム其ノ良好ナル實施ニハ細心ノ豫測ヲ必要トス

其ノ二 軍ノ防勢機動

1、抵抗陣地ノ前方ニ於テ

第三百二十九 所要ノ地域ト手段トヲ有スルトキ抵抗陣地ノ前方ニ行ハルル活動ハ軍司令官ニ情
報ヲ提供シ尙狀況之ヲ要スレバ防禦ノ部署ニ必要ナル間防禦陣地ヲ掩蔽シ敵ノ前進ヲ遲滯シ且其
ノ接敵配備ヲ離開セシムルヲ目的トス
軍司令官ニ依リ編成指導セラルル此等ノ活動ノ爲ニハ軍ニ配屬セラレタル騎兵大單位部隊ヲ使用

シ若シ該部隊ナキトキハ第二百五十三ニ示セル各支隊ヲ充用ス

2、抵抗陣地ノ後方ニ於テ

第三百三十 軍ノ隷下各部隊ハ單ニ抵抗陣地ヲ固守スルヲ以テ足レリトスルモ軍司令官トシテハ
縦ヒ之ガ築城正面ナリトスルモ其ノ陣地ノ突破セラルル場合ヲモ考慮シ高級指揮官ノ豫測ト題セ
ル**第二百七十二**ニ示セル**逐次陣地**及**斜交陣地**ノ利用ニ依リテ之ニ備フルノ義務ヲ有ス

第三百三十一 軍司令官ノ配慮ニ依リ決定セラルル**逐次陣地**及**斜交陣地**ハ狀況ニ依リテ部分的ニ
又ハ完全ニ編成セラレ其ノ占領法モ亦狀況ニ依リ單ニ警戒ノ戍兵ニ依リ保持セラレ或ハ大單位部
隊内ノ若干部隊ニ依リテ恒久的ニ占據セラレ
原則トシテ此等ノ工事及其ノ占領ハ抵抗陣地ノ守備ニ任ズル軍團トハ全然相異ナル諸隊ニ委セラ
ル

豫備隊ニ在ル大單位部隊ノ砲兵ハ一時的ニ逐次陣地上ニ布置セラルルコトアリ

第三百三十二 逐次陣地ハ軍司令官ニ對シ必要ニ依リテ利用シ得ベキ機動ノ可能性ヲ附與ス
軍司令官ハ逐次陣地及斜交陣地上ニ機動スルニ適切ナル時機ヲ判定スル爲ニハ其ノ受ケタル任務、
敵ノ可能性ニ關シ蒐集セル諸諸報、敵ノ有スル諸手段及時宜ニ依リ狀況ノ進展ヲ彼此比較審査ス
軍司令官ハ或ハ主要抵抗ヲ其ノ中ノ一ニ移サン爲或ハ退却機動又ハ退却掩蔽ヲ爲サンガ爲此等ノ
諸陣地ヲ利用ス

然レドモ此等ノ機動ガ成果ヲ齎ス爲ニハ其ノ詳細ニ互リ豫見シ且準備セラレアルヲ要ス最後ノ時
機ニ於テ防禦配備ヲ修正スルハ極メテ危険ナリ

第二款 退却機動

第三百三十三 退却機動ハ第二百七十三ニ示セル一般條件ニ於テ實施セラル

此ノ機動ハ敵ニ委棄セル各交通線ノ破壞又ハ遮斷ト併用セラル(第二百六十五)

之ガ爲軍司令官ハ軍工兵司令官ノ提議ニ基キ破壞計畫ヲ定メ且其ノ實施條件ヲ決定ス原則トシテ

破壞ノ實施ヲ命ズルモノハ軍司令官ナリ然レドモ隷下ノ大單位部隊ノ指揮官ニ此ノ權能ヲ委任ス
ルコトアリ但シ其ノ委任ヲ行使スベキ諸條件ハ之ヲ明示ス

第三款 退却

第三百三十四 退却ニ關シテハ軍司令官ハ第四百四十五及第二百七十五ニ示ス諸規定ニ準據ス

軍司令官ノ主要ナル考慮ハ秩序ヲ維持シ又ハ恢復シ軍ノ側面ヲ掩蔽シ且隣接兵團トノ連絡ヲ確保
スルニ在リ

之ガ爲軍司令官ハ各軍團ノ方向及行動地域ヲ指示シ各經路ヲ配當シ諸縱隊ヲ輕快ニシ且之ヲ給養
スル爲有益ナル總ユル處置ヲ命ジ又飛行隊ノ移動ハ不斷ニ其ノ戰闘參加ヲ確保シ得ベキ諸條件ニ
於テ實施セラルル如ク監視ス

軍司令官ハ各軍團ガ其ノ主力ノ退却ヲ可能ナラシムベキ後衛ヲ配置スベキ線ヲ決定ス又此等後衛
ヲ編組スベキ諸兵種ノ諸隊(特ニ騎兵及戰車)竝ニ使用シ得ル全航空隊ニ對シ狀況上必要トスル機

性ヲ要求ス

第七篇 軍團ノ會戰

第三百三十五 軍團ハ會戰ノ單位ニシテ軍内ニ在リテ長期ノ戰術的活動ヲ行ヒ且決戰ニ至ル迄之ヲ遂行スルコトヲ得

軍團ハ數箇ノ師團及若干ノ建制諸隊或ハ各種ノ増援部隊(各兵種又ハ各部)ヨリ成ル
軍團ハ軍司令官ノ爲ニハ戰術的ノ實行機關ニシテ軍團内ノ諸隊ノ爲ニハ其ノ活動ヲ指揮シ且協調セシムベキ指揮ノ機關ナリ

第三百三十六 軍團長ハ軍司令官ノ訓令ニ依リ其ノ企圖スル機動ノ目的、形態、豫期スル機動ノ經過竝ニ該機動ニ於ケル當該軍團ノ任務等軍司令官ノ計畫ヲ詳知セシメラル
軍團ノ任務ハ常ニ現地ニ於テ次ノ三項ニ依リ具體化セラル

前進シ又ハ遮斷スベキ一般ノ方向

此ノ方向ニ對應スル正面又ハ縦長ニ於ケル行動地域

攻略スベキ諸目標或ハ防守スベキ諸陣地

其ノ他軍團長ハ軍ノ諸命令ニ依リ其ノ作戰ノ大綱ヲ逐次ニ決定セラレ又隣接大單位部隊ノ作戰ト
協調スベキ件ヲ指示セラレ軍團ノ活動ヲ行フ

第三百三十七 軍團長ハ軍司令官ノ意圖ト軍團ノ任務ノ趣意トヲ正確ニ詳知シテ第七ニ示ス諸條
件ニ於テ自己ノ機動ヲ考案シ且決定ス

軍團長ノ決心ハ主トシテ次ノ四項ニ互ルモノトス

軍團主力ノ使用條件

此ノ使用ニ適當スル部署

直轄諸隊即チ飛行隊、騎兵、師團並ニ軍團ノ砲兵及工兵等ノ各任務

現地ニ於ケル各任務ノ具體化即チ方向、行動地域、目標又ハ防禦陣地

第三百三十八 軍團長ノ責務ハ隸下諸隊ノ行動ヲ統制スルト同時ニ直接ノ活動ヲ行フニ在リ

軍團長ハ全般ノ活動ヲ得ル爲又重要ナル諸點及時機ニ努力ヲ集中シ且之ニ依リ成功ヲ齎スベキ集
團的効果ヲ實現スル爲其ノ各師團ノ作戰行動ヲ統制ス

軍團長ハ其ノ建制隊ヲ使用シ其ノ諸師團ノ活動ヲ或ハ警戒シ掩蔽シ又ハ準備シ或ハ増援シ支持シ

又ハ延伸シ以テ自己ノ活動ヲ行フ

第一章 軍團ノ攻勢

第一款 接敵行進

第三百三十九 軍團ハ第五篇ニ示ス一般ノ規定(第二百九及其ノ以下)ニ從ヒ尙軍ノ定ムル範圍

(第三百十一)ニ於テ其ノ接敵ヲ實施ス

接敵部署ハ觸接ノ際其ノ行動地域ノ全正面ニ互リ堅固ナル展開正面ヲ構成スルニ必要ナル師團數
ヲ第一線ニ配置ス第二線ニ保持スベキ兵力ハ狀況ニ依リ差異アリ即チ長期ノ努力ヲ致スベキ軍團
ハ多數ノ豫備隊ヲ存置スルヲ要シ且該豫備隊中ニハ完全ナル數師團ヲ含ムコトモアルベシ外翼ノ
軍團ハ其ノ外側ヲ支持シ且容易ニ其ノ方向ヲ變換シ得ル如ク多クハ其ノ諸師團ヲ多少梯次ニ配置
シテ前進スベシ

第一線諸師團ノ各部ノ諸機關ハ第二線師團ノ戰鬪部隊ノ參戰ヲ迅速且容易ナラシムル爲其ノ後方ニ位置セシメラルルコトアリ同一ノ理由ニ依リ第二線諸師團ハ其ノ砲兵ヲ縱隊ノ先頭ニ進ムルヲ有利トスベシ

前進間戰術的状況ノ進展ニ依リテ部署ノ修正ヲ要スルコトアリ然ルトキハ軍團長ハ或ハ行進地帯

又ハ師團ノ梯次ヲ改メ或ハ軍團建制諸隊ノ配置ヲ變更シテ之ヲ實施ス

第三百四十 晝夜ヲ問ハズ整然且正確ニ其ノ部署ヲ移動スル爲ニハ軍團長ハ主力ノ先頭及後尾ノ

到達スベキ逐次ノ線竝ニ之ニ應ジテ前衛ノ到達スベキ諸目標ヲ決定ス

第三百四十一 夜間ハ軍團ノ主力ハ軍又ハ軍團ヨリ出セル遠距離ノ警戒部隊(偵察隊要スレバ之

ヲ増援セルモノ)ノ掩護ノ下ニ運動ヲ行フ

此等ノ警戒機關ハ日没前ニ天然ノ障礙ヲ利用セル掩蔽陣地上ニ配置セララル

各縱隊ハ道路網ノ至當ナル利用ニ依リ全般ノ通過時間ヲ短縮スル如ク行軍地域内ニ區分セララル其

ノ際敵ノ砲撃ノ效果ニ依リ餘儀ナキニ至ルコトアルベキ經路ノ變更ノ爲總テノ豫測ヲ行ヒアルモ

ノトス

晝間ニ運動ヲ完了スル諸縱隊ヲ敵ノ偵察ヨリ免レシムル爲ニモ亦所要ノ處置ヲ講ズベシ

第三百四十二 晝間ハ敵ノ通視ニ遮蔽セル進路ヲ利用スルコト必要ニシテ之ニ依リ漸次ニ諸隊ヲ

其ノ戰鬪參加ニ有利ナル地區ニ誘導スベシ

軍團ハ航空隊ト騎兵トニ依リ搜索ヲ實施セラレ防禦用輕飛行隊ト國土防空竝ニ軍防空ノ諸隊トニ

依リ掩護セラレ又遠距離ヨリハ遠距離警戒諸隊ニ依リ近距離ヨリハ其ノ前衛ニ依リ掩蔽セラレテ

行軍ス

軍團ノ飛行隊ハ軍飛行隊ガ搜索スル地域ノ近距離限界迄行動ス同隊ハ軍團參謀部ガ明示セル搜索計畫ニ從ヒテ組織的ニ其ノ搜索ヲ進ム尙軍飛行隊ガ其ノ前方ニテ活動スル諸條件、之ニ期待シ得ル防護竝ニ高射砲兵ノ使用條件等ニ就テハ豫メ告知セララルヲ要ス

軍團ノ偵察隊ハ軍ニ於テ遠距離警戒ノ處置ナキトキ敵トノ距離之ヲ必要トスル間軍團部署ノ遠距離警戒ヲ實施ス其ノ目的ヲ達スル爲ニハ左ノ如クス

一 又ハ數箇ノ決定方向ニ其ノ偵察力ヲ集中ス

前衛(又ハ側衛)ノ到著迄軍團ノ前進ヲ掩蔽シ得ル如キ地障ヲ領有ス

軍團偵察隊ノ指揮ノ手段ハ自動車化ノ歩、砲兵部隊ニ依ル増援ヲ可能ナラシム總ユル場合軍團偵察隊ハ飛行隊竝ニ軍騎兵(之ガ先行シアルトキ)ト密接ニ連絡シテ行動ス

第一線諸師團ノ各偵察隊ハ原則トシテ此等師團ノ隸下ニ在リ然レドモ狀況ニ依リ一又ハ數箇ノ師團偵察隊ト軍團偵察隊トヲ同一指揮下ニ一時集結スルヲ至當トスルコトアリ例ヘバ軍團ノ主要方向ヲ前進スル第一線師團ノ前方ノ警戒網ヲ増援シ且調整スル爲又ハ部署ノ暴露セル側面上ニ於ケル掩蔽ニ備フル爲等是ナリ

第三百四十三 軍團長ハ各前衛ノ一般的任務ヲ定メ又敵前ニ於テ探ルベキ行動竝ニ軍ノ期待スル戰場ニ参加スベキ諸條件ヲ明示ス從ツテ軍團長ハ例外ノ場合ヲ除キ豫想セラルル努力ノ種類竝ニ其ノ程度ニ對應スベキ前衛ノ兵力及編組ヲモ決定ス

各前衛ノ躍進ハ軍團長ニ依リ各前衛ニ指定セラレタル逐次ノ目標ニ從フ(第三百四十)但シ中間ノ躍進ハ各師團長ノ獨斷ニ委セラルルコトアリ

第三百四十四 軍團ノ建制諸隊及若シ之アラバ其ノ増援諸隊ハ部署内ニテ敵ノ飛行隊、砲兵及裝甲兵器ニ對シ最モ適時且有效ニ應戰シ得ベキ位置ヲ占ム

高射砲兵ハ飛行隊及國土防空隊ノ協力ヲ以テ空中掩蔽ヲ確保シ得ル如ク展開ス(第五百十三)

軍團砲兵ノ若干部隊ハ飛行隊ノ援助ヲ以テ成ルベク速カニ敵砲兵トノ對戰ヲ行フ爲第一線ノ諸師團ノ近傍ニ臨時ニ派遣セラル

裝甲兵器ニ對スル戰鬥ニ適當セル諸戰車ハ第一線ノ各師團ニ分屬セラレ或ハ軍團ノ豫備トシテ控置セラレルコトアリ

第二款 觸 接

第三百四十五 觸接ハ先ヅ軍團ノ騎兵(軍團及師團ノ偵察隊)ニ依リ多少散在的ニ獲得セラレ次デ各前衛ハ各師團長ノ直接ノ指導ノ下ニ此ノ觸接ヲ補足シ且行進正面ノ全般ニ互リ漸次ニ之ヲ緊密ナラシム

觸接ハ極メテ重要ナル事ナリ之ニ依リテ指揮官ニ具體的ノ諸元ヲ提供スルモノニシテ若シ此ノ諸元ヲ缺クトキハ指揮官ハ其ノ第一ノ攻撃ヲ空虚ニ又ハ誤レル方向ニ指向スル虞アレバナリ

第三百四十六 陣地ニ在ル敵ニ對シテハ軍團ノ騎兵ハ指定セラレタル前進軸線ノ附近ニテ遭遇スル敵ノ前進部隊ヲ擊退スルニ努ム該騎兵阻止セラルルニ至ルヤ觸接ヲ持續シ各前衛ニ之ヲ通報シ以テ活動ヲ準備シツツ監視ス軍團ノ騎兵ニ追及スル前衛ハ總ユル手段ヲ使用シテ攻撃シ且潛入シ通常連續セル火網ニ依リテ實體化セラルル敵ノ第一抵抗線ヲ決定スル爲更ニ前進スルコトヲ努ム此ノ成果ヲ得バ各前衛ハ本隊ノ展開ヲ掩蔽スル爲其ノ地區ニ占據ス

第三百四十七 攻勢前進スル敵ニ對シテハ第一ニ目的トスル所ハ攻撃ニ先ダチ之ヲ阻止スルニ在リ(第三百十二)

軍團長ハ軍司令官ガ遭遇ヲ豫想スル戰場竝ニ第一線ノ各大單位部隊ガ先ヅ敵ヲ阻止スベキ活動ノ爲利用スベキ陣地ニ關シ軍司令官ヨリ指示ヲ受ケ隸下各師團ガ示サレタル陣地ニ達スル迄ノ前進ヲ劃スベキ逐次ノ諸線ヲ決定ス

軍團長ハ又第一線各師團ノ前衛ガ當初ヨリ軍團ノ行動地域ノ全正面ニ互リ敵ニ對シ展開ト適當ナル火力トノ先制優越ヲ保チ得ルニ足ル兵力、編組及配置ヲ有シアルコトニ注意ス

軍團長ハ前進ノ部署及地形ノ特性ニ關連シテ各前衛及騎兵ノ協同要領ヲ決定ス又各前衛ガ實際ニ其ノ師團長ニ依リ指揮サレアリヤヲ監視シ且各師團長ガ活潑ニシテ且持續的ナル會戰ノ發展ニ最モ適當セル序列ニ其ノ主力ヲ有シアリヤヲ確認ス

更ニ前衛ガ其ノ阻止的活動ノ爲展開スルニ至ルヤ軍團長ハ自ら最高指揮ヲ執リアル此等前衛ノ行動ヲ至近ニ在リテ親シク觀察ス

第三款 攻撃準備戰闘

第三百四十八 軍團長ハ軍ノ訓令ニ準據シ遲滯ナク攻撃準備戰闘ヲ實施シ得ル爲觸接ノ各行動ヲ細心ニ監視ス(第三百十三)

攻撃準備戰闘ハ第一線部隊ノ事業ニシテ諸部隊ノ編組ハ狀況ニ依リ異ナルモ概シテ前衛以外ニ砲兵ノ最大限ト主力歩兵ノ一部トヨリ成リ尙爲シ得レバ戰車ニ依リ其ノ歩兵ヲ支援ス

軍團長ハ受ケタル命令、蒐集セル情報及地形ニ從ヒテ攻撃準備戰闘ヲ指揮ス本戰闘ハ或ハ行動地域ノ全般ニ於テシ或ハ單ニ其ノ地域ノ適當ナル一地區内ニ於テス後者ノ場合ニハ軍團長ハ之ニ任

ゼザル諸隊ヲシテ其ノ火力ヲ以テ攻撃準備戰闘部隊ヲ援助セシメ且該部隊ノ成功ヲ猶豫ナク利用シテ平行ニ前進セシムル爲所要ノ命令ヲ下ス又各實行師團ニ對シテハ其ノ攻撃軸、戰闘地域、攻略スベキ諸目標及此ノ攻略後採ルベキ態度ヲ決定シ尙軍團隷下ノ砲兵ヲ以テ之ヲ援助シ又ハ増援ス要スレバ各師團ノ相互的援助ニ注意ス

軍團ノ飛行隊ハ敵情特ニ敵ノ防禦方式ニ關スル情報(寫眞偵察)ヲ極力蒐集スルニ努ムルト共ニ主トシテ砲兵ノ爲ニ觀測ノ諸任務及師團ノ爲ニ隨伴ノ諸任務ヲ實施ス軍團ノ氣球隊モ必要缺クベカラザル程度ニ於テ之ニ參加ス

軍團長ハ同時ニ主力ノ爾後ノ攻撃ノ爲部署ヲ閉縮シ又要スレバ部署ノ改變ヲ爲シ尙其ノ補給部ノ活動特ニ彈藥補給ヲ活潑ナラシム軍團長ハ原則トシテ十分ナル手段ヲ集結シタル後ニ軍司令官ノ命令又ハ同意ヲ得ザレバ攻撃ニ移ルコトナシ

攻撃準備戰闘ハ其ノ目的ノ如何ニ拘ラズ軍團ニ行動地域ノ全正面ニ互リ連續セル正面ノ展開ヲ確保シ次デ其ノ掩蔽ノ下ニ其ノ主力ガ機動スルノ可能性ヲ確保スルヲ要ス

第四款 攻撃

第三百四十九 攻撃準備戰闘ニ依リ得タル成果ト受ケタル命令トニ基キ軍團長ハ攻撃計畫ヲ策定ス此ノ計畫ニハ最モ效果アル方向ニ於テ兵力ノ最大限ヲ以テスル主攻撃ヲ編成ス殘餘ノ各兵力ハ主攻撃ヲ支持シ又ハ掩蔽スベキ活動ニ充當セラレ

第三百五十 敵配備ヲ打破スル爲攻撃ハ少クモ敵ノ砲兵陣地ニ至ル迄突進シ猶豫ナク發展シ得ルヲ要ス其ノ方向及目標ハ之ニ基キテ決定セラレ

攻撃ノ形式(第三百五十二)ハ其ノ火力手段及其ノ装甲兵器ニ期待シ得ル如ク決定セラレ之ガ爲軍團長ハ航空隊ニ依ル搜索效果ヲ正確ニ判斷シタル後敵部隊ノ兵器竝ニ配備ト其ノ占領シタル地形トニ關シ成ルベク完全ナル情報ヲ探求ス

第三百五十一 攻撃準備戰闘ガ確實ナル成果ヲ齎シタルトキハ敵ニ活動ノ自由ヲ與ヘザル爲攻撃ハ速カニ之ニ續行スルヲ有利トス

然レドモ或ハ空中及地上ノ偵察ニ依リ敵ノ防禦方式ノ研究ヲ完全ニスル爲或ハ軍ヨリ與ヘラレタ

ル増援諸隊ヲ編入スル爲或ハ又砲兵ヲ以テ歩兵及戰車ニ進路ヲ開クベキ破壊ヲ實施スル爲攻撃開始迄若干ノ期間ヲ必要トスルコト屢、之アリ然ルトキハ此等ノ準備作業ヲ促進シ以テ敵ガ其ノ對抗手段ヲ講ズル爲有シ得ベキ餘裕ヲ成ルベク短縮スルヲ適當トス

第三百五十二 軍團長ノ下スベキ命令ハ主トシテ第三百三十七ニ列擧スル諸點ニ關シ尙其ノ他次ノ諸點ニ互ルモノトス

攻撃進出ノ準備並ニ實施ノ諸條件

逐次ノ各目標ノ決定、此ノ目標上ニテ全般ノ軍團部署ガ軍團長ノ手裡ニ掌握セラレ又ハ次ノ新行動ノ爲改變ヲ加ヘラル隨ツテ之ヲ軍團目標ト稱ス

第一線各師團ノ相互支援法

將來ノ戰果擴張方向

當初控置セル諸隊ノ任務

軍團長ハ決心ノ主要素タル情報ノ探求ヲ最モ重要視ス之ガ爲攻撃ノ各期間親ラ飛行隊ニ其ノ偵察任務ヲ明示スル爲ニ干與ス

攻撃部署ヲ其ノ第一目標ニ面シ發進基地上ニ配置スルコトハ重要ニシテ而モ複雑ナルヲ以テ概シテ特別ノ命令ニ依リ之ヲ指示ス該命令ニハ其ノ部署ノ秘密ヲ保持シ方式的ノ實施並ニ掩護ヲ保證スルニ適スル總ユル處置ヲ詳述セラルベシ

右部署ノ配置ハ軍ノ防護用輕飛行隊並ニ其ノ防空諸隊ガ有效ナル掩蔽ヲ確保スルニアラザレバ晝間ニハ行ハルルヲ得ズ

第三百五十三 軍團長ハ原則トシテ其ノ隸下ノ砲兵ヲ以テ對砲兵戰及遠距離遮斷ヲ擔當ス之ガ爲軍團砲兵指揮官ノ提議ニ依リテ此ノ砲兵ニ其ノ任務及區分ヲ指定ス軍團砲兵指揮官ハ之ニ依リ數箇ノ集團ヲ編成シ以テ師團砲兵ノ活動ヲ延長シ要スレバ之ヲ増援スル爲最モ有利ナル條件ニテ之ヲ現地ニ配置ス

第三百五十四 軍團ニ戰車隊ヲ配屬セラルル場合其ノ用法ハ第二百三十三ニ述ブル諸規定ニ準據ス軍團長ハ必要ト認メントキハ若干ノ戰車隊ヲ控置シタル後各師團ノ任務及其ノ行動地域ノ地形ヲ參酌シテ各樣式ノ戰車ヲ各師團ニ分屬ス

軍團長ハ隨伴戰車ノ使用時機ヲ明示シ要スレバ其ノ活動ヲ統制スル爲時トシテハ其ノ戰車ノ使用

セラルベキ師團ノ攻撃正面ヲ示ス

軍團長ハ時間的竝ニ空間的ニ全般機動ノ戰車隊ノ使用條件ヲ規定シ以テ之ニ對シ有力ナル砲兵ニ依ル掩護及支援ヲ確保スルニ注意ス

攻撃中ニ於ケル對戰車防禦ノ編成ハ軍團長ノ全般豫測ノ主題ナリ第二線ノ各師團ハ防禦ノ縱長ヲ後方ニ向ヒ増加スル爲其ノ特種兵器ヲ適切ニ展開ス

第三百五十五 攻撃發進スルヤ軍團長ハ其ノ發展ニ關シ主トシテ飛行隊ヨリ情報ヲ受ク而シテ同隊トハ不斷且直接ニ連絡シアルベシ

軍團長ハ其ノ砲兵火力ヲ運用ス特ニ戰闘中ニハ其ノ攻略又ハ制壓ガ絶大ナル利益ヲ呈スベキ敵陣地ノ諸點ニ向ヒ強力ナル集中火ヲ命ズ

軍團長ハ其ノ豫備隊(控置セル戰車隊ヲ含ム)ヲ其ノ參戰地域ニ指向ス之ヲ戰闘ニ參加セシムルニハ或ハ之ヲ第一線各師團ノ隸下ニ入レ或ハ又其ノ豫備隊ガ完全ナル師團タルカ若クハ全般機動戰車隊タルトキハ之ヲ攻撃威力ノ増強ヲ欲スル正面ニ注入ス其ノ他戰闘ヲ補充スル爲第二線諸師團ヲ以テ消耗セル第一線諸師團ト交代セシムルコトアリ然ルトキハ之ヲ超過交代トスベキヤ單純ナル交代トスベキヤヲ決定ス

ル交代トスベキヤヲ決定ス

第五款 會戰ノ完結

第三百五十六 戰果ノ擴張及不成功ノ場合ノ占領地區ノ保持ニ關シテハ第二百四十四及其ノ以下ニ述ブル諸規定ニ準據シテ軍團長之ヲ企畫ス

第二章 軍團ノ防勢

第三百五十七 軍團ハ或ハ退却ノ意志ナク一定ノ陣地ヲ守備シ或ハ退却機動ヲ爲シ或ハ退却戰闘ヲ爲スヲ命ゼラルルコトアリ

第一款 退却意志ナキ防勢

其ノ一 防禦編成及配備

第三百五十八 軍司令官ヨリ遮斷スベキ方向竝ニ軍團ノ守備スベキ陣地ノ一般經始及側方限界ニ就キ指示ヲ受ケタル軍團長ハ其ノ飛行隊及騎兵ニ依リ搜索ヲ行ヒ陣地ヲ領有シ其ノ前方ニ前哨又ハ警戒部隊ヲ出シ以テ地形ノ偵察、防禦工事及防禦配備ノ逐次ノ整置ヲ掩蔽ス

軍團長ハ軍防禦計畫ノ範圍内ニ於テ此ノ陣地ヲ自ラ偵察シタル後軍團ノ防禦ニ關スル決心ヲ爲ス此ノ決心ハ防禦計畫ニ記述セラルベキモノニシテ主トシテ第三百三十七ニ述ブル諸項及其ノ他次ノ諸項ニ互ルモノトス

前方及後方限界ノ經始ニ依リテ抵抗陣地ノ決定

前哨ノ兵力及任務、其ノ警戒及抵抗部隊ノ位置ノ決定

砲兵ノ編成ノ基礎及射擊開始ノ諸條件

彈藥ノ配置及使用

防禦工事、通信及交通ノ各作業實施ニ關スル一般方針、緩急順序

第三百五十九 地區ノ編成ハ第二百六十四ノ指示ニ從ヒ指導セラル

軍團長ハ總ユル所要ノ處置ニ於テ地區ノ編成ヲ敵ノ裝甲兵器ニ對スル戰鬥ノ要求ニ適合セシム

(第二百五十九)

又軍團工兵指揮官ニ工事ノ實施ニ必要ナル器材ヲ各隊ニ分屬スベキ事項ニ關シ指示ス

第三百六十 前哨ハ第一線ノ諸師團ガ各、其ノ行動地域内ニテ之ヲ設置ス敵ノ攻撃ノ場合ニ於ケ

ル其ノ任務ハ軍ニ依リテ決定セラレ(退却又ハ現地防禦)軍團長ハ正面ノ全般ニ互リ其ノ實施ノ方法ヲ地形ノ要求ニ調和セシメ又各師團ノ前哨ガ其ノ隣接師團ノ前哨ニ連絡スベキ諸點ヲ決定ス敵遠隔シアリテ之ヲ許ストキハ觸接ハ前哨ノ前方ニ於テ騎兵ニ依リ獲得維持セラル狀況ニ依リテハ之ガ爲軍團長ハ軍司令官ノ命令ニ準據シ編組及任務ヲ決定(第三百二十九)スル警戒支隊ヲ使用スルコトアリ(第二百五十三)

第一線ノ諸師團ハ第二百五十六ニ示セル方法ニ從ヒ抵抗陣地上(主力)及其ノ後方(豫備隊)ニ配置セラル

軍團長ハ第一線諸師團ノ相互支援ヲ命ジ又其ノ行動地域ノ境界ニ於ケル其ノ火力計畫ノ協調ヲ監

視ス尙其ノ計畫ノ價值特ニ敵裝甲兵器ノ進入ノ虞アル地區ニ對スルモノニ就キ監督ス
攻撃ガ切迫セザル限り第一線諸師團ノ豫備隊ハ工事ノ實施ニ參加スルコトヲ得然レドモ此ノ諸隊
ハ命令一下直チニ其ノ警戒位置ヲ占ムルノ準備ニ在ルヲ要ス

第三百六十一 砲兵ハ軍團砲兵指揮官ノ提議ニ依リ第二百六十及第二百六十一ニ指示スル各種ノ
任務ノ爲ニ區分シ且梯次セラル

軍團長隸下ノ各砲兵集團ハ特ニ對砲兵戰、遠距離遮斷及航空隊ノ要求ニ依ル不時ノ目標ニ對スル
射撃ノ諸任務ヲ課セラル共ノ活動ハ軍砲兵ノ活動ニ依リ延伸セラレ又要スレバ増援セラル

軍團ノ砲兵指揮官ハ地形上ノ重要諸點ニ砲火ノ集中ヲ準備ス又軍團隸下ノ各砲兵集團ガ隣接大單
位部隊ノ爲狀況ニ應ジ參戰スル件竝ニ隣接大單位部隊ニ要求スベキ相互ノ援助ニ關シ研究ス

第三百六十二 軍團ノ豫備隊ハ狀況ニ應ジ會戰間參戰スベキ場合ノ要求ヲ顧慮シテ抵抗陣地ノ後
方ニ配置セラル該豫備隊ハ第二百六十八竝ニ第二百六十九ニ述ブル如ク各種ノ目的ニ使用セラル
軍團ノ豫備隊ハ或ハ戰線ノ各師團中ヨリ抽出セル小部隊ニ依リ或ハ軍團ノ隸下ニ在ル各兵種總豫
備隊ノ諸隊(特ニ戰車隊)ニ依リ或ハ稀ニ完全ナル一師團ニ依リ編組セラル前二種ノ豫備隊ノ參戰

ハ概シテ第一線ノ某々師團ノ防禦計畫ノ範圍内ニ豫定セラル但シ軍團長ハ之ニ關シ若干ノ所要事
項ヲ命令ス一師團全部ノ參戰(逆襲、消耗師團ノ交代、正面増援ノ爲ノ參加、第二陣地又ハ斜行
陣地ノ占領等ノ場合)ハ軍團長自ラ之ガ實施ノ條件ヲ規定ス

會戰前豫備隊ノ位置ハ工事ノ便宜ニ應ジテ定ムルコトヲ得然レドモ敵ノ攻撃切迫スルニ至ルヤ軍
團長ハ豫備隊ニ其ノ警戒位置ヲ占メシメ又其ノ對戰車火器ヲ展開セシム

其ノ二 會戰ノ指導

第三百六十三 軍團長ハ第二百六十六竝ニ第二百六十七ニ示ス一般指示ニ從ヒテ其ノ行動地域ニ
於ケル會戰ヲ指導ス

軍團ノ航空部隊ハ軍團ノ主要ナル情報機關ヲ構成シ其ノ活動ハ搜索計畫ニ依リテ方針竝ニ細部ノ
事項ヲ規定セラル同隊ハ軍團長ト直接且不斷ニ連絡ス

若シ遮斷射撃竝ニ攻撃準備破摧射撃ノ開始ニ拘ラズ敵ノ攻撃ガ進出スルニ至レバ軍團長ハ關係各

師團ニ對シ適時軍團直轄砲兵ノ援助竝ニ其ノ豫備隊ヨリノ増援ヲ與フル爲敵ノ攻撃ノ發展ヲ細心ニ注視ス

第三百六十四 軍團長ガ豫備トシテ一師團ヲ有シ之ヲシテ逆襲セシムルニ決シタルトキハ自ラ其ノ部署配置ヲ行ヒ其ノ目標及行動地域ヲ定メ尙其ノ師團長ノ隸下ニ必要ナル總ユル増援(飛行隊、戰車、砲兵)ヲ附與スルヲ要ス其ノ他同師團ノ爲ニ軍團直轄ノ砲兵ノ使用法ヲ規定シ且要スレバ軍ノ砲兵及飛行隊ニ協力ヲ要求ス尙軍團長ハ隣接部隊トノ協力ヲ調整シ該逆襲ノ兩側ニ在ル諸隊ニ依ル火力ノ支援ヲ編成ス

逆襲ニ任ズル師團長ハ成ルベク速カニ自己ノ活動スベキ方面ニ在ル第一線各師團長トノ觸接ヲ取ル其ノ部署ハ第二百七十ニ述ベシ方法ニ依リ簡單ニシテ且強力ナルコトヲ旨トスルヲ要ス此ノ逆襲ガ發進セバ軍團長ハ直轄ノ砲兵ヲ以テ敵ノ直接反撃又ハ攻勢再開ニ對シ之ヲ掩護スルニ注意ス該掩護ニハ航空隊ニ依ル持續的警戒ヲ必要トス

第二款 退却機動

第三百六十五 退却機動ヲ命ゼラレタル軍團長ハ第二百七十三及第二百七十四ニ述ベタル諸原則竝ニ諸方法ヲ適用ス

軍團長ガ軍ヨリ受クル命令ニハ通常其ノ機動ヲ調整スベキ梯次ノ諸陣地竝ニ此ノ機動ニ依リ結局獲得スベキ時間ノ餘裕ヲ指示セラレアリ

此ノ範圍内ニ於テ敵ニ對抗スベキ逐次ノ梯隊ノ運動ヲ規正シ敵ニ膠著セララルコトナクシテ而モ之ヲ遲滯セシムルコトハ軍團長ノ責務ナリ之ガ爲軍團長ハ豫想セル各陣地ニ於テ敵ヲ阻止スベキ時間ヲ明示ス

軍團ハ縱長ニ於ケル指揮ノ行使ヲ確保スル爲各師團ノ併立ヲ以テ作戰ス軍團長ハ各梯隊ガ占領スベキ各陣地ノ特性ニ應ジテ各梯隊ノ編組ヲ定ム又建制上又ハ増援ニ依リテ軍團ノ有スル裝甲兵器及自動車化諸隊ノ大部ヲ各師團ニ分屬シ以テ各師團ヲシテ逐次ノ觸接及戰鬥ヲ最小限ノ危険ヲ以テ離脱シ得ル如クセシム尙遠距離射撃ノ實施ノ爲長重砲兵一集團ト所要ノ空中觀測手段トヲ各師

團ニ配屬シ又工兵諸隊ガ破壊ノ爲ニ或ハ障碍物ノ設置ニ或ハ交通線ノ工事等ニ使用セラルベキ諸條件ヲ決定ス

軍團長ハ其ノ行動地域ノ全般ニ互リ地上觀測竝ニ通信ヲ統制ス尙交通及補給ノ良好ナル運営ヲ監視シ以テ諸隊ノ機動ヲ阻害セズ又敵ノ飛行隊ノ集團的爆撃ヲ之ニ招カザル如クス

軍團長ハ其ノ航空隊ヲシテ絶エズ情報ヲ蒐集セシメ尙火力又ハ衝撃(装甲兵器)ノ移動豫備隊ヲ手裡ニ掌握シ以テ自ラ直接ニ戰鬪ニ干與スルコトヲモ可能ナル如クス

第三款 退却及防勢ノ特別ノ場合

第三百六十六 此ノ種ノ作戰ノ爲ニハ軍團長ハ第五篇(第二百七十五、第二百七十七、第二百九十一及第二百九十二)ニ述ベタル諸規定ニ準據ス

第八篇 歩兵師團ノ戰鬪

第一章 總則

第一款 指揮

第三百六十七 歩兵師團ハ戰鬪ノ單位ナリ

師團長ハ隸下ノ各兵種竝ニ各部ヲ指揮ス

其ノ主要ナル任務ハ各兵種ノ活動ヲ協同セシムルニ在リ各兵種ノ緊密ナル連繫竝ニ其ノ同時ノ努力ニ依リテノミ最少ノ損害ヲ以テ成果ノ獲得ヲ可能ナラシム

上級指揮官ハ師團ガ建制的ニ有スル各手段ヲ特ニ砲兵、戰車、對戰車兵器及機關銃大隊ヲ以テ増援スルニ至ルコト屢々之アリ

第三百六十八 師團司令部ハ本來次ノモノヨリ成ル

參謀部

歩兵、砲兵、工兵、通信ノ各指揮部

各部ノ管理者

師團歩兵指揮官ハ師團長ガ之ニ委託スルヲ有利ト認ムル總テノ任務ニ關シテ其ノ隸下ニ在リ而シテ總テノ場合ニ於テ師團長ノ代表者トシテ行動ス

師團砲兵指揮官ハ第四十二示ス事項ヲ除キ原則トシテ師團ノ砲兵全般ノ直接指揮ヲ行使ス同官ハ師團長ヨリ受ケタル命令ニ準據シ各種ノ砲兵集團ヲ編成シ之ニ任務ヲ與ヘ尙其ノ活動地域、陣地竝ニ觀測所ヲ配當シテ其等ノ活動ヲ統制ス

師團砲兵指揮官ハ同時ニ師團砲兵部ノ部長タリ

師團工兵指揮官ハ部隊指揮官タルト同時ニ工兵部長ナリ

通信隊指揮官ハ連絡及通信ニ關スル教令ニ依リ定ムル職責ヲ行使ス

師團ニ戰車ヲ配屬セラルルトキ指名セラルル師團戰車隊指揮官ハ師團長ノ命令ニ準據シ隨伴戰車隊ヲ歩兵及戰車ノ混成集團ニ分屬ス

師團戰車隊指揮官ハ戰闘間全般機動戰車諸隊竝ニ豫備ノ戰車隊ヲ指揮ス
各部ノ長又ハ管理者ノ職務ハ第四百八十二示セラル

第二款 指揮ノ行使

第三百六十九 諸隊ハ適時ニ所要ノ命令ヲ受領スルコト最モ緊要ナリ之ガ爲師團ノ戰闘命令ハ簡潔ナルヲ要ス

命令中ノ若干ノ處置ハ要圖ニ依リテ明示シ又ハ代用スルヲ有利トスルコトアリ
師團長ハ成ルベク屢、師團歩兵及砲兵指揮官ヲ招致シ尙狀況之ヲ許セバ直接ニ關係アル部下指揮官ヲモ招致シテ主要ノ處置ヲ決定ス
師團長ハ屢、準備命令ヲ使用ス

1、司令部

第三百七十 師團長ハ上級司令部ヨリ受ケタル時間及地點ニ關スル指示ニ準據シ其ノ司令部ヲ設置ス

司令部ハ攻勢ニ於テハ左ノ理由ニ依リ防勢ニ於ケルヨリモ前方ニ進メラル

其ノ大單位部隊ノ行動地域狹小ナルコト

一般配備ノ縦長僅少ナルコト

敵ノ縦深アル反撃ヲ受クル可能性少キコト

司令部ヲ右ニ依リ前方ニ設クルトキハ前進中ニ指揮ノ行使ニ必要ナル通信法ヲ比較的迅速ニ設置スルコトヲ得

此等ノ考慮ニ基キ師團長ハ戦闘部隊、砲兵及師團豫備隊ト密接ナル關係ヲ保チ且軍團長及隣接各師團長ト連絡シ得ル如ク其ノ司令部ノ正確ナル位置ヲ決定ス

其ノ他師團長ハ爲シ得ル限り近ク戦闘ヲ注視スル目的ヲ以テ其ノ行動地域ノ主要部分ヲ通視シ得

ベキ觀測所(展望所)ヲ司令部ノ附近ニ求ム

師團長ハ狀況之ヲ許ストキハ親シク狀況ヲ正確ニ認識シ行動ノ地形ヲ實視シ直接ニ隷下ノ諸隊長ト觸接センガ爲一時其ノ司令部ヲ離ルルヲ有利トスルコトアリ但シ自己ノ干與ヲ必要トスベキ總ニル事項ハ速カニ報告セラレ得ル如クシアルヲ要ス

師團長ハ其ノ作戰ニ於テ直接ニ督勵スベキ隷下諸隊ノ司令部ノ位置ヲ決定シ又ハ承認ス

各司令部ハ近接容易ニシテ特ニ空中ヨリノ偵察ニ遮蔽シ尙矢標ヲ施シアルヲ要ス其ノ他何レモ装甲兵器ニ對シ掩護セラレアルベシ

師團ノ司令部竝ニ概シテ之ト併立シアル師團歩兵及砲兵ノ各司令部ハ戦闘上ノ必要ヨリ移動スルコトアリ此等ノ移動ハ豫メ細心ニ研究セラレ且偵察ニ依リテ準備セラルルヲ要ス而シテ其ノ移動實施間ハ舊司令部ニテ事務ヲ續行スルモノトス

第二章 師團ノ攻勢戦闘

第三百七十一 攻撃ノ決心ハ受ケタル任務ヨリ生ズ而シテ軍團長ニ依リ定メラレタル逐次ノ目標ヲ攻略スル爲各兵種竝ニ其ノ火力ノ至當ナル協同ヲ實現スルコトハ師團長ノ責務ナリ

師團ノ機動ハ一般部署内ニ於ケル其ノ位置(中間師團、外翼、稀ニ獨立)、其ノ地域内ニ行動スル警戒諸隊ノ大小竝ニ師團ガ行動自在ノ地域ニテ運動中又ハ停止セル敵ニ對スルカ或ハ對陣正面又ハ築城正面ヲ攻撃スベキカニ從ヒ差異アリ

師團長ハ成ルベク速カニ其ノ機動計畫ノ大綱ヲ定ム之ガ細部ノ決定ハ多クハ觸接中ニ於テセラル其ノ際諸情報ハ實際不完全ナルベシ從ツテ過度ニ之ヲ確定セントセバ其ノ決心ガ時機ニ遅レ過早ニ兵力ヲ消耗シ敵ノ爲ニ有利トナル虞アルベシ

第一款 接敵

第三百七十二 師團ハ第二百九ニ示ス一般の規定ニ從ヒ尙軍團ノ定ムル範圍(第三百三十九)ニ於テ其ノ接敵ヲ實施ス

師團ノ接敵部署ハ正面及縱長ニ梯次セラルル原則トシテ前衛ノ後方ニ各兵種ノ縱隊又ハ集團ヲ配置ス而シテ此ノ部署ハ次ノ三梯隊ヨリ成ル

遠距離警戒諸隊(偵察隊) 遠距離警戒ハ多クハ上級部隊ノ採レル部署ノ如何ニ關ス即チ其ノ際

偵察隊ハ軍又ハ軍團ノ警戒諸隊ト連絡シ或ハ此等ヲ増援シ或ハ其ノ情報及掩護ノ任務ヲ自己

ニ擔當スルノ準備ニ在ルベシ若シ師團ガ單獨ニテ其ノ遠距離警戒ヲ行フベキトキハ此ノ任務

ハ特ニ自動車化諸隊及對戰車兵器ニテ増援セラルル偵察隊ニ課セラル(第三百二十八)

師團ノ機動ト比例セル距離ニ行動スル偵察隊ハ其ノ際行動地域ノ主要方向上ニテ師團長ヨリ

要求セラレタル諸情報ヲ探求ス同隊ハ觸接ニ入ルヤ特ニ装甲兵器ニ對シ經濟的防守ニ最モ有

利ナル諸線ノ占領ヲ準備ス

近距離警戒諸隊(前衛、側衛) 此ノ部隊ハ要スレバ行動地域ヲ全正面ニ互リ掃蕩シ得ベキモノ

ニシテ敵ノ野砲ノ平均射程ニ等シキ距離ニテ主力ヲ掩護ス(第四百四十四)

主力 其ノ重心ハ師團ニ指定セラレタル方向上ニ置カル

1、夜間ノ接敵

夜間ノ接敵ハ師團ガ戦闘スルコトナク其ノ前進ヲ實施スルノ確信アルニアラザレバ考フルコトヲ得ズ。

右ノ命令的條件ハ接敵ガ既存ノ戰線ニ庇護セラレテ實施セラルル場合或ハ遠距離警戒諸隊ガ日没前ニ師團ノ接敵地域ノ有效ナル掩蔽部ヲ配置スル爲所要ノ手段ヲ有スル場合ニ充足セラル

師團ノ主力ハ行動地域ノ各経路上ニ交通網ヲ遮斷シ得ベキ小部隊ヨリ成ル各前衛ヲ先行セシメテ移動ス

此等前衛ノ後方ニテ主力ハ數箇ノ行軍集團ニ區分セラレ使用シ得ベキ明確ナル總テノ経路ヲ利用シ縦隊ニテ運動ス(第七十)

陣地ニ在ル敵ノ直接近傍ニ於テハ夜間ノ接敵ハ日没前ニ運動ノ掩蔽ニ必要ナル諸地點ヲ占領セル前衛ノ掩護下ニ實施セラルルヲ要ス

2、晝間ノ接敵

師團ハ飛行隊並ニ警戒諸隊ニ依リ情報ヲ蒐集シ且掩蔽セラレツツ躍進的ニ其ノ接敵ヲ行フ

之ガ爲軍團ノ定メタル範圍内ニテ師團長ハ其ノ將來ノ機動ニ有利ナル諸地區ト關連シテ其ノ前進ヲ規定シ之ニ依リテ該地區ニ至ルベキ各進路ヲ定メ主力ノ躍進法並ニ之ニ伴フ警戒諸隊ノ躍進法ヲ決定ス若シ地形之ヲ許サバ装甲兵器ニ對スル防禦ノ迅速ナル編成ニ有利ナル如ク此等ノ躍進ノ限界ヲ指定スルヲ利トスベシ

接敵部署ニ在ル師團ハ先ヅ遮蔽及掩蔽物ヲ求メテ移動シ次デ運動ヲ促進スルニ適シ且諸隊ヲ敵ノ装甲兵器、飛行隊及砲兵ノ威力ニ對シテ備フルニ最適ナル隊形ヲ以テ前進ス

敵ニ接近スルニ從ヒ戦闘ノ爲其ノ兵力ヲ手裡ニ掌握スルノ必要ヲ生ズ之ガ爲師團長ハ先ヅ前衛次ニ主力ヲシテ漸次ニ之ニ適スル配置ノ隊形ヲ取ラシム諸隊ハ秩序整然運動シ且必要ニ應ジ戰線ヲ構成スル爲速カニ展開シ得ル如ク正面及縱長ニ梯次ス

接敵間砲兵ハ師團長ニ依リ區分セラレ步兵ト連絡ヲ取り其ノ前進ヲ細心ニ注視ス又漸次ニ其ノ砲兵中隊ヲ布陣セシメ且要スレバ其ノ砲兵ノ一部ヲ以テ各前衛ヲ援助スル爲梯次ニ移動シ以テ最モ速カニ參戰スルノ準備ニ在ルモノトス

師團長ハ各前衛ノ前進ヲ近ク注視ス

第二款 觸接

第三百七十三 師團ハ第三百四十五ニ示セル諸條件ニ於テ觸接ヲ取ル

陣地ニ在ル敵ニ對スル前進ハ各前衛ガ敵ノ配備内ニ可ナリ深ク進入シ前衛獨力ニテハ突破シ得ザル連續ノ火線ニ遭遇スルニ至ル迄續行セラル

攻勢前進中ノ敵ニ對スルトキハ此ノ前進ハ各前衛ガ軍團長ノ命令ニ依リテ敵ヲ阻止スル爲防勢的ニ占據スベキ陣地ノ齊頭面ニ到達セバ停止ス

此ノ兩場合ニ於テ觸接ノ獲得ハ攻撃諸隊ガ安全ニ其ノ部署ヲ採リ得ル如ク掩護スベキ一正面ヲ構

成スルニ至ルヲ要ス

師團長ハ偵察隊ガ初メテ觸接ニ入ルヤ各前衛ノ運動ヲ砲兵及主力ノ運動ト協調セシメ又前衛ノ戰鬥部隊ノ齊頭面ニテ展望ニ有利ナル地點ニ轉位ス

砲兵ハ梯次ニ其ノ運動ヲ續行シ要スレバ其ノ全手段ヲ以テ步兵ヲ援助スル如ク準備ス

砲兵ハ原則トシテハ師團長ノ隸下ニ在ルベキモ師團長ハ若シ行動地域ノ地形又ハ廣表ガ之ヲ有利トセバ各前衛ノ一層有效且迅速ナル援助ヲ爲ス爲必要ナル砲兵指揮ノ總ニル分割ヲ應諾スルニ躊躇スベカラズ(第四十)

歩兵ノ主力ハ敵砲兵ノ火力竝ニ前衛ノ活動ニ依ル敵反撃ノ影響ヲ過早ニ蒙ラザル爲十分ナル距離ヲ保チテ躍進的ニ其ノ前進ヲ繼續ス

師團長ハ廣正面ニ縱長ナク展開セル各前衛ガ眞面目ナル抵抗ニ依リ阻止セラレ(陣地ニ依ル敵ノ場合)又ハ其ノ占據セル陣地上ニテ敵ノ前進部隊ノ強力ナル壓迫ヲ受クルニ至ルヤ(攻勢的ニ前進スル敵ノ場合)其ノ戰鬥ノ指揮ヲ手裡ニ掌握ス

是ニ於テ各前衛ノ任務ハ終局ス師團長ハ上級指揮官ニ依リ控置セラレタル諸隊ノ外其ノ有スル總

ユル手段ヲ以テ定メラレタル目標ノ攻略(陣地ニ在ル敵ノ場合)或ハ指定陣地ノ固守(攻勢的ニ前進スル敵ノ場合)ヲ行ヒ得ル如ク準備ス

一度得タル觸接ハ晝夜トモ之ヲ維持シ若シ之ヲ失ハバ最モ速カニ之ヲ恢復スルヲ要ス是總ユル奇襲特ニ敵ノ空虚ニ對シ開始セル攻撃又ハ敵ヨリ過遠ノ距離ヨリセル攻撃ニ依リ招來スル不測ノ害ヲ避ケンガ爲ナリ

第三百七十四 接敵及觸接間ノ連絡及通信ハ左ノ事項ヲ顧慮シ編成セラルルヲ要ス

師團長ガ偵察隊及各前衛ヨリ來ル諸情報ヲ遲滞ナク受け得ルコト

各前衛ガ其ノ相互間及偵察隊ト連絡シアルコト竝ニ各前衛ト其ノ直接援助砲兵トノ連絡ガ實施

セラレアルコト

師團長ガ主力ノ諸隊ニ攻撃準備戦闘又ハ停止ノ爲ノ命令ヲ速カニ到達シ得シムルコト此等ノ連絡ハ最初ハ迅速ナル傳令ニ依リ次ニハ電話ニ依リ確保セラル

無線電信ノ使用ハ部署ノ祕密保持ニ缺クベカラザル制限ヲ受クルモノトス

第三款 攻撃準備戦闘

第三百七十五 攻撃準備戦闘ハ攻撃ノ第一ノ行爲ナルヲ以テ(第二百二十一)此ノ戦闘ヲ命ズルハ

原則トシテ攻撃ノ決心ヲ爲スベキ指揮官ノ責任ナリ

從ツテ師團長ハ通常此ノ決心ヲ爲スモノニアラズシテ軍團ノ攻撃準備戦闘ニ於テ其ノ師團ニ命ゼラルル活動ヲ指揮スベキモノナリ

軍團内ノ他師團ト連合シ或ハ單獨ニ師團ニ依リ行ハルル此ノ活動ハ會戰ニ於テ行ハルル攻撃ニ比較スルニ唯其ノ目的、正面及深度ニ夫々限定アルコト竝ニ其ノ比較的孤立セル點ニ於テ異ナルノミナリ

攻撃準備戦闘ハ此ノ期ニ於テ師團ノ有スル手段ガ概シテ薄弱ナルニ依リ僅少ナル歩兵ヲ使用スルコトトナルベク從ツテ爲シ得ル限り有效ナル火力ニ依ル準備、援助及兩翼ノ防護竝ニ地形ニ依ル掩蔽ヲ確保スルコト肝要ナリ又師團ノ有スル全砲兵ハ之ニ參加スベク尙戰車ノ支援ハ特ニ有效ナリ

敵若シ後退セバ最モ速カニ其ノ突破口ヲ擴大シ尙軍團ヨリ指定セラレタル方向ニ向ヒ前進ヲ繼續スルニ努ムベシ

第三百七十六 本戦闘期ニ於ケル通信ノ編成ハ攻撃準備戦闘ニ任ズル諸隊(特ニ砲兵)ノ爲ニ各手段ヲ増加スルヲ特徴トス

師團ノ電話網ハ此等諸隊ノ各司令所ノ直接近傍ニ進メラル
無線電信ノ使用ハ少クモ攻撃準備戦闘部隊ノ爲ニハ制限ヲ加ヘズ

第四款 攻撃

第三百七十七 攻撃ノ爲師團ハ通常増援セラレ

増援ハ師團ノ任務ト指揮官ノ手裡ニ在ル兵力トニ應ジ次ノ諸隊ニ依リ行ハル

輕砲又ハ短重砲、例外ニ長重砲時トシテハ豫備師團ノ砲兵但シ使用上ニ若干ノ拘束アリ
各型ノ戰車隊

對戰車隊

尙狀況ニ依リテハ左記部隊ノ増援ヲモ受ク

機關銃大隊

豫備タル師團又ハ軍團ノ工兵諸隊但シ使用上ニ若干ノ拘束アリ

航空隊(氣球、飛行隊等)

1、攻撃計畫

第三百七十八 攻撃計畫ハ與ヘラレタル方向上ニ於テ軍團ヨリ指定セラレタル目標ヲ攻略スル爲

師團ノ建制又ハ増援諸隊ノ使用ヲ協調セシムルヲ目的トス

若シ軍團ヨリ指定セラレタル目標ガ其ノ遠隔又ハ其ノ幅員ノ關係上一舉ニ奪取シ得ザルトキハ師團長ハ諸兵種ノ活動ヲ協同セシムル目的ヲ以テ其ノ有スル支援諸隊(砲兵及装甲兵器)、敵ノ抵抗及地形ノ性質ヲ考慮シテ各中間目標ヲ決定スルニ至ルコトアリ

成功ヲ收メ第一目標ニ到達セバ師團長ハ時機ヲ失セズ機動ガ進展スル如ク更ニ遠隔セル目標ニ向ヒ攻撃ニ移ルベシ

師團ノ攻撃命令ハ一般ノ狀況及師團ノ任務、機動ノ思想、方向、各目標、歩兵聯隊及其ノ他ノ諸兵種ニ課スベキ諸任務ヲ知ラシムルヲ要ス

其ノ他此ノ命令ニハ次ノ諸項ニ關スル指示ヲ與フ

攻撃間装甲兵器ニ對スル防禦ノ編成

攻撃部隊ノ配置ノ諸條件、攻撃準備ノ要領、攻撃開始時刻

各隣接師團トノ連絡

各司令所ノ位置及諸通信ノ編成

交通、補給及還送ノ運営

2、部署

第三百七十九 師團長師團ノ戰闘部署ヲ定ムルニハ次ノ二項ヲ確保スル如ク其ノ兵力ヲ正面及縱

長ニ區分ス

攻撃ノ初期攻撃正面上ニ所望ノ密度ヲ成形ス

時間的竝ニ空間的ニ努力ノ發展ヲ保證スベキ諸隊ヲ梯次ス

師團ノ戰闘部署ハ戰闘部隊、砲兵及師團豫備隊ヨリ成ル

第三百八十 戰○闘○部○隊ハ左ノモノヨリ成ル

無益ノ損害ヲ増加スベキ過度ノ密度ヲ避クルト共ニ當初ヨリ火力ノ優勢ヲ得ル爲必要且十分ナル歩兵及隨伴戰車ノ部隊

狀況ニ依リテ逐次ノ目標ニ向ヒ歩兵及隨伴戰車ニ先行スベキ全般機動戰車隊（第三十八及第二百三十）

歩兵及隨伴戰車ノ部隊ハ混成集團ニ集結セラレ併列又ハ若干間隔ニ配置セラル此等ノ集團ハ師團長ヨリ其ノ指揮官ヲ指定セラレ且任務ヲ授ケラル

第三百八十一 砲○兵○ノ○全○部○ハ○歩○兵○ノ○配○備○ノ○要○求○ニ○應○ジ○得○ル○如○ク○配○置○セ○ラ○ル○但○シ○戰○況○上○必○要○ト○ス○ル

コトアルベキ火力ノ集中ニ協力シ得ルヲ要ス

之ガ爲師團長ハ通常其ノ砲兵ヲ二種ニ區分シ一ヲ直接援助砲兵ト謂ヒ他ヲ全般任務砲兵ト謂フ

(第二百三十五)

直接援助砲兵ハ任務及地形ニ依リテ原則上第一線ノ歩兵聯隊ニ對應スル集團ニ區分セラル而シテ其ノ際歩兵聯隊ガ隨伴戰車ヲ有スルト否トニハ拘ラザルモノトス歩兵ト隨伴戰車トノ混成集團ノ前方ニ全般機動戰車隊ガ行動スルトキハ同戰車隊ハ一般ノ援助砲兵集團ニ關シ第二百三十五ニ規定セル諸條件ニ於テ同戰車隊ノ爲ニ活動シ又同戰車隊ノ要求ニ依リ活動ヲ律シアル直接援助砲兵集團ト連絡スルモノトス

直接援助砲兵集團ハ原則トシテ或ハ豫メ立テタル計畫ニ依リ或ハ同集團ガ直接關係シアル歩兵又ハ戰車ノ要求ニ依リ直接支援射撃ヲ行フ

全般任務砲兵ハ師團長ヲシテ戦闘間特ニ火力ノ集中ニ依リ其ノ活動ヲ爲シ得シム同砲兵ハ通常掩護射撃ヲ行フモ直接支援射撃ノ増授トシテ活動スルコトモアリ

一般ニ砲兵ノ配備ハ成ルベク前方ニ進メラル直接援助砲兵集團ハ原則トシテ攻撃ノ軸線上ニ配置

セラル而シテ側射的ノ效果ヲ求ムル爲協定ニ依リ隣接師團ノ地域内ニ若干ノ砲兵中隊ヲ配置スルコトアリ

コトアリ

第三百八十二 特ニ起伏シ蔭蔽シ又ハ斷絶セル地形ニ於テ其ノ攻撃進路ガ自ラ明確ニ定マル場合ニ於テハ例外ニ戰術的集團ヲ利用スルヲ有利トスルコトアリ(用語ノ解參照)

第三百八十三 師團豫備隊ハ參戰セザル歩兵ニ依リ又狀況ニ依リテハ戰車ニ依リ構成セラル師團長ハ豫備隊トシテ完全ナル一聯隊ヲ控置スルコトアリ此ノ處置ハ通常師團ガ一翼ニ在ルトキニ必要ナリ

豫備隊ハ將來ノ使用(攻撃ノ援助、戰果擴張ノ機動、狀況ニ依リ戰線ノ延長又ハ暴露セル翼側ノ防護)ヲ顧慮シテ配置セラル或場合ニハ參戰ニ至ル迄ニ既得ノ地區ノ維持ヲ確實ニスル爲前進中ニ到達セル諸陣地ヲ偵察シ且編成スルコトアリ

3、部署ノ配置(譯者註 部署ヲ攻撃ノ發進基地ニ就カシムルコトノ意ナリ)

第三百八十四 攻撃歩兵ハ明確ナル方向上ニテ其ノ目標ニ正對シテ出發シ火力ニ依リ能ク支援セラレ且其ノ兩側ヲ掩護セラレアルヲ要ス部署ヲ發進基地ニ配置スルニ方リテハ此等初期ノ諸條件ヲ實現スルヲ要ス

先頭諸隊ヲ敵ノ占領セル陣地前ニテ成ルベク最終ノ掩蔽物ニ依リ構成セラルル發進基地ニ出スコトハ常ニ有利ナリ

敵ニ近キ發進基地ハ良好ノ條件ニ於テ敵ノ陣地ニ近接シ得シム然レドモ過度ニ近キトキハ砲兵ノ活動ヲ妨害シ諸準備ノ安全ヲ危クシ且其ノ攻撃ニ奇襲ノ利益ヲ失ハシムルコトアリ

歩兵ヲ發進基地ニ就カシムルコトハ運動戰ニ於テハ屢々困難ナリ特ニ閑谿地ニ於テハ夜間堅固ナル正面ニ掩護セラレ且對砲兵戰ノ注意深キ掩護ノ下ニアラザレバ行ハルルヲ得ザルベシ

若シ晝間ニ右ノ配置ヲ爲スヲ必要トスルトキハ師團長ハ上級指揮官ニ對シ制空權ノ獲得及地上觀測所ノ目潰ヲ要求スルニ努力ス

隨伴戰車隊ハ其ノ速度ノ大ニ依リ敵ノ攻撃準備破摧射撃ノ有效圏外ニ在ル出發基地ニ最初ノ部署ヲ爲シ得ルニアラザル限り成ルベク歩兵ニ近ク配置セラル

4、裝甲兵器ニ對スル防禦

第三百八十五 裝甲兵器ニ對スル防禦ノ目的ハ攻撃ノ各期ニ於テ師團ノ配備、其ノ側面及其ノ後方ヲ掩護スルニ在リ

此ノ防禦ノ要點ハ左ノ如シ

爲シ得ル限り遠ク情報ヲ蒐集シ且之ヲ迅速ニ利用ス

火力ノ集中ト天然又ハ人工ノ障礙物トヲ協調併用ス（飛行隊、砲兵、建制又ハ増援ノ對戰車火器、地雷等）

攻撃用戰車特ニ控置セル戰車ヲ參戰セシム

裝甲兵器ニ對スル防禦ハ師團ノ範圍内ニテ編成セラレ

此ノ防禦ニハ左ノ諸部隊ヲ使用ス

師團ノ砲兵

師團固有又ハ師團ニ増援配屬セラルル對戰車部隊

諸隊ガ建制的ニ有スル對戰車火器

狀況ニ依リ攻撃部隊ニ配屬セラレ得タル戰車

裝甲兵器ニ對スル防禦ノ部署ハ其ノ縱長ヲ特性トシ一般ニ左ノ如ク行ハル

歩兵ノ前進路ノ後方ヲ躍進的ニ前進シ其ノ火力ヲ以テ該歩兵ニ爲シ得ル限り不斷ノ支援ヲ供スル如クスル移動梯隊

右ノ梯隊ヲ超過シタル敵ノ裝甲兵器ヲ反撃シ尙砲兵、司令所及後方ヲ掩蔽スベキ第二梯隊

主トシテ師團ノ建制ノ砲兵竝ニ師團固有ノ對戰車火器ニ依リ構成セラルル彈幕

狀況之ヲ必要トスルトキハ此ノ部署ハ兩側面ノ掩蔽ヲ確實ニスベキ彈幕ノ構成ニ依リ補足セラル密接且深大ナル對戰車火網ヲ編成シ且之ニ依リ裝甲兵器ニ對スル防禦計畫ヲ作成スル爲各手段ノ使用ヲ協調セシムルハ師團長ノ責務ナリ

5、攻撃準備射撃

第三百八十六 砲兵ノ準備射撃ハ第二百三十二及第三百九十九ニ示セル條件ニ於テ指導セラル

攻撃ノ爲戰車ノ使用ハ砲兵ノ準備射撃ヲ省略セシムルモノニアラズ實際敵ノ對戰車組織ヲ豫メ崩壞セシムルコトハ必要缺クベカラザルコトナリ其ノ他敵ノ防禦ガ戰車ノ通過不能ナル障礙物又ハ其ノ獨自ノ力ニテハ奪取不能ナル防禦工事ニ托セラレアルトキハ他兵種特ニ威力アル砲兵ヲ使用シ其ノ豫メノ活動ニ依リテ之ニ其ノ進路ヲ開クヲ適當トスベシ

6、攻撃實施

第三百八十七 歩兵ト隨伴戰車トノ混成集團ハ使用シ得ル砲兵及自動兵器ノ火力ノ濃密ナル活動ノ掩護ノ下ニ定メラレタル時間又ハ協定セラレタル信號ニテ發進シ(第二百三十三)隨伴戰車ハ歩

兵ノ列内或ハ其ノ直前ニ在リテ行動ス
歩兵ハ目標ニ向ヒ遮蔽物ヨリ遮蔽物ニ或ハ掩護物ヨリ掩護物ニ躍進的ニ且絶エズ火力ニ依ル準備
又ハ援助ヲ受ケテ其ノ前進ヲ行フ躍進距離ハ攻撃火力ノ優勢ニ依リテ得ラルベキ敵火ノ制壓ヲ其
ノ前進ノ全期間維持スルノ必要度ニ關ス歩兵ハ其ノ援助砲兵ノ射彈ノ直近ニ近接シ隨伴戰車ト緊
密ニ連繫シテ行動シ其ノ機動ヲ地形ニ適合セシム而シテ砲兵及戰車ニ依リ得タル制壓及破壊ノ效
果現ルルニ至レバ歩兵ハ之ヲ擴張ス一方歩兵ハ敵ノ對戰車火器ニ對シ我ガ戰車ノ爲ニ其ノ火力的
支援ヲ確保ス

前進間歩兵ハ自己ノ建制諸隊ト當初ニ豫定セラレタル直接支援射撃トノ範圍内ニ於テ戰闘ノ各事
件ヲ速カニ解決スルニ努ム若シ之ガ不可能ナルニ至レバ其ノ直接援助ノ砲兵ニ前進ヲ妨害スル諸
抵抗ヲ制壓センコトヲ要求ス若シ此ノ援助モ尙不十分ト認メラレバ其ノ際師團長ハ之ニ干與シ
全般任務砲兵ノ援助ヲ之ニ與フルコトアリ然レドモ之ガ爲ニハ常ニ長時間ヲ必要トス
歩戰ノ混成集團ハ斯クノ如クニシテ其ノ火力ニ依リ敵ヲ破摧シ地歩ヲ獲得ス各小部隊ハ其ノ獨自
ノ運動ニ依リ其ノ隣接部隊ノ運動ヲ容易ニシ敵ヲ蟄伏スルニ至ラシメ要スレバ良距離ヨリ好時機

ニ發進スル突撃ニ依リ敵ヲ其ノ陣地ヨリ驅逐ス

攻撃ガ一定ノ時刻又ハ約束信號ニ依リ全般的突撃ノ性質ヲ帶ブルハ唯連續セル正面ヲ呈セル陣地
又ハ目標前ニテ其ノ正面ニ能ク平行セル近距離ノ發進基地ヨリ出發シテ行ハルルトキノミ

第三百八十八 攻撃部隊ハ一ノ目標ヲ奪取スルヤ之ヲ掃蕩シ砲兵ノ掩護ノ下ニ蟄集ヲ避ケテ堅固

ニ之ヲ占據ス各隊ハ其ノ秩序ヲ恢復シ且補給ヲ受ケ步兵、對戰車火器及砲兵ノ各火力ヲ準備シ諸
通信ヲ設置シ夫々連絡ヲ恢復シ地區ハ簡單ニ防禦編成ヲ行フ若シ狀況之ヲ許セバ直接援助砲兵ト
協定後直チニ觸接ノ爲ノ諸斥候ヲ派遣ス諸隊ハ次ノ目標ノ攻略ヲ開始スル迄現地ニ止メラレ特ニ
新ナル火力基地ヲ構成ス而シテ此等諸隊ニハ對戰車火器ヲ配屬スルヲ有利トス豫備隊ノ諸隊モ此
ノ任務ニ參加スルコトアリ

次ノ目標ノ攻撃ハ直チニ企圖セラル此ノ攻撃ハ目標ノ狀況、其ノ前方地形ノ性質及既ニ傾注セル
努力ノ如何ニ依リ或ハ同一諸隊ニ依リ續行セラレ或ハ部署ノ改變及新銳部隊ノ參加後ニ再開セラ
ル其ノ際部隊ノ交代及超越ハ正面ノ堅確ヲ損フコトナク且諸隊ノ一時的増大ヨリ釀成シ易キ損害
ヲ避クル如ク規正セラル

必要ヲ認ムルニ至レバ師團長ハ其ノ砲兵ヲ前進セシム但シ砲兵ハ絶エズ歩兵ニ有效ナル援助ヲ與ヘ得ル如ク其ノ移動ヲ實施スルヲ要ス

師團長ハ其ノ豫備隊ノ運動ヲ規正シ以テ攻撃ノ連續性ヲ保證シ且敵ノ兵力集結ヲ妨遏スル爲所要ノ時機ニ之ガ參戰ヲ確保ス師團長ハ其ノ豫備隊ヲ費消スルニ從ヒ火線ヨリ抽出スル兵力ヲ以テ豫備隊ヲ再編スルニ努ム

第三百八十九 斯クシテ攻撃ハ最終ノ目標迄遂行セラル

夜間ハ日没時ノ配備ヲ修正シ射撃計畫ヲ改善シ交戰諸隊ヲ改編、補給、交代シ又急速ニ占領陣地ヲ装甲兵器ニ對シ防禦編成シ其ノ他諸通信ヲ改修シ且各交通線ヲ設備スル等ノ爲有利ニ使用セラ

ル夜間ハ又晝間ニ通過困難ナリシ各地域ヲ横斷シ且之ニ依リ諸隊ヲ有利ナル條件ニ於テ翌日ノ攻撃ヲ續行シ得ル位置ニ就カシムル等ニ利用スルヲ得

觸接ノ保持ハ師團長ノ特ニ重要視スベキ事項ナリ之ガ爲一目標ニ到達シ且狀況之ヲ許スニ至ルヤ強力ナル偵察手段ヲ以テ觸接ヲ恢復スルニ努ムルヲ要ス但シ該偵察手段ノ活動ハ砲兵ノ活動ト協調セシムルヲ要ス

第三百九十 師團長ハ諸火力ヲ指導シ且之ヲ彼此協調セシメ(第三百九十六)特ニ攻撃ノ爲臨時ニ使用スベキ軍團重砲兵ノ火力ノ用法ヲ規定シ尙装甲兵器ニ對スル防禦計畫ノ實施ヲ監視ス

飛行隊ハ搜索ヲ行ヒ砲兵指揮官トノ連絡ノ確保ニ力ヲ致ス

第三百九十一 軍團長ガ攻撃ノ第一梯隊ヲ構成スベキ全般機動戰車隊ヲ師團ノ隷下ニ配屬セシトキハ師團長ハ其ノ任務及行動地域ヲ指定シ特ニ其ノ進度ヲ砲兵ノ射撃ト協調セシム

縱長ニ梯次セル此等ノ戰車隊ハ自己ニ跟隨スル歩兵又ハ歩兵一隨伴戰車ノ集團ノ爲ニ地形ノ狀態之ヲ許ス限り廣正面ニ互リ敵ノ火器ヲ制壓スルニ努ム

同隊ハ斯クノ如クニシテ砲兵ニ依ル歩兵ノ援助ヲ補足ス然レドモ又一面砲兵ニ對シ自己ノ行動間眞面目ナル掩護射撃竝ニ屢、自己ノ戰線參加ノ際準備射撃ヲ要求ス

7、通信ノ編成

第三百九十二 通信網ハ攻撃準備ノ間ニ緊急ニ設置セラル而シテ堅固ニシテ且速カニ擴張シ得ル

如クセラル

攻撃間諸通信ノ設置及運営ハ小部隊ノ司令部ノ頻繁ナル轉移ニ依リ特別ナル困難ヲ伴フ
無線電信(話)網ハ無制限ニ使用セラル

其ノ他ノ手段(電話、視號、傳令)ニ關シテハ師團ノ司令部ト其ノ直轄諸隊ノ各司令部トノ間ノ連絡ハ小規模ナル攻撃ノ場合ニ在リテハ中介ナクシテ設置セラルコトアルモ其ノ他ノ場合ニ在リテハ中間ノ中央通信所ヲ經由セザルベカラザルコト屢々アルベシ
視號通信法ノ編成、既設電話網ノ良好ナル保持及狀況ニ應ジ前方ニ向フ其ノ延線竝ニ隷下諸隊ニ依リ既ニ架設シアル回線ノ利用ニ關シテハ總ユル努力ヲ傾注スルヲ要ス

第五款 戦闘ノ完結

第三百九十三 得タル總ユル戦果ハ或ハ指揮官ノ命令ニ依リ或ハ直接ニ部下ノ獨斷ニ依リ直チニ徹底的ニ擴張セラル隷下部隊ノ行動ニ基準ヲ與ヘ且各兵種ノ連繫ヲ確保スル爲豫定セル主要ナル

戦果擴張機動ヲ命令中ニ表現シ尙之ヲ目的トシテ部署ヲ梯次スルヲ可トス

戦果ノ擴張ハ次ノ如ク發展ス

横方向ニ在リテハ實現セル前進ニ依リ溢出セラレ殘存セル敵陣地ノ各部分ヲ正面及側面ヨリスル活動ノ連合ニ依リテ陥落セシメテ突破口ヲ擴大ス

縦長ニ在リテハ兩側面ヲ警戒シツツモ阻止セラレアル諸隊トノ整頓ニ顧慮スルコトナク指定ノ方向ニ向ヒ邁進ス前進シ得ル諸隊ノ連續的推進ハ隣接諸隊ヲ救出スル最良ノ手段ナリ

戦果ノ擴張ハ原則トシテ戦闘シ得ル状態ニ在ル第一線部隊ノ任務ニシテ之ヲ爲シ得ル限り新鋭ノ諸隊竝ニ戦車ヲ以テ増援ス戦車ノ使用ハ此ノ戦闘期ニ於テ特ニ有效ナリ疲弊セル諸隊ハ攻略セル陣地上ニ止メラレ之ヲ超越スル友軍ヲ其ノ火力ニ依リ援助ス此ノ諸隊ハ此ノ陣地ヲ防備シ豫備隊トナル

此ノ擴張機動ハ師團ニ指定セラレシ最終目標ニ至ル迄逐次ノ躍進ニ依リ遂行セラル師團長ハ此ノ機動間ニ凡ユル必要ヲ充足スル如ク分割シアル砲兵ガ絶エズ歩兵ヲ援助シ得ル状態ニ在ルヲ監視ス(第四十)師團工兵指揮官ハ砲兵ノ前進竝ニ上級司令部ヨリ示サレタル一般補給品ノ到着ニ必要

ナル各交通線ヲ補修セシム

第三百九十四 若シ敗敵ガ混亂シテ退却セバ追撃開始セラル其ノ際速度ハ機動ノ主要因子タルヲ以テ各隊ハ他隊トノ連繫ニ顧慮スルコトナク既得ノ戰果ヲ徹底的ニ擴張ス

追撃ハ第一線ノ諸隊ニ依リ開始セラルルモ成ルベク速カニ騎兵、装甲兵器次ニ自動車化諸隊ヲ之ニ使用ス飛行隊ハ此ノ前進方向ヲ搜索シ尙地上ノ戰鬥ニ参加ス

師團長ハ其ノ可能ナルニ至ルヤ装甲兵器及砲兵ヲ十分ニ配屬セル強大ナル前衛若干ヲ編組ス若シ此ノ諸前衛ガ近ク地隙等ニ遭遇スベキトキハ其ノ通過ニ要スル諸材料ヲ備フル工兵ノ若干部隊ヲモ之ニ加フ此ノ前衛ノ任務ハ軍團ノ示セル各軸線上ニテ局地的抵抗ヲ速カニ溢出シ尙特ニ各地隙(斷絕部)上ニテ敵ノ遲滯セル部隊ノ前方ニ進出スルニ在リ

師團主力ハ砲兵ヲ先頭ニシ行軍集團ニ配置シ參戰ヲ準備シテ跟隨ス

第三百九十五 攻撃不成功ノトキハ歩兵ハ現地ニ固著シ師團長ガ新ナル攻撃ヲ策シ又ハ隣接諸隊ノ前進ガ運動ノ再開ヲ可能ナラシムル時機ヲ待ツ而シテ最モ速カニ其ノ火線ヲ構成スルニ努メ壕ヲ掘開シ且装甲兵器ニ對スル防禦法ヲ講ズ尙其ノ正確ナル狀況ヲ飛行隊ニ示ス爲其ノ正面ヲ標示

ス又障碍物ヲ設置シテ掩蔽シ其ノ補給品ヲ充實ス

砲兵ハ阻止射撃竝ニ攻撃準備破摧射撃ヲ實施ス

攻撃ノ再開ハ或ハ上級指揮官ノ命令ニ依リ或ハ局地的指揮官ノ獨斷ニ依リ行ハル

攻撃再開ニ先ダチ豫メ不成功タリシ主要原因ヲ決定シ之ニ鑑ミ新戰鬥法ヲ講ズルコト緊要ナリ何レノ場合ニ於テモ砲兵ノ準備射撃ハ缺クベカラズ又優越セル攻撃諸資材ノ使用緊要ナリ

第六款 火力機動

第三百九十六 各級ノ指揮官ハ歩兵ヲ援助シ且敵ノ戰車及對戰車兵器ノ破壞ヲ求ムル爲其ノ有スル總テノ火力ヲ準備シ指導シ且彼此協調セシムベキ嚴密不斷ノ考慮ヲ必要トス

又敵ノ航空隊ノ活動ニ對シ軍隊ノ配備及其ノ後方ノ掩護ヲ確保スルニ注意ス

其ノ一 砲兵火力

第三百九十七 師團長ハ戦闘ノ各期間其ノ砲兵ノ活動ヲ指導ス

師團砲兵ハ攻撃ヲ準備シ(第二百三十二)且之ヲ援助ス(第二百三十六)其ノ他攻撃前及攻撃間ニ軍團ヨリ命ゼラルルコトアルベキ各射撃(遮断射撃、對砲兵戰等)ヲ實施ス

攻撃ニ於ケル砲兵ノ活動様式ハ此ノ攻撃ニ戰車ノ参加スルト否トニ從ヒ竝ニ同戰車ニ指定セララル任務ニ依リテ差異アリ(第二百三十六)

第三百九十八 攻撃ニ戰車ヲ使用セザルトキ直接支援射撃ハ特ニ重要トナリ歩兵ノ戦闘部隊ノ至近ニ正確ニ實施セララルヲ要ス

攻撃ニ戰車ヲ使用スルトキハ歩兵ノ戦闘部隊ト砲兵射撃ノ最近極限トノ間ニテ戰車ニ一ノ活動地域ヲ與フルコト緊要ニシテ該活動地域ノ縱長ハ地形及使用戰車ノ特性竝ニ此等戰車ガ歩兵ニ對シ如何ナル機動ヲ爲スベキヤニ關ス

若シ隨伴戰車ノミナルトキハ直接支援竝ニ掩護ノ兩射撃ノ様式ハ通常ノ通り實施セララル但シ各戰

車ノ運動ヲ可能ナラシムル爲直接支援射撃ノ近極限ヲ若干延伸ス

若シ歩兵―隨伴戰車ノ集團ノ前方ニ全般機動戰車ノ梯團ヲ有スルトキハ砲兵ハ戰車ノ第一梯隊ノ火力掩護ニ從事シ砲兵ノ若干集團ハ該戰車梯隊ト直接ニ連絡シ以テ其ノ射撃ニ總ユル必要ノ自在性ヲ與フル如クス

然レドモ後者ノ場合ニ於テ若シ歩兵ノ戦闘部隊ガ戰車ニ依ル掩蔽ヲ缺クニ至レルトキ該歩兵ノ爲最少時間内ニ砲兵ノ完全ナル火力配置(直接支援及掩護射撃)ヲ恢復シ得ル如ク豫メ砲兵ノ指揮編成竝ニ歩兵トノ協同ヲ準備シアルヲ要ス

1、準備射撃

第三百九十九 準備射撃ハ爲シ得ル限り猛烈ナル火力ヲ以テシ其ノ繼續時間ハ數分乃至數時間ニ變化ス

準備射撃ハ主トシテ敵ノ歩兵陣地、之ヲ掩護スル附屬防禦設備及空中又ハ地上ノ觀測所ヨリ發見

セル對戰車火器ニ指向セラル

此等ノ陣地ガ正確ニ決定シ得ザルトキニ於テモ砲兵ハ奪取スベキ各目標、敵ガ我が攻撃ニ對シ活動シ得ベキ各地部、敵豫備隊ノ豫想集合地域、放列及對戰車火器ノ豫想陣地ニ射撃ヲ加ヘ以テ攻撃ヲ準備シ得ベシ

2、直接支援射撃

第四百 直接支援射撃ハ概シテ最モ近接シアル目標ヲ砲撃ス而シテ此ノ砲撃ハ攻撃ノ前進ニ依リ射撃ヲ延伸スルノ已ムナキ時期迄持續セラル

直接支援射撃ハ歩兵ガ努力ヲ傾注スル地域ニ於テ濃密ニ行ハレ地形ノ編成及障碍物ニ適合セシメ尙現出セル對戰車火器ニ指向セラル

此ノ射撃ハ戦闘部隊ガ豫メ詳密ニ防禦編成ヲ偵察シ得ザリシ敵ノ近距離ニ達シ且師團ニ指定ノ攻撃正面、其ノ有スル砲兵數及彈藥量之ヲ許ストキハ移動彈幕射撃ノ形態ヲ帶ブルコトアリ第一線

部隊ハ此ノ移動彈幕ニ至近距離ニ隨進ス而シテ第一線ガ時間表ニ依リ豫定セル停止ヲ爲ストキハ該彈幕ハ其ノ前面ニ固定スルモノトス

移動彈幕射撃ハ攻撃ノ發進當初ニ於テ歩兵ノ前進ヲバ、現地上ニ明白ニ現示セラレ且敵ノ最初ノ抵抗線ヲ包含スル第一目標ニ至ル迄支援スル爲ノ外ハ用ヒ得ザルコト屢々ナリ

攻撃ガ若干ノ前進ヲ實現スルヤ直接援助砲兵ハ間斷ナク其ノ任務ヲ確保スル爲要スレバ陣地ヲ變換ス其ノ際射撃状態ニ在ル砲兵數ノ減少竝ニ彈藥補充ノ困難ノ爲參戰状態ニ在ル各砲ヲ以テ迅速ナル集中射撃ヲ實施スルヲ要スルニ至ルベシ

斯カル狀況ニ於テ砲兵活動ノ一時的衰退ヲ補フ爲狀況之ヲ許セバ豫備戰車ヲ使用スルヲ可トスルコトアリ

3、掩護射撃

第四百一 掩護射撃ハ直接支援射撃ノ活動ヲ延長ス(第二百三十五)

此ノ射撃ハ攻撃中ニ現出スル一時的ノ諸目標特ニ遠距離ノ對戰車火器及集合中或ハ進出時ニ於ケル逆襲部隊ヲ目標トス

又敵ノ豫想觀測所及推定セラルル對戰車火器ノ諸陣地ニ目潰射撃ヲ爲ス

攻撃前進間師團長ガ其ノ歩兵ノ正確ナル狀況ニ就キ之ヲ詳カニセザルトキハ爲シ得ル限り掩護射撃ヲ增強實施セシメ以テ歩兵ヲ援助スルニ努ム

4、砲兵火力ト歩兵運動トノ協調

第四百二 砲兵火力ト歩兵運動トノ協調ハ成功上ノ主要條件ナリ此ノ協調ハ編成陣地ノ攻撃ニ在リテモ多クノ場合且殆ド必然的ニ時間表ニ依リテ規正セラレ又ハ少クモ發進時ニ攻撃ノ相當深度ニ互リ詳細ニ豫定セラル而シテ此ノ協調ハ豫メ確定セル各目標上ニ於ケル既定ノ停止又ハ少クモ豫定セル停止ニ依ルニアラザレバ大ナル變更ヲ加フベキモノニアラズ
即チ此ノ協調ハ主トシテ歩砲連絡ノ良好ナル運営ニ其ノ基礎ヲ存ス

此ノ連絡ヲ實現スルニハ左ノ三項ヲ必要トス

歩、砲兵ノ各指揮官ノ間ニ於ケル頻繁ナル接觸 此ノ接觸ハ歩、砲兵各司令所ノ接近及特ニ其ノ併置ニ依リ又指揮ノ行使ヲ妨ゲザル限り同一ノ觀測所ニ兩兵種ノ代表者ヲ會見セシムルニ依リ著シク容易ニセラル

連絡部隊ノ使用 各砲兵集團及狀況之ヲ要スレバ各直接援助砲兵大隊ハ其ノ援助スル歩兵部隊

ニ一ノ連絡部隊ヲ出シ一面ニハ砲兵ガ歩兵ニ與ヘ得ベキ援助ニ關シテ歩兵ニ通報シ他面ニハ

歩兵ノ要求ニ關シテ砲兵ニ報告スルノ任ニ當ラシム

當時且成ルベク速カニ砲兵ノ觀測所ヲ前方ニ推進スルコト(通視連絡)

其ノ二 歩兵火力

第四百三 歩兵ハ其ノ火力ニ可及的ノ全威力ヲ附與ス

歩兵ハ其ノ火力ヲ戰車ノ活動ト連合セシメ以テ攻撃ヲ準備シ攻撃ニ隨伴セシメ其ノ側面ヲ掩護シ

短距離ヨリ射撃スル敵ノ火器ニ對シ我が戰車ヲ掩護シ敵ノ戰車ニ對シテ自衛シ逆襲ヲ擊退シ獲得セル地步ノ領有ヲ確保ス

歩兵ハ其ノ火器ヲ梯次ニ移動セシメ以テ前進ニ不斷ノ援助ヲ確保シ且最後迄攻撃部隊ヲ支援セシム

敵ノ抵抗ニ對シ溢出シ得ルニ至レバ歩兵ハ斜射及背射ノ全能力ヲ發揮スルニ努ム

全般機動戰車隊ガ歩兵隨伴戰車ノ集團ニ先行スル場合ニハ歩兵ハ其ノ火力ニ依リテ其ノ掩護ニ參加ス

其ノ三 防空火力

第四百四 攻撃ノ空中掩蔽ハ第三百一及其ノ以下ノ諸項ニ示セル條件ニ於テ確保セラル其ノ他師團ノ全部隊ハ其ノ建制ノ各手段ヲ使用シ各自直接ノ空中警戒ヲ確保ス(第五百十六)

第七款 對陣正面ノ攻撃

第四百五 對陣正面ノ攻撃ハ第二百四十四ニ示ス一般條件ニ於テ準備シ且指導セラル

攻撃ノ準備並ニ實施ニ關スル各指示ハ必要ナル總テノ正確度ヲ保有スル爲十分詳細ナル命令ヲ以テ與ヘラル特ニ砲兵ノ用法ニ關シ然リトス此等ノ命令ニハ要圖ヲ附スルコト特ニ有益ナリ

攻撃部隊ハ防禦ノ各掩蔽部ニ依リ其ノ前進ヲ遲滯セラルルコトナク之ガ掃蕩ヲ確保シ得ル如ク部署セラル此ノ掃蕩ノ爲ニハ特種ノ兵器ヲ備フル若干部隊ガ豫メ指定セラレ之ニ延期式地雷ノ探索ノ爲工兵ノ諸部隊ヲ配屬セラルルコトアリ之ガ爲ニ行フ兵員ノ分割ハ概シテ一定兵員ノ一部隊ガ奪取シ得ベキ地區ノ縱長ヲ減少スルニ至ルベシ超越並ニ交代ニ關シテハ之ヲ顧慮スルヲ要ス

對陣正面ノ攻撃ノ爲強大ナル戰車ヲ使用スルトキハ此等ノ戰車ガ最モ恐ルベキ敵ノ障碍物及防備ヲ故障ナク超越シ得ル條件ニ於テハ前項ノ場合ト異ナリ遠隔セル攻撃目標ヲ定メ得ルノ利益アリ右ノ條件ハ或ハ此ノ目的ニ適應スル砲兵ノ準備射撃ニ依リ或ハ戰車ガ凌駕シ得ザル如キ抵抗線ノ前方ニ於テ始メテ戰車ヲ參戰セシムルコトニ依リテ充足シ得ベシ

第四百六 對陣正面ニ對シテハ敵陣地ノ前方地區ヲ掃蕩シ且此ノ地區ノ若干ノ要點ノ領有ヲ確保スル目的ヲ以テ小規模ノ戦闘ヲ實施スルコト特ニ緊要ナリ

此等ノ小戦闘ハ俘虜ノ獲得ヲ目的トスル戰鬥ト同ジク稍、重要ナル小奇襲ノ特性ヲ帶ブルモノナリ

此等小奇襲ハ通常限定セル目標ニ對スル攻撃ニシテ其ノ成否ハ特ニ敵ヲ急襲シ得ルヤ否ヤニ關ス其ノ實施ニハ砲兵及時トシテハ飛行隊ヲ使用シ步兵ニ進路ヲ開キ且獲得セル地歩ノ領有間之ヲ掩護スル如ク之ガ用法ヲ規正ス

尙右ノ實施ニ方リテハ通常砲兵ノ掩護射撃ヲ用ヒテ防者ノ四圍ニ射彈ヲ集中シ以テ之ガ増援及退却ノ可能性ヲ奪フヲ可トス

第四百七 對陣正面ノ攻撃間砲兵火力ト步兵ノ運動トノ協調ハ通常時間表ニ依リテ行ハル

然レドモ此ノ時間表ニ依ル法ハ大ナル縦長又ハ長時間ニ互ル攻撃ノ場合ニ適用スルトキハ確實性ヲ失フニ至ルベシ

砲彈ノ進度ト攻撃部隊ノ進度トヲ協調セシムル爲ニハ步兵ニ防禦編成ト地形ノ状態トニ依ル困難

ヲ凌駕スルノ時間ヲ與フルコト緊要ナリ此ノ趣旨ニ於テ十分明確ニシテ認識容易且爾後ノ進出ニ適スル逐次ノ諸線上ニ適當ナル時間ノ停止ヲ豫定スルヲ可トス其ノ他視號通信、飛行機連絡及無線ヲ以テスル少數ノ簡明ナル協定ヲ設ケ置クトキハ戦闘部隊ノ要求ニ依リ緊急ノ場合ニ際シ必要ナル時間表ノ變更ヲ行ヒ得ベシ

第四百八 對陣正面ノ攻撃間通信ノ編成ハ第三百九十二ニ述ブル如ク計畫セララル

然レドモ師團内ニ於テハ規模小ナル攻撃ニ於ケル如ク直接ノ連絡法ヲ講ジ以テ中介ノ中央通信所ヲ經由セザルコトヲ得ベシ

第三章 師團ノ防勢戦闘

第四百九 師團ハ或ハ一定陣地ヲ退却ノ意志ナク保持シ或ハ退却機動ヲ爲シ或ハ退却戦闘ヲ行ハシメラルルコトアリ

第一款 退却意志ナキ防勢

第四百十 此ノ防勢ニ於テハ師團長ハ其ノ行動地域ニ於テ總ユル手段ニ依リ軍團長ノ定メタル抵抗陣地ノ保全ヲ確保スルノ義務ヲ有ス
之ガ爲左ノ手段ヲ用フ

火力 敵攻撃ノ組織ヲ解離セシメ次デ之ヲ阻止ス

運動 豫備隊ノ参加ニ依リ陣地ノ保全ヲ維持シ又ハ恢復ス

其ノ他師團長ハ敵ヲシテ成ルベク永ク我が陣地ノ正確ナル位置及其ノ占領兵力ヲ知ラシメザルニ努メ以テ奇襲ノ利益ヲ確保スルヲ有利トス

其ノ一 防禦陣地

第四百十一 師團ノ防禦陣地(抵抗陣地及前哨組織)ハ第二百四十九及其ノ以下ノ諸項ニ示ス一般

原則ニ從ヒテ考案セラル

抵抗陣地及之ニ伴フ主線ハ一般ニ天然又ハ人工ノ障礙物ニ依リテ掩蔽セラルルヲ要ス

阻止線ハ装甲兵器ノ深大ナル侵入ニ備フル爲同ジク爲シ得ル限り障礙物ニ依托セラルルヲ要ス尙其ノ經始ハ逆襲ニ有利ナル側面ノ活動ヲ容易ニスル如クセラル又同線ハ砲兵ノ掩蔽ヲ確保スルヲ要ス

抵抗陣地ノ縱深(第二百四十九)ハ防禦ニ次ノ可能性ヲ附與セザルベカラズ

各手段ノ集中ヲ避ケ以テ諸隊ノ損害ヲ減少スルコト

敵ヲシテ逐次攻撃ノ止ムナキニ至ラシメ且狀況ニ依リテ火力幕ノ設置ヲ可能ナラシムル爲各種

火器ヲ梯次セシムルコト

防禦陣地ノ編成簡略ナルカ又ハ之ヲ掩蔽スル障礙物ノ價值少キニ隨ヒ陣地ノ縱深ハ益々其ノ必要ヲ増加ス

此ノ縱深ハ障礙物ニ依リ阻止線ヲ掩蔽セントスルノ利益ニ依リ左右セラルルコト屢々之アリ

第四百十二 抵抗陣地ト前哨組織設置ノ一般條件トハ軍團長ニ依リ決定セラル(第三百五十八)軍

團長ハ其ノ他師團ノ地域内ニ於テ固持スベキ主要ナル方向竝ニ地區ヲ指示ス
師團長ハ之ニ依リテ實施スベキ防禦編成ノ要點(譯者註 第二百五十六ニ記載セル如ク抵抗中心據點等ヲ總稱ス)ヲ決定シ尙一般
彈幕射撃ヲ實施セント決心シタル地帯ト關連シテ主線ノ詳細ナル經始ヲ決定ス(第二百五十一)
前哨組織ハ第二百五十二ノ指示ニ準據シ編成セラル
前哨ノ任務ガ上級指揮官ヨリ定メラレザルトキハ師團長ハ特ニ陣地ニ於ケル防禦編成ノ進捗度ヲ
參酌シテ之ヲ確定ス
右ニ關シ師團長ハ抵抗陣地ノ防禦ニ其ノ兵力ノ最大限ヲ供スル爲極度ニ兵力ノ節約ヲ實行スルコ
トニ努ム有利ナル狀況特ニ抵抗陣地ガ重要ナル天然ノ障碍物ノ後方ニ設ケラルル場合ニ於テハ各
前哨ノ任務ハ單ナル監視ニ止ルコトアルベシ

其ノ二 防禦ノ編成及準備

第四百十三 師團長ハ地形ヲ迅速ニ偵察シタル後直後ノ攻撃ニ備フベキ命令ヲ下ス諸隊ハ抵抗陣

地上ニテ其ノ戰鬥位置ニ近ク且工事ノ實施ニ便利ナル如ク配置セラレ前哨ニ依リテ掩蔽セラレ尙
飛行機及裝甲兵器ニ對スル防禦ノ處置ヲ講ズ

1、防禦計畫

第四百十四 師團ノ防禦計畫(第二百五十四)ニハ左ノ事項ヲ決定ス

- 一般ノ狀況竝ニ敵ノ可能性
- 師團及隣接部隊ノ任務
- 機動ノ思想(遮斷スベキ主要方向及保守スベキ諸點)
- 抵抗陣地ノ經始(主線、阻止線、主ナル隔障部)
- 前哨組織(兵力、任務、各警戒及抵抗部隊ノ位置)
- 裝甲兵器ニ對スル防禦組織
- 配備(戰鬥部隊、砲兵、豫備隊)

隷下各部隊ノ任務(小地區、砲兵、工兵、航空隊等)
豫備隊ノ用法

實施スベキ工事ト其ノ緩急順序竝ニ彈藥及器材ノ補給品ノ區分
連絡ノ編成

主要ナル各司令所ノ位置

通信ノ編成

交通、補給及還送ノ編成

2、配備

第四百十五 防禦ニ於テ師團ハ通常聯隊ヲ併立シテ戦闘ス凡テノ階級ノ部隊ニ於テ指揮ハ縱長ニ
編成セラル

師團長ハ軍團命令ニ準據シ其ノ師團ノ諸隊ノ區分及任務ヲ定ム

戦闘配備ハ戦闘部隊、砲兵及師團豫備隊ヨリ成ル

第四百十六 戦闘部隊ハ主トシテ歩兵ノ大部ヲ以テ構成セラレ抵抗陣地上ニ縱長ニ梯次シテ配置
セラル

師團長ハ固守スベキ重要ナル諸點竝ニ要スレバ若干ノ抵抗中心及主要ナル支撐點ノ位置ヲ決定ス
又第一線ニ出スベキ大隊ノ數ヲ定メ次ニ師團ノ地區ヲ通常一聯隊ニ相應スル小地區ニ區分ス
各小地區ノ指揮官ハ同小地區内ノ各重要點ニ其ノ諸大隊ヲ配當ス

各間隔ハ特ニ之ガ兩側ニ在ル抵抗中心及支撐點ノ側防火ニ依リ掃射セラルルモ尙爲シ得レバ障礙
物ヲ以テ阻塞セラル尙夜間、濃霧及煙幕ヲ利用スル敵ノ潛入ヲ不可能ナラシムル爲間隔ニ少數ノ
兵員ヲ配置ス

各大隊ハ狀況ニ依リテ火線ノ連續ヲ恢復シ尙直接逆襲ヲ行フ爲必要ナル豫備隊ヲ控置シテ其ノ小
分地區内ニ占據ス

前哨ハ原則トシテ各小地區内ニテ抵抗陣地ノ防守ニ任ズル諸大隊ニ屬スル部隊ヲ以テ供セラル之
ニハ十分ノ通信手段ヲ屬スルコト常ニ有利ナリ

第四百十七 師團長ハ概シテ攻勢ニ於ケルト同ジク(第三百八十一)其ノ砲兵ヲ直接援助及全般任務ノ兩隊ニ區分シ其ノ直接援助砲兵ヲ師團ノ機動ノ思想ト關連シテ各小地區ニ配屬ス

砲兵ハ原則トシテ悉ク師團砲兵指揮官ノ隷下ニ在リ然レドモ特ニ防守スベキ正面ノ濶度及狀態ガ之ヲ必要トスルトキハ必要ナル總テノ分割ニ應ズベキモノナリ

歩砲間ノ連絡ハ攻撃ニ於ケルト同様ノ規定(第四百二)ニ從ヒ構成セラル

砲兵ハ第二百五十七ニ示セル如ク展開ス而シテ其ノ位置如何ヲ問ハズ各放列ハ自ラ近接防禦特ニ裝甲兵器ニ對スル自衛ノ處置ヲ講ズ

第四百十八 師團豫備隊ハ主トシテ參戰セザル歩兵及狀況ニ依リ戰車ヨリ成ル

師團長ハ多クノ場合戰鬥部隊ノ諸聯隊ヨリ若干大隊ヲ分割シテ其ノ豫備隊ヲ構成ス

豫備隊ハ抵抗陣地ノ後方ニテ或ハ戰線ヲ増援シ或ハ最モ有リ得ベキ狀況ニ適應スル逆襲ヲ實施シ或ハ敵ノ進入ニ際シテハ現地ニ於テ猶豫ナク防禦ニ立チ得ベキ位置ヲ占ム

師團ガ外翼ニ在ルトキハ豫備隊ハ暴露セル側面ノ掩護特ニ裝甲兵器ニ對スル防護ニ參加ス其ノ際師團豫備隊ハ完全ナル歩兵一聯隊ヨリ成ルヲ有利トス

此ノ場合偵察隊ハ師團ノ搜索竝ニ掩蔽ノ爲側面ニ出サル

3、地區ノ編成

第四百十九 地區ノ編成ハ主トシテ火器ノ配置、障碍物(特ニ對戰車用)ノ增強又ハ新設、指揮ノ諸機關ノ設置、交通及通信ノ設備ヨリ成ル

地區ノ編成ハ防禦編成計畫ニ記述セラル

此ノ編成ハ何時ニテモ防禦諸隊ヲ良好ニ利用シ得ル如ク漸次ニ指導セラル豫メ工事ニ偽裝ヲ施スコトハ極メテ重要ナリ

防禦編成計畫ハ破壊ニ關シ上級指揮官ヨリ師團ニ附與セラレシ任務ニ準據シタル破壊計畫ニ依リ補足セラル

敵ノ攻撃切迫セリト認メラルトキハ最モ緊急ヲ要スベキ工事ノミニ止ム(第二百六十五)

4、装甲兵器ニ對スル防禦

第四百二十 防勢ニ於ケル装甲兵器ニ對スル防禦ハ其ノ目的、要素竝ニ使用手段等何レモ攻撃ニ於ケル(第三百八十五)ト同様ナリ

此ノ防禦ハ師團ノ範圍内ニテ編成セラル。其ノ配備ハ防禦陣地ノ全縱長ニ互ルモノニシテ通常前方ヨリ逐次ニ左ノ如ク行ハル

前哨ニ於ケル諸隊ニ依リ構成スル一部隊

成ルベク一般彈幕射撃ト合致セシムルヲ常ニ有利トスル主ナル對戰車彈幕射撃

敵戰車ノ侵入ニ恰適セル通路ニ梯次セル對戰車火器ニ依ル内部彈幕射撃

砲兵、各司令所及後方ヲ掩護スル爲阻止線ノ齊頭面ニ作ル彈幕射撃

主トシテ建制ノ砲兵竝ニ師團固有ノ對戰車火器ニ依リ構成セラル。後方彈幕射撃

此等ノ彈幕射撃ハ連續的ナラザルモ可ナリ障碍物ニ依リ掩蔽セラレザル地域即チ防禦ノ弱點ヲ遮斷スルヲ以テ足レリトス

其ノ他側面ノ掩護ハ上級指揮官ニ依リ決定セラルル斜交陣地上ニ設クル特別ナル彈幕射撃ニ依リテ確保セラル

師團ニ臨時ニ配屬セラレ師團ガ豫備トシテ控置シアル各戰車隊モ亦敵装甲兵器ノ活動ヲ阻止スルニ使用セラル。此ノ諸隊ノ參戰ハ概シテ逆襲ノ形態ニテ發展スベク其ノ際活動ノ状態ニ在ル砲兵、歩兵及對戰車火器ハ敵戰車ノ攻撃ノ最モ豫想セラルル方向ヲ顧慮シテ定メラレタル豫定ノ範圍内ニテ之ガ援助、掩護及側面ノ掩蔽ヲ確保スベシ

此ノ防禦組織ノ全般ハ装甲兵器ニ對スル防禦計畫ニ記述セラル
装甲兵器ニ對スル防禦陣地ノ完全ナル編成ハ長時日ト莫大ナル器材トヲ要ス從ツテ猶豫ナク計畫セラレ間斷ナク遂行セラルルヲ要ス

5、通信ノ編成

第四百二十一 通信ノ編成ハ防禦ニ於テハ電話ノ使用ニ關シ若干ノ特殊性ヲ呈ス

通常師團ノ司令所ハ電話ニ依リテ各小地區ノ指揮官、歩砲ノ各指揮官竝ニ上級指揮官（狀況ニ依リ氣球及飛行場）ト連絡シアルヲ要ス

其ノ他電話ハ爲シ得ル限り歩、砲兵各大隊、更ニ歩、砲兵各中隊ノ司令所竝ニ重要ナル觀測所迄モ進メラル但シ敵ノ聽取ニ依リ中斷ヲ避クル爲總ユル豫防ヲ講ゼラルベシ
師團ノ司令所ト前哨トノ連絡ハ電話ニ依リ各小地區ノ指揮官ヲ介シテ行フヲ有利トス

其ノ三 戦闘ノ指導

第四百二十二 彼我ノ間ニ必要ノ地域アルトキハ師團長ハ第二百五十三ニ示セル條件ニテ敵ノ前進ヲ遲滯セシムル爲若干支隊ヲ先遣スルコトアリ

此等ノ支隊ハ敵ノ前進部隊ノ進出ヲ遲滯スルニ努ム之ガ爲之ヲ展開ノ已ムナキニ至ラシメ次ニ夜暗及地形ヲ利用シ之ヨリ離脱ス

1、前哨ノ戦闘

第四百二十三 前哨ガ師團長ヨリ明示セラレタル條件ニ於テ現地ニテ抗戦スベキ任務ヲ受クルトキ（第二百五十二）ハ其ノ戦闘ハ陣地防禦ノ爲ノ戦闘ト同様ナル特性ヲ呈ス前哨ハ編成セラレタル地形上ニ依托シ抵抗陣地ノ若干ノ歩兵重火器及各前哨ノ近傍及其ノ間隔ヲ射撃スル指定ノ砲兵部隊ニ依リ支持セラレ自己ノ火力ニ依リ歩兵及装甲兵器ニ對シ其ノ固守スベキ任務ヲ有スル各據點ヲ防守ス

此等前哨ノ後退及狀況ニ依リ抵抗陣地ノ前方ニ展開セラルル砲兵ノ退却ハ常ニ時間的（退却ノ時機及正面ノ各部ニ於テ之ガ同時ノ實施ヲ確保スルコト）ニモ地域的（退却軸及退却路）ニモ細密ニ準備セラル退却ノ命令下ルヤ其ノ運動ハ砲兵及有效ニ活動シ得ル状態ニ在ル抵抗陣地ノ歩兵火器ノ掩護ノ下ニ梯次ニ行ハル

敵ノ装甲兵器ハ特ニ晝間ニ於ケル前哨ノ退却ヲ不可能ナラシムルコトアリ

2、抵抗陣地ノ戦闘

第四百二十四 攻撃が切迫シアラザル間ハ抵抗陣地ノ防禦ニ充テラレタル諸隊ハ無益ノ疲勞ハ避ケツツモ所命ノ工事ヲ實施シ得ベキ條件ニ於テ其ノ戦闘陣地ノ附近ニ宿營ス
戦闘開始セラルルヤ師團長ハ極力抵抗陣地ノ保全ヲ維持スル爲其ノ火力ヲ運用シ且其ノ豫備隊ノ參加ヲ規正シテ其ノ戦闘ヲ指導ス

3、火力機動

第四百二十五 攻撃切迫スルトキハ師團長ハ軍團長ノ命令ニ基キ遮斷射撃、攻撃準備破摧射撃及狀況ニ依リ對砲兵戰ヲ命令ス歩兵ノ重火器ハ屢、遮斷射撃及攻撃準備破摧射撃ニ有效ニ協力シ得ベシ
攻撃進出スルトキハ歩、砲兵ハ協同ノ活動ニ依リ之ヲ破摧スルニ努ム密接ニ協調セル其ノ火網ハ

一般彈幕射撃(第二百五十一)及主ナル對戰車彈幕射撃(第四百二十一)ニ於テ互ニ相補足ス歩兵ノ彈幕射撃ハ砲兵ノ活動ニ比較的適セザル地域ニ於テ特ニ濃密ニ行ハル砲兵ノ阻止射撃ハ歩兵ガ其ノ彈道ノ低伸ノ爲十分射撃シ得ザル地部ヲ特ニ遮斷ス(第二百六十二)
歩兵ハ其ノ火力ヲ敵歩兵ニ集中シ以テ之ヲ整伏セシメ之ニ依リ戰車ノ活動ヲ擴張スル能ハザルニ至ラシム

此ノ戦闘期ハ通常決戰的ナルベシ
若シ敵ガ抵抗陣地内ニ地歩ヲ占ムルニ至ラバ歩兵及砲兵ハ其ノ突破口ノ周邊ニ連續セル火力幕ヲ張りテ其ノ前進ヲ局限スルニ努ム又陣地内ニ侵入セル敵ヲ其ノ豫備隊ヨリ中斷スル爲ニモ其ノ火力ヲ利用ス歩兵ハ戰車ニ跟隨スル歩兵ニ向ヒテノミ射撃スル爲戰車ノ通過ノ際ハ隱蔽ス

4、豫備隊ノ用法

第四百二十六 師團長ハ左記ノ爲ニ其ノ豫備隊ヲ使用ス

抵抗陣地上ニテ敵ノ得タル局地的成功ヲ局限ス

抵抗陣地ノ保全ヲ恢復ス

前者ノ場合ニ於テハ豫備隊ハ第二百六十九ニ示セル條件ニ於テ利用セラレ
後者ノ場合ニ於テハ豫備隊ハ先ヅ敵ヲ阻止シ次ニ敵ヲ其ノ獲得セル陣地ヨリ驅逐スル爲逆襲ス
戰闘部隊ノ諸隊(聯隊又ハ大隊)ハ其ノ控置セル小部隊ヲ以テ直接ノ逆襲ヲ實施ス此等ノ豫備隊ハ
猶豫ナク參戰シ其ノ活動ハ自動兵器ノ火力ニ依リ尙爲シ得レバ直近ニ在ル戰車隊竝ニ參加シ得ル
砲兵ニ依リ援助セラル斯クノ如キ活動ハ豫想シ得ベキ各種ノ狀況ノ下ニ研究シ準備シアルヲ要ス
師團ノ豫備隊ハ豫メ戰線ヲ強固ニシタル後總テノ攻撃ノ如ク各兵種ノ協同活動ニ依ル一層重要ナ
ル逆襲ヲ實施スルヲ得而シテ之ガ爲ニハ時間ノ餘裕ヲ要スルモノ之ヲ最小限ニ減少スルニ努ム裝甲
兵器ヲ有スル敵ニ對シテハ戰車ヲ使用スルコト必要ナリ此等ノ作戰行動ヲ豫想シ師團長ハ豫メ偵
察ヲ行ヒ且之ニ應ズル活動計畫ヲ立ツルモノトス此ノ逆襲ハ迅速ニ活動スルノ必要アルヲ以テ砲
兵ノ直チニ爲シ得ル可能性ニ應ジテ逆襲ノ軸線ヲ決定シ制限アル目標ヲ選定シ且現地ニ在ル豫備
隊ヲ利用スルコトトナルベシ砲兵及戰車ノ十分準備セル活動ハ常ニ其ノ發展及成功ヲ大イニ容易

ナラシムベシ

第二款 退却機動

第四百二十七 近接戰闘ヲ避ケツツ敵ノ前進ヲ遲滯スル爲ニハ師團長ハ軍團命令、地形ノ狀態及

活動正面ノ廣狹ヲ考慮シテ敵ニ與フベキ抵抗時間ニ從ヒ第一梯隊ノ編組ヲ決定ス

次ノ梯隊ハ第一梯隊ノ後方ニテ十分選定セル諸點ニ第一梯隊ノ退却ニ必要ナル兵力ヲ配備(之ヲ
要スル場合)セラレタル後、豫備部隊ニ依リテ編成セラレ

各梯隊ハ同一展開地ノ敵砲兵ヨリ損害ヲ蒙ラザル如ク所要ノ距離ニ配置セラレ

退却機動ニ於テハ縱長ニ於ケル指揮ノ行使ヲ確保スル爲通常各聯隊ヲ併立スルヲ有利トスベシ

此ノ戰闘期ニ於テ特ニ恐ルベキ敵裝甲兵器ノ攻撃ニ備フル爲各梯隊ヲ天然ノ障碍物ニ依リ掩護シ
尙該障碍物上ニ破壊ヲ豫定スルノ必要ハ第一ニ考慮スベキコトナリ但シ之ニ依リ縱ヒ簡單ニセヨ
對戰車防禦組織ノ設置ノ必要ヲ除外スルモノニアラズ

退却ハ通常夜間ニ實施スルヲ要スベシ但シ狀況特ニ有利ナルトキハ晝間ノ離脱ヲ試ミ得ルコトアリ例ヘバ濃霧、煙幕、蔭蔽地ヲ利用シ得更ニ又装甲兵器ヲ有スル場合ノ如シ装甲兵器ハ正ニ敵ニ急迫セラレアル歩兵ヲ晝間有利ニ離脱シ得シム

既ニ退却中ナル部隊ヲ尙現地ニ實在スルカノ如キ誤信ヲ敵ニ與フル爲少數ノ兵員ヲ敵ニ編接セシメ置クコトハ屢、可能ニシテ又常ニ有益ナリ

空中防禦ノ部署ニ依リ爲シ得ル限り退却ノ経路ヲ掩蔽ス

第三款 退却

第四百二十八 師團長ハ退却ノ命令ヲ受ケタルトキハ使用シ得ル諸隊ヲ以テ一ノ後衛ヲ編組シ以テ之ヲ軍團長ヨリ決定セラレタル線上ニ配置ス尙最大限ノ砲兵ヲ以テ之ヲ援助シ且之ト隣接師團ノ後衛トノ連絡ニ注意ス

交戦セル諸隊ハ夜ニ入ル迄防守ニ努メ夜間ニ退却運動ヲ實施ス其ノ不可能ナルトキハ現地ニ殘置スル若干ノ戦闘部隊ノ掩護ノ下ニ晝間戦線ノ後退ヲ行ヒ次デ後衛ノ正面ヲ避ケテ漸次退却シ敵ト離脱ス

師團長ハ其ノ諸隊ヲ軍團長ヨリ指定セラレタル退却方向ニ指向シ又諸隊ヲ確實ニ其ノ手裡ニ復歸セシムル如ク諸隊ニ集合點ヲ指示ス尙軍團長ヨリ命ゼラレタル破壊ノ實施條件ヲ明示ス

後衛モ亦其ノ任務ヲ達成シタルトキハ退却ニ移ルベシ
装甲兵器、對戰車火器、煙幕及防空隊ノ用法ニ關シ退却機動ノ爲述ブル諸指示ハ此ノ退却ニモ適用セラル

第四款 防勢ノ特別ノ場合

第四百二十九 此ノ種ノ作戰ハ第五篇ノ對應條項(第二百七十七、第二百九十一、第二百九十二)ニ示セル諸規定ニ準據シ指導セラル

第九篇 騎兵大單位部隊ノ使用ニ關スル總則

第一章 特性及使用上ノ原則

第四百三十 騎兵大單位部隊ノ特性ハ其ノ運動性ト其ノ火力ノ偉大トニ在リ其ノ攻撃的價値ハ之ニ配屬スル砲兵及裝甲兵器ノ兵力量ニ正比例ス

此ノ大單位部隊ハ膨大ニシテ特ニ路上交通ヲ混雜セシメ易ク又其ノ被損傷性及脆弱性竝ニ其ノ維持及補充ニ要スル困難ニ依リ幾多ノ束縛ヲ受ク

第四百三十一 騎兵大單位部隊ノ指揮官ハ其ノ受ケタル任務ニ基キ第四ニ示セル指導原則ニ據リ其ノ機動ヲ計畫ス該指揮官ハ他ノ總テノ指揮官ヨリ一層克ク其ノ兵種ノ運動性ニ適應セル企圖心ト其ノ受ケタル任務上必要トスル獨斷トヲ以テ迅速、正確且簡明ナル決心ヲ取り得ザルベカラズ

第四百三十二 騎兵大單位部隊ノ機動ハ該部隊ヲ構成スル各種ノ要素即チ乘馬、自動車化及裝甲諸隊ノ使用ヲ調和連合セシムルヲ要ス

此ノ機動ハ諸手段ヲ連合セル攻撃力ヲ最モ有利ナル正面ニ集中スル爲膨大ナルモ強力ナル機動集團ヲ地形及敵情ノ如何ニ拘ハラズ迅速且安全ニ移動セシムルヲ主眼トス

此ノ機動ハ其ノ指揮ノ統一ヲ要スルト同時ニ當該大單位部隊内ノ各部隊ガ其ノ任務ノ範圍内ニ於テ獨斷的ニ行動シ得ル爲其ノ實施ノ分散的ナルヲ必要トス

騎兵大單位部隊ノ指揮官ハ主トシテ左記ノ諸項ノ確保ニ依リテ自己ノ活動ヲ行ヒ且其ノ機動ニ統一ヲ附與ス

決心ノ因子タル情報

活動ノ自由ヲ保證スベキ警戒

機動ヲ實施シ且不時ノ事變ニ應ジ得ル配備

第四百三十三 騎兵大單位部隊ノ戰鬥ハ他ノ大單位部隊ノ戰鬥ト同ジク主力ノ活動ノ爲選定セル正面上ニ各手段ノ協調セル使用ト攻撃力ノ迅速ナル集中トヲ行フヲ要ス

攻勢ニ於テ騎兵大單位部隊ノ指揮官ハ先ヅ敵情ヲ偵察シ敵ヲ廣正面ニ互リ抑留スルニ努メ以テ爲シ得ル限り最大ノ手段ヲ以テ之ヲ一ノ方向上ニ攻撃ス又逐次ニ努力ヲ傾注スルヨリモ寧ろ奇襲威

力竝ニ機動ニ依リ成功ヲ求メ當初ヨリ全兵力ヲ參戰セシムルニ躊躇スベカラズ

之ガ爲要スレバ正面ト一翼トノ活動ヲ併用シ敵ノ弱點ヲ捉フル爲其ノ諸隊ノ移動性ヲ利用ス

防禦陣地ニ據ル敵ニ對シテハ騎兵大單位部隊ハ歩兵大單位部隊ト同要領ニテ戰鬥ス其ノ際ニハ歩兵ト同様ノ諸手段ヲ附與セラルルヲ要ス

防勢ニ於テ其ノ移動性竝ニ其ノ自動火器ノ多數ナルコトハ地形上ノ斷絶ニ依托セル騎兵大單位部隊ヲシテ廣正面ニ互ル抵抗ヲ實施シ得シム但シ其ノ抵抗期間ニハ限度アリ

騎兵大單位部隊ハ其ノ特性上特ニ敵ヲ遲滯スベキ行動ニ適ス之ニ反シ退却意志ナキ防禦ハ例外ノ場合ニテ且砲兵其ノ他陣地保持ニ適スル部隊ヲ十分ニ増援スルニアラザレバ之ニ要求スベキモノニアラズ

第二章 騎兵集團

第四百三十四 騎兵集團ハ迅速ナル攻勢又ハ防勢ノ活動ヲ發揮スルコトヲ得其ノ威力ハ集團ノ編

組内ノ師團ノ種類(騎兵師團、機械化輕師團、自動車化步兵師團、場合ニ依リ步兵師團)、數並ニ増援部隊ニ依リ差異アリ

騎兵集團長ハ其ノ企圖スル機動ニ關連シテ隸下大單位部隊ニ任務ヲ與ヘ以テ其ノ活動ノ範圍ヲ決定ス又常ニ豫備隊ヲ控置ス

第一款 騎兵集團ノ機動

第四百三十五 騎兵集團長ハ第七ニ示セル諸見解ヲ參酌シテ其ノ機動計畫ヲ定メ之ニ依リテ情報ノ蒐集、警戒並ニ行軍ノ部署ヲ編成ス

騎兵集團長ノ必要トスル情報ハ其ノ機動ノ思想ニ依リ定ムルモノニテ空中搜索隊及隸下各師團ヨリ取レル兵力ニテ編組セル地上搜索隊ヲ以テ之ガ蒐集ヲ確保ス

集團長ハ此等兩搜索隊ノ任務及方向ヲ決定シ兩者ノ活動ヲ緊密ニ協調セシム

集團長ハ又遠距離警戒ノ見地ニ於テ各師團ガ夫々ノ警戒支隊ヲ出スベキ概略ノ諸線ヲ決定ス是騎

兵集團ノ周圍ニ逐次ノ安全地帯ヲ作り其ノ内部ニ於テ集團長ガ全ク自由ニ其ノ機動集團ヲ移動シ得ンガ爲ナリ

集團長ハ近距離警戒ノ見地ニ於テハ各師團ノ前衛ノ任務及目標ヲ確示ス

集團長ハ空中掩蔽ヲ編成シ又ハ之ガ爲ニ所要ノ要求ヲ提示ス又騎兵集團ニ配屬セラレタル補助兵力ノ一部ヲ任務ニ隨ヒ各師團ニ分屬ス

集團長ハ最後ニ集團ノ配備並ニ機動ノ實施條件ヲ決定ス之ガ爲ニハ左ノ諸件ヲ定ム

各師團ノ方向並ニ活動地域

各師團主力ノ到達スベキ逐次ノ横方向線、轉位ノ時間表又ハ基準部隊、連絡法

豫備隊ノ位置

道路網ノ領有ヲ確保スル爲採ルベキ處置

第二款 騎兵集團ノ戰鬪

第四百三十六 騎兵集團ノ攻撃戰闘ハ通常正面ノ大部ニ於テ防勢的態度ヲ採リ攻撃スベキ方向上ニ各手段ノ集中ヲ行フ

之ガ爲騎兵集團長ハ攻撃前ノ機動中ニ敵ニ關スル情報ノ到著スルニ從ヒ其ノ決心ヲ練リ之ヲ決定ス又攻撃力ヲ集中スベキ方向ヲ選定シ以テ其ノ戰闘計畫ヲ確立ス

戰闘計畫定マルヤ集團長ハ各師團ニ夫々ノ任務、方向、目標及行動地域ヲ示シ且其ノ時迄控置セル兵力或ハ受動正面ヲ保持スル各大單位部隊中ヨリ適時ニ抽出シ得ベキ補助兵力ノ一部ヲ各師團ニ分屬ス

集團長ハ原則トシテ其ノ直接隷下ニ砲兵ノ一部及常ニ豫備隊ヲ存置ス

狀況ニ依リテハ(運動中ノ敵ニ對スル攻撃、追撃ノ場合等)受動正面ニ依リ分離セラレ又ハ相接スル逐次又ハ同時ノ數攻撃ヲ爲スヲ至當トスルコトアリ此等各攻撃ニハ其ノ重要度ニ應ズル手段ヲ配屬ス

騎兵集團長ハ集團ノ砲兵指揮官ヲ介シテ各師團砲兵及集團砲兵ノ活動ヲ統制ス

第四百三十七 退却機動ノ場合ニハ騎兵集團長ハ退却ノ各期ニ占領スベキ逐次ノ陣地、之ガ占領

時間的諸條件及特ニ各陣地上ニテ敵ニ與フベキ抵抗度ヲ決定ス又破壞計畫ヲ定ム

各陣地ニ配屬スベキ兵力ノ區分ハ特ニ前項ノ決定ニ基キ行ハルルモノトス

騎兵集團ガ退却意志ナク陣地ヲ防守セザルベカラザルトキハ集團長ハ防禦陣地(抵抗陣地及前哨)及各師團ノ任務ヲ決定ス又遮斷スベキ主要ナル各方向及保有スベキ諸點ヲ明示ス尙其ノ全般ニ就キテハ此ノ種防禦ニ關シ第五篇(第二百四十八)ニ述ベタル一般規定ニ準據ス

防勢ニ於テハ概シテ各師團ヲ併立スルヲ有利トス

第三款 騎兵集團使用ノ特別ノ場合

第四百三十八 廣正面防禦ノ形態ヲ呈スル掩護ニ於テハ騎兵集團長ハ之ニ關シ第二百九十二ニ述ベタル諸規定ヲ適用ス

若シ優勢ナル敵ニ壓迫セラルトキハ退却機動ヲ爲シ得ベキ準備ニ在ルヲ要シ且之ガ爲ニ八十分多數ノ豫備隊ヲ豫メ偵察セル各退路上ニ配置シ置クヲ要ス

第四百三十九 會戰正面ニ於テハ騎兵集團ハ例外ノ場合ニ他ノ大單位部隊ノ如ク使用セラルルコトアルモ其ノ特性殊ニ其ノ機動上ノ能力ヲ利用スル如ク配慮セラル其ノ際同集團ニハ其ノ任務ニ應ズベキ増援諸隊ヲ配屬セラル

第三章 騎兵師團

第四百四十 騎兵師團ノ馬匹及機械化ノ兩手段、自動火器ノ裝備竝ニ其ノ輜重ノ自動車化ハ此ノ大單位部隊ニ威力ト移動性トヲ附與ス

第四百四十一 騎兵師團ハ其ノ諸手段ニ相應スル任務ヲ受クルヲ要ス

騎兵師團ニ與ヘラルル命令ニハ主トシテ左ノ諸項ヲ含ムモノトス

任務、方向、行動地域、定マレル時間的條件ニ於テ到達スベキ諸目標

蒐集スベキ情報ノ種類竝ニ之ヲ送達スベキ場所及時間

敵ト遭遇セル場合ニ取ルベキ態度

師團長ハ之ニ基キテ其ノ機動計畫ヲ立テ之ニ依リ逐次ノ命令ヲ下ス而シテ此ノ逐次ノ命令ニ依リ師團長ハ其ノ部下ニ直接關係アル限ラレタル期間内ノ師團ノ機動ヲ實施スルモノトス
此等ノ命令ニハ特ニ左ノ件ヲ明示ス

情報ノ探求(地上及空中ノ搜索)

警戒

師團ノ部署

搜索及警戒ニ關シテハ騎兵集團ノ部ニ述ブル諸指示ヲ準用ス

部署ハ任務、地形及狀況ニ依リ變化ス有利ナル地形ニ於テ且所要ノ地域アルトキハ自動車化部隊ハ速力ニ觸接ヲ取り得ル其ノ能力ニ依リ第一線トスルヲ可トス乘馬部隊ハ指揮官ガ其ノ企圖スル機動ノ爲之ニ指定セル各位置ニ遠距離ヨリ指向セラレツツ最モ迅速ニ路上ヲ前進ス

困難ナル地形ニ於テ且敵ヨリ近距離ナルトキハ之ニ反シ装甲兵器ニ依リ支援セラルル乘馬部隊ヲ第一線ニ使用シ自動車化部隊ヲ第二線ニ存置スルヲ有利トス

師團ノ諸隊ヲ縱深ニ梯次スルコトト乘馬部隊及機械化部隊ノ混淆ヲ避タルコトトノ二箇ノ必要ハ

此ノ大單位部隊ヲ狀況ニ適合セル戰術的集團ニ區分スルニ至ラシム

此ノ各集團ハ任務、方向、行動地域、敵ト遭遇ノ場合取ルベキ態度及指揮官ヲシテ其ノ機動ヲ統制シ得シムベキ逐次ノ躍進ニ關シ指示ヲ受ク

努力ノ分散ヲ避ケ且戰鬪ニ於テ自己ノ活動ヲ行使スルノ手段ヲ留保セン爲騎兵師團長ハ前記ノ各集團ノ指揮官ガ其ノ獨斷ニテ參戰セシメ得ベキ兵力ヲ制限ス

第四百四十二 騎兵師團ノ攻撃戰鬪ハ本篇第一、第二章ニ述ブル諸規定ニ從ヒテ開始セラレ且發展ス

師團長ハ其ノ攻撃上ノ目的ニ依リテ主攻擊點ヲ或ハ敵ノ正面ニ或ハ其ノ一翼ニ選定ス
其ノ活動ハ全砲兵及全裝甲兵器ニ依リ援助セラレ

第四百四十三 騎兵師團ノ防禦戰鬪ハ若シ地形ノ斷絶部ニ依托セラルトキハ廣正面ニ發展スルコトヲ得之ガ爲ニハ機動ヲ可能ナラシムベキ頗ル移動性アル豫備隊（凡ユル地形ヲ行動シ得ル車載龍騎兵、自動自轉車兵、裝甲自動車、戰車）ノ編成ヲ必要トス強力ナル敵ニ對スル抵抗時間ハ兵員及砲兵寡弱ナルトキハ制限セラレ

退却機動ニ於テハ師團長ハ其ノ兵力ノ一部ヲ以テ第一陣地ヲ防禦シ他ノ部隊ヲ以テ更ニ後方ノ一陣地ノ防禦ヲ準備スル如ク其ノ計畫ヲ立ツ其ノ兩陣地ノ距離ハ敵ヲシテ逐次ノ兩攻撃ヲ餘儀ナクセシムル爲十分ナルヲ要ス

各陣地ノ選定ニ方リテハ機動上斷絶及障礙物ノ呈スル利益ヲ重視スベシ師團長ハ所命ノ全持久時間竝ニ逐次ノ陣地夫々ノ防禦價值ヲ參酌シテ各陣地上ニテ敵ニ與フベキ抵抗ノ時間ヲ決定ス
其ノ他師團長ハ其ノ諸隊ニ指揮ノ編成、逐次ノ諸陣地、配備、各陣地ニ對スル諸隊ノ配當、砲兵ノ任務、退却ノ諸條件ヲ指示ス又實施スベキ破壊ニ關シテハ上級官憲ノ訓令ニ據ル

退却意志ナキ防勢ニ於テハ騎兵師團ハ步兵師團ノ如ク戰鬪ス其ノ際ニハ必要ナル増援（砲兵、機關銃大隊等）ヲ受ク師團長ハ馬匹及車輛ノ宿營間ノ配置竝ニ防護ヲ細心ニ監視ス蓋シ其ノ保全ハ爾後ノ作戰遂行ノ主要條件タレバナリ

退却ニ於テハ騎兵師團ハ裝甲兵器ヲ増援セル後衛ニ依リ自ラ掩護ス戰鬪ヨリ離脱セル諸隊ハ新ナル機動部署ヲ取ル爲定メラレタル地域迄速カニ退却ス

騎兵師團ハ騎兵集團ニ關シ示セル條件ニ於テ掩蔽又ハ會戰正面ニ使用セラルルコトアリ

第四章 機械化輕師團

第四百四十四 機械化輕師團ハ其ノ移動性、其ノ活動半徑竝ニ其ノ火器ヲ防護セルコトニ依リテ特性アル兵力ナリ

情報ヲ遠距離ニ探求スル裝備ヲ有シ且自己ノ保安ヲ確保シ得ル此ノ師團ハ所要ノ増援ト共ニ騎兵大單位部隊ニ課セラルベキ總ユル任務ヲ達成スルヲ得特ニ自動車化大單位部隊ニ必須ナル情報及保安ヲ確保スルヲ得

其ノ多數ナル裝甲兵器ハ該師團ヲシテ攻勢ニ於テ突如且猛烈ナル活動ヲ供スルコトヲ得シメ又其ノ自動火器ノ裝備ハ之ヲシテ防勢ニ於テ廣正面ニ互ル地區ヲ有效ニ遮斷スルコトヲ得シム

機械化輕師團ノ車載部隊ト裝甲部隊トノ比例ハ其ノ使用條件ニ適合セシム

車載部隊ハ地區ヲ領有シ得ル能力ニ依リテ速カニ火力幕ヲ作り裝甲兵器ノ攻撃ヲ支援シ其ノ奪取セル諸目標ヲ領有スルコトヲ得

裝甲部隊ハ機械化輕師團ノ爆藥的要素ヲ構成ス其ノ活動様式ハ攻撃ト逆襲トニ在ルモ逆襲ハ敵ノ對戰車火器ニ對シ我が機關銃及對戰車兵器ノ射撃ト砲兵及飛行隊トニ依リ掩護セラルルヲ要ス其ノ成功ハ奪取地區ノ領有ニ依ラザレバ決定的タラズ而シテ此ノ領有ヲ確保シ得ルハ獨リ車載部隊ノミナリ

機械化輕師團ハ其ノ攻防上ノ特性ヲ發揮スル爲ニハ之ニ課セラルル特種ノ任務ニ適當セル増援諸隊ヲ他ノ總テノ部隊ヨリ以上ニ受ケ之ヲ利用シ得ルヲ要ス

此等ノ増援部隊ハ特ニ左ノモノヨリ成ルベシ

防勢ニ於テハ對戰車部隊、歩兵及砲兵部隊特ニ機關銃大隊等

攻勢ニ於テハ飛行隊、戰車隊、砲兵特ニ牽引式砲兵、狀況ニ依リ自動車化歩兵等

機械化輕師團ハ斯カル増援ヲ使用スル爲指揮ノ手段及特ニ完備セル通信手段ヲ有シアルヲ要ス

第四百四十五 機械化輕師團ニ委セラレ得ベキ主ナル任務次ノ如シ

大單位部隊ノ爲ニ搜索任務 機械化輕師團ハ四十乃至六十軒ノ正面ニテ百乃至百五十軒ニ達スル距離ニ時速十五乃至二十軒ノ進度ヲ以テ若干ノ搜索支隊ヲ派遣スルコトヲ得

警戒任務。作戰ノ初期ニ於テハ掩蔽部隊又ハ其ノ豫備ニ充當セラレ作戰中ニ於テハ自動車化部隊ノ戰鬪加入ノ掩蔽ニ或ハ攻防ノ機動ヲ實施スル諸隊ノ正面又ハ側面ヲ遠ク掩護スルニ任ズ。會戰參加ノ任務。攻勢會戰ニ在リテハ敵正面ノ突破後交通網ヲ橫斷シテ侵入シ或ハ他ノ大單位部隊ノ攻撃ト時間的ニ其ノ活動ヲ連繫シテ敵ノ一翼ヲ速カニ包圍ス成功後ニハ其ノ速度上ノ特性ハ追撃ニ於テ最モ完全ナル其ノ用途ヲ有ス。防勢會戰ニ在リテハ退却機動ヲ行ヒ或ハ豫備ニ控置セラレテ突破口ヲ閉塞スル爲又ハ勝誇レル敵ヲ逆襲スル爲參加スルコトヲ得。

航空隊ト機械化輕師團トノ活動ノ連合ハ特ニ有效ナリ

第四百四十六 機械化輕師團ノ用法ノ原則ハ騎兵師團ノ爲ニ述ブル所ト同一ナリ唯之ヲ更ニ廣キ範圍ニ於テ更ニ減少セル時間内ニ適用スルヲ適當トス而シテ之ガ爲ニハ特ニ迅速且簡潔ナル決心ヲ必要トス。攻勢ニ於テ機械化輕師團長ハ其ノ機動集團ガ頗ル膨大且迅速ナルニ依リ一層迅速ニ情報ヲ蒐集シ且一層遠ク掩護セラルル必要アルコトヲ考慮シテ其ノ搜索竝ニ警戒ノ方法ヲ講ズ。

師團長ハ猶豫ナク戰鬪隊形ニ移リ得ル如ク機械化輕師團ノ行軍部署ヲ決定ス尙其ノ機動ニ必要ナル道路網ノ制壓ヲ確保ス。

機械化輕師團ハ騎兵師團ト同ジク戰術的ノ集團ニ區分セラル此等集團ノ編成ニハ同一指揮官ノ隸下ニ師團ノ諸隊ヨリ取レル部隊ヲ一時的ニ集結スルヲ要スルコト屢アリ。

機械化輕師團ノ攻勢機動ハ其ノ迅速ヲ特性トス之ガ爲指揮官ハ第四百三十二ニ示セル諸規定ヲ適用ス。

原則トシテ攻撃部隊ハ車載部隊ニ依リ構成セラレ發進基地ヨリ出發シ同部隊ノ火力及砲兵火ニ支援セラレテ前進ス奇襲シ得タル敵ニ對シテハ自己ノ火力以外ニ他ノ支援ナクトモ裝甲兵器ヲ猛烈果敢ニ發進セシムルヲ有利トスルコト屢ナリ。

機械化輕師團長ハ常ニ豫備隊ヲ存置ス又失敗ノ場合ニ應ズル退却陣地ノ占領ヲ豫定ス。防勢ノ狀況ニ於テ機械化輕師團ハ速カニ火力幕ヲ張り有效ナル阻止的活動ヲ行ヒ退却機動ニ參加シ特ニ爾後ノ陣地ニ向ヒ退却スル部隊ヲ掩蔽スルニ適ス。

第十篇 自動車化大單位部隊ノ使用ニ關スル總則

單一章

第一款 特性

第四百四十七 自動車化大單位部隊ハ左ノモノヨリ成ル

全部ヲ自動車化シアル軍團建制諸隊

自動車化歩兵師團但シ其ノ諸隊中ニハ左ノ二種アリ

其ノ兵員ノ全部ヲ輸送スベキ手段ヲ建制的ニ有スル部隊

其ノ兵員ノ一部ノミヲ輸送スベキ手段ヲ建制的ニ有スル部隊

以上ノ如キ編組ニ依リ自動車化大單位部隊ハ其ノ全部ノ輸送ノ爲ニハ編成外ノ諸隊ニ多大ノ援助ヲ乞ハザルベカラズ

第四百四十八 戰略的移動性ハ此ノ大單位部隊ノ本質的ノ特性ナリ

偵察ノ實施、戰鬪ニ必須ナル連絡ノ設定、砲兵及豫備隊ノ移動竝ニ補給ノ實行（遠隔セル基地ヨリ行フ場合ニ於テモ）等ヲ迅速ニ行ヒ得ル當大單位部隊ノ特性ハ其ノ戰術的用法ノ爲裨益スル所大ナリ

然レドモ他面自動車化ハ相當大ナル拘束ヲ課スルモノナリ其ノ諸隊ノ大部ガ道路ニ束縛セラレアルコトト其ノ膨大ニシテ被損害性大ナルコトトニ依リ此ノ自動車化大單位部隊ハ自ラ警戒ヲ確保スルニ適セス而モ此ノ警戒ハ其ノ主力ノ運動竝ニ下車ノ爲必須ノ條件タルナリ輸送間ハ主力ニハ如何ナル活動ヲモ禁ゼラレアリ戰場ニ進入スルニ先ダチ始メテ下車セザルベカラザルナリ

第四百四十九 自動車化大部隊ハ其ノ可能性ノ全般ヨリシテ次ノ如キ特異ノ點ヲ有ス

高等統帥部ノ手裡ニ戰略的ノ大移動性ヲ有スル最モ適當ナル豫備隊ヲ成形ス

此ノ部隊ノ各級ノ指揮官ハ自動車ニ依ル機動ノ特異性ニ適合スルコトヲ要求セラレ

其ノ正面及側面ニ對スル警戒ヲ絶對ニ保證スベキ掩蔽ノ下ニアラザレハ其ノ主力ヲ移動シ得ズ下車後ノ會戰又ハ戰鬪ニ於テハ自動車化ニアラザル大單位部隊ト同一ノ戰術條件ニテ使用セラ

ル

第二款 任務及使用條件

第四百五十 自動車化大單位部隊ハ戰術又ハ戰略的ニ緊急ノ性質ヲ帶ブル左ノ如キ任務ヲ達成スルニ特ニ適當ス

會戰ニ於テハ或ハ攻勢活動ノ發展又ハ完成（例ヘバ決勝的進出、正面ノ延伸又ハ潰亂セル部隊ノ追撃）ノ爲或ハ失敗後ノ戰勢ノ恢復（突破口ノ閉鎖、逆襲）ノ爲所望ノ地點ニ各豫備隊ノ迅速ナル集中ヲ行フコト

自由ナル地區ニ於テハ一翼ヨリ溢出シ又ハ包圍シ掩蔽ヲ實施シ敵ノ進出ヲ捉ヘ交通線ニ對シ活動スル等機動ヲ發展セシムル爲敵ニ先ヅ有利ナル地方ニ到達シ之ヲ利用スルコト

第四百五十一 運動ノ諸條件ハ之ガ既存ノ戰線ノ掩護下ニ行ハルト否トニ依リ異ナレリ

第一ノ場合ニ於テハ各自動車化大單位部隊ハ自動車隊ニ依ル部隊輸送ノ普通ノ條件ニ於テ安全ニ

其ノ運動及下車ヲ行フコトヲ得

之ニ反シ第二ノ場合ニ於テハ自動車化大單位部隊ノ使用ハ其ノ行軍地域ノ前方及兩側ニ有效ナル掩蔽ヲ設ケ以テ其ノ主力ノ運動、宿營及下車ノ安全ニ備ヘ得ベキ諸隊ト協力スルニアラザレバ考慮スルヲ得ズ之ガ爲同一指揮官ノ下ニ左ノ諸部隊ヲ集結セル自動車化集團ヲ編組スルヲ有利トス
自動車化大單位部隊

騎兵師團(機械化輕師團又ハ普通ノ騎兵師團)及刻下ノ一般狀況ガ要求スル安全ヲ保證スルニ足ル兵力ノ航空部隊

自動車化集團ハ其ノ他其ノ輸送ニ必要ナル輜重ノ自動車集團竝ニ其ノ任務ニ適應セル増援諸隊(自動車砲兵、自動車機關銃大隊、戰車隊及對戰車火器等)ヲ受ク

第三款 指揮

第四百五十二 自動車化集團ノ機動ハ恒久的ノ指導原則(第四)ニ立脚シテ行ハルト雖モ狀況ノ頻

繁ナル變化、屢々未詳ナル敵ヨリ遠キニ在リテハ其ノ計畫ノ決定不可能ナルコト竝ニ指揮官ハ時機到來スルヤ誤レル機動又ハ縱隊ノ長時ノ駐止ヲ來スコトナクシテ迅速ニ其ノ決心ヲ取ラザルベカラザルコト等ニ依リ亦影響ヲ受ク

自動車機動ノ此等ノ特殊性ハ指揮官ヲシテ次ノ諸點ニ著意セシム

敵ノ活動、其ノ移動ノ手段及條件竝ニ接敵地域ノ特性ニ就テ迅速ニ且遠距離ヨリ情報ヲ得ルコト

部隊又ハ縱隊ノ運動、其ノ下車地域ノ選定竝ニ其ノ後ノ部署ニ關スル決心ニ於テ迅速且簡潔ナルコト

之ガ爲自動車化集團ノ指揮官ハ其ノ主力ヨリ大イニ先行シ其ノ移動ヲ細心ニ研究シ特ニ前進司令部ヲ利用シテ自己ノ司令部ヲ區分スルヲ要ス前進司令部ハ既ニ設置セラレ且直チニ擴張セラルベキ通信網ト關連シテ選定セラレ其ノ機動ハ移動性アル縮小セルモノト爲スヲ要ス又指揮官ノ逐次ノ命令ハ簡略ニシテ連絡及通信ノ方式モ亦此ノ迅速ナル指揮法ニ適合セザルベカラズ
指揮官ハ其ノ決心ヲ簡明確切ナル命令ニ表現シ得ベキ幕僚ニ依リ又夫々委托セラルル任務ノ範圍

内ニ於テ判斷ト獨斷トノ能力アル部下ニ依リ輔佐セラルルヲ要ス

第四款 搜索及警戒

第四百五十三 自動車化集團ガ自由ナル地區ニ於テ隨ツテ既存戰線ノ掩蔽ヲ享有スルコトナクシテ移動セザルベカラザルトキハ其ノ搜索ハ航空隊及之ト協同シテ作戰スル騎兵大單位部隊ニ依リ確保セラレ警戒ハ騎兵大單位部隊、各偵察隊、前衛及側衛ノ連合セル活動ニ依リ保證セラル

第四百五十四 搜索ハ一般ノ規定(第二百二十八)ニ依リテ編成セラル

第四百五十五 自動車化集團ノ運動、宿營又ハ下車ノ警戒ノ爲ニハ同集團ガ其ノ行軍行程ノ終末ニ於テ到達スベキ宿營地域又ハ下車地域ヲ掩護シ且行進地域ノ兩側ヨリスル敵ノ近接ヲ遮斷スルニ適スル斷絶地又ハ防禦ニ有利ナル地線ヲ主力ノ移動ニ先ダテ領有スルヲ要ス
隨ツテ各警戒機關ガ進出シ且占據スルヲ要スル位置ハ左ノ如シ

前方ニ於テハ指揮官ガ其ノ主力ヲ移動セシメント決定セル行軍行程ニ相當スル距離タルコト但

シ狀況、集團ノ前進速度及敵ガ利用スベキ輸送手段ノ種類ニ關シ得タル情報ニ依リテ判定セル敵ノ速度ヲ參酌ス

側面ニ於テハ適當ナル距離タルコト

此等ノ見解ヨリシテ自動車化集團ノ警戒ハ第三篇(第三百三十四)ニ述ブル方法トハ異ナルモノトナルベシ是警戒上ノ總ユル努力ハ此ノ特種ノ場合ニ在リテハ到着セル宿營地域及暴露セル側面ノ掩蔽ノ爲ニノミ行使セラレザルベカラザルヲ以テナリ

此ノ趣旨ニ於テ各前衛及側衛ハ近距離ノ警戒ヲ保證スベキ任務ニアラズシテ次ノ如ク遠距離警戒ニ參加スベキ任務ヲ受ク

若シ地形有利ニシテ狀況モ之ニ適セバ騎兵大單位部隊ニ依リ既ニ編成セル防禦ヲ支持ス

此ノ掩蔽ニ縱長ヲ與ヘンガ爲ニ騎兵大單位部隊ニ依リ保有セラルル陣地ノ後方及附近ニ位セル有利ナル陣地上ニ占據ス

前衛及側衛ハ自動車化大單位部隊ノ各偵察隊ニ依リ搜索並ニ掩蔽ヲ受ケテ前進シ騎兵大單位部隊ヨリ受クル諸情報ニ適應シテ其ノ機動ヲ行フ

第四百五十六 集團ノ指揮官ハ各警戒機關ノ任務ヲ明示ス

該指揮官ハ時宜ニ依リテハ此等偵察隊ヲ車載歩兵、裝甲兵器及對戰車火器ニ依リテ増援ス

該指揮官ハ又前衛及側衛ニハ地形ノ特殊性ヲ顧慮シ且此等ガ實施スベキ防禦ノ努力ニ應ズル編組ヲ附與ス尙敵ガ破壊ヲ行ヘル場合ニハ其ノ通過點ヲ補繕シ又ハ阻塞セラレアル經路ヲ解放スル爲之ニ工兵及所要ノ器材ヲ配屬スルコトニ注意ス

該指揮官ハ騎兵ヲシテ道路網ノ狀態ニ關シ情報ヲ蒐集セシム之ガ爲該騎兵ニ専門的技術員ヲ附ス又交通ノ編成ニ充當スベキ諸隊ヲ警戒諸機關ニ跟隨シテ進マシム

第四百五十七 運動ノ空中掩蔽ハ第三百一及其ノ以下ニ示セル一般條件ニ於テ實施セラル集團ノ指揮官ハ此ノ趣旨ニ於テ航空隊及防空隊ノ一指揮部ヲ編成ス

其ノ他各隊ハ特別ニ意ヲ用ヒテ其ノ直接警戒ニ努ム(第五百五十五及第五百五十六)

第五款 運動

第四百五十八 各警戒機關ガ其ノ陣地ニ據レルトキハ主力ノ運動ハ警戒セラレアル多角形ノ内部ニテ實施セラルルヲ得從ツテ敵ト遭遇ノ可能性ナクシテ自動車輸送ノ最大能率ヲ得ベキ條件ニ於テ行ハル

第四百五十九 之ガ爲主力ノ運動ハ概ネ次ノ如ク編成セラル

行軍部署ノ錯綜竝ニ被害性ヲ減少スル爲道路網ヲ十分ニ利用ス

其ノ各種ノ縱隊ヲ集團ニ編合區分シテ行軍部署ヲ成ルベク自在性アラシメ且被害性ヲ減少ス

參戰ノ爲必須ナラザル各部ノ諸隊ヲ悉ク後方ニ置キ以テ戰鬥諸隊ヲ輕クス

交通ノ細密ナル準備及編成、正確ナル技術的軍紀竝ニ連絡及通信ノ良好ナル運營ニ依リ移動ノ

秩序及正確ヲ保全ス

第四百六十 各縱隊ノ編合區分ハ或ハ各兵種ノ戰術的集團ニ依リ或ハ同一兵種又ハ同一移動性ノ諸隊ノ集團ニ依リテ行ハル前者ハ其ノ車載諸隊ガ下車後直チニ參戰スベキ各警戒機關ノ爲ニ又後者ハ概シテ大單位部隊又ハ主力ノ諸隊ノ爲ニ適用ス

第四百六十一 自動車化集團ハ自動車行軍隊形ニ於テハ廣表面ヲ呈シ從ツテ通視セラレ易ク且被

害性大ナルヲ以テ主力ノ接敵ハ周到ナル空中防禦ノ掩護下ニテ且時間的及地域的ニ諸縱隊ヲ梯次スルコトニ依リ危險ヲ減少スルニ努ムルニアラザレバ晝間ニ行ハルルコトヲ得ズ夜間ノ運動ハ其ノ能率減少スルニ拘ラズ主力ノ爲ニハ最モ屢々用ヒラル主力ノ運動ノ全部ヲ同一夜間ニ行ハシムルハ常ニ有利ナリ斯クノ如クセバ其ノ運動ヲ晝間ニ始メ或ハ之ヲ晝間迄延長スルニ依リ生ズベキ運動ノ祕密ノ暴露ヲ避クルヲ得ベシ

第六款 部署ノ配置及會戰

(譯者註 部署ノ配置トハ部署ヲ攻撃發進基地又ハ防禦線ニ就カシムルコトノ意ナリ)

第四百六十二 空中及地上ノ強大ナル掩蔽ニ拘ラズ自動車化集團ノ部署ノ配置ハ其ノ接敵行動ノ最モ困難ナルモノナリ

輸送セラレタル部隊主力ノ下車ハ一般ニ敵ノ長重砲ノ射程外ニテ且爲シ得ル限り夜暗カ然ラザレバ地形上ノ遮蔽ニ依ルニアラザレバ行フベキモノニアラズ

自動車化大單位部隊ノ主力ハ其ノ下車後ニ他ノ大單位部隊ノ接敵及配置ニ關スル規定ニ依リテ其

ノ攻撃又ハ防禦ノ位置ニ向ヒ前進セシメラル

第四百六十三 自動車化大單位部隊ノ會戰ノ指導ハ自動車化ナラザル大單位部隊ノ爲ニ既述セル諸條件ニ於テ確保セラル

第十一篇 大單位部隊使用ノ特別ノ場合

單一章

第一款 山地ニ於ケル作戰

第四百六十四 山地ニ於ケル大單位部隊ノ作戰ハ本教令ニハ記載セズ附錄教令中ニ之ヲ説述ス

第二款 水流

第四百六十五 水流ハ其ノ渡河點ノ破壊後ハ大單位部隊ノ前進ニ抗シ又ハ之ニ反シテ其ノ防禦ノ價值ヲ増大スルコトヲ得ベキ最モ重要ナル障碍物ノ一ヲ構成ス

第十一篇 大單位部隊使用ノ特別ナル場合

其ノ一 水流ノ通過

第四百六十六

騎兵及歩兵ノ輕部隊ニ水流ヲ通過セシムルコトハ比較的容易ナリト雖モ之ニ反シ大單位部隊主力ノ渡河ハ其ノ河川ガ一層廣ク深ク且急流ナルニ從ヒ益々莫大ナル手段ヲ豫メ準備スルノ必要アリ故ニ所要手段ノ集結ハ之ニ要スル期間ニ應ジ長期ニ互ル豫測ヲ必要トス多クノ場合ニ於テ先頭部隊トシテ障碍物ニ到達セル諸隊ハ敵ニ其ノ抵抗ヲ編成シ又ハ之ヲ補強スルノ時間ヲ與フルコトナク直チニ奇襲ニ依リ渡河ヲ企圖シ得ルコト緊要ナリ故ニ先頭ノ諸隊ガ其ノ渡河ニ最モ適スル部署ヲ以テ渡河ニ最モ有利ナル水流ノ地區ニ近接シ得ル如ク總ユル處置ヲ講ズルハ大單位部隊ノ指揮官ノ責務ナリ同指揮官ハ其ノ成功ガ該大單位部隊ノ機動上一層有益ト認メラルル諸隊ニ豫メ建制上及増援ノ渡河手段竝ニ隸下ニ在ル工兵ノ特業人員ヲ分屬ス

奇襲ニ依ル渡河ハ河川ニ到達セル全部隊ニ依リ全正面上ニ企圖セラル此等ノ諸隊ハ先ヅ敵岸ニ游泳ニ依リ又ハ制式或ハ應用材料ノ斷續的渡河手段(譯者註 舟筏、門橋等ノ意)ニ依リテ小部隊ヲ渡河セシムルニ努ム

各級ノ指揮官ハ其ノ有スル兵員ニ比例セル正面及縱深ヲ有シ且初期ノ渡河點ヲ掩護スベキ小橋頭堡ヲ敵岸ニ作り以テ局部的ノ總ユル成功ヲ擴張スルノ責務ヲ有ス

此等ノ橋頭堡ハ正面及側面ノ活動ニ依リ逐次ニ補強シ且増大セラル

水陸兩用ノ装甲兵器ハ其ノ獨自ノ手段ニ依リ最モ深キ水流ヲモ通過スルヲ得但シ之ガ使用ノ爲ニハ豫メ偵察ヲ要シ且或ル場合ニハ近接ノ工事ヲ要ス若シ装甲兵器ガ推進機ニ依リ水面ヲ馳走スルモノナルトキハ其ノ偵察ハ之ガ著水及著陸ヲ可能ナラシムベキ堤防ノ諸點ニ及ブベシ又無限軌道ニ依リ水底ヲ走ル装甲兵器ノ爲ニハ河底ノ性質ヲ調査スルヲ要シ尙屢々水深測定ノ要アリ

第四百六十七

敵ガ對岸ヲ占據シ其ノ火力ガ奇襲ニ依ル渡河ノ企圖ヲ失敗セシメタルトキハ渡河ハ各手段ノ集結後ニ強行セラル此ノ強行渡河ハ敵火ノ集中ヲ避クル爲廣大ナル數箇ノ地域ニ互リ行ハル此等ノ地域ハ技術的ノ能否ヲ顧慮シ且爾後ノ機動ニ適應スル如ク指揮官之ヲ選定ス此ノ作戰ハ次ノ三階段ヨリ成ル

斷續的ノ渡河手段ニ依リ又或場合ニハ小橋ニ依リ先頭部隊(騎兵又ハ歩兵次ニ装甲兵器ノ小部隊及輕砲兵ノ一部)ノ渡河

橋梁ノ架設又ハ復舊
主力ノ渡河

第四百六十八 此ノ作戰ハ我ガ河岸ニ據レル砲兵、騎兵又ハ歩兵ノ火力ノ掩護下ニ實施セラル此等ノ火力ハ對岸ヲ有效ニ射撃シ以テ彈丸ノ橋頭堡ヲ構成スル如クシ其ノ掩護ノ下ニ騎兵又ハ歩兵ノ部隊ハ斷續的渡河手段ニ依リ又狀況ニ依リテハ小橋ニ依リテ渡河ヲ行フ

此等ノ先頭部隊ニハ對戰車火器ヲ十分配屬ス

水陸兩用ノ又ハ斷續的ノ手段ニ依リ輸送セラルル各裝甲兵器ハ右ノ如ク構成セラレタル初期ノ橋頭堡ヲ擴大スル爲有效ニ協力スルコトヲ得ルコトアリ

輕砲兵ノ若干部隊ハ次ニ斷續的手段ニ依リ渡河スルコトヲ得

最初ニ渡河スベキ諸隊ハ若干期間我ガ河岸ヲ領有シアリテ河川及敵岸ノ觀察ニ慣レタル諸隊中ヨリ選定セラルルヲ要ス

第四百六十九 橋頭堡ガ十分ナル縱深ト堅確度トヲ有シ河川及其ノ兩岸ヲ敵歩兵ノ照準セル機關銃火竝ニ敵ノ近距離展望所ノ通視ヨリ免レ得シメタル後ニアラザレバ架橋ノ成功ヲ期スルコトヲ

得ズ此ノ架橋命令ハ指揮官ヨリ與ヘラル

架橋作業間斷續的手段又ハ小橋ニ依ル渡河ハ戰線ヲ補充スル爲交戰部隊ノ軸線上ニ引續キ行ハル事實攻撃ハ橋頭堡ヲ擴大シ以テ渡河點ヲ益、完全ニ敵ノ砲火ヨリ免レシムル爲間斷ナク遂行セラ

ルナリ

空中攻撃竝ニ裝甲兵器ノ侵入ニ對スル各渡河點ノ防禦ニ關シテハ指揮官ノ不斷ノ顧念ヲ必要トス

第四百七十 主力ノ重車輛部隊ノ通過ハ各橋梁ノ交通開カルルヤ指揮官ノ規定スル所ニ從ヒ始メラル

渡河ノ順序ハ作戰ノ發展ト關連シテ定メラル

主力渡河ノ當初ニ於テ敵岸上ニ過大ノ部隊ヲ集ムルコトハ攻略セル地區ノ縱深ガ全ク安全ニ此等ヲ容ルルニ足ラザル限リハ避クル必要アリ

各大單位部隊ニ對シ架設スベキ橋梁ノ數ハ前方ニ對スル運動及補給ノミナラズ後方ニ對スル莫大ナル還送ヲモ可能ナラシムルニ足ルヲ要ス

第四百七十一 夜暗及濃霧ハ渡河特ニ先頭部隊ノ爲ニ有利ニ使用セラル

渡河ノ爲特ニ適切ナル時機ハ拂曉直前ノ時間ナリ事實之ニ依レバ戰鬥員ヲシテ最後ノ夜暗竝ニ此時機ニ頻繁ニ發生スル霧ニ依リ其ノ渡河ヲ秘匿シ得シメ而モ敵岸ニ到着セルトキハ其ノ方向ヲ定ムルニ足ル通視ヲ得シムベシ

強行渡河ヲ實施スルトキハ砲兵ハ攻撃開始時ニ發射スル最初ノ射彈ガ直チニ有效ナル如ク凡テノ所要ノ處置ヲ講ズ

人工的煙幕ハ渡河作戰ノ各期ニ於テ頗ル有效ナル掩護ヲ構成ス

其ノ使用ハ夜間又ハ濃霧ノ利用ト同様ナルヲ以テ架橋開始ノ時機ヲ早カラシム

其ノ二 水流ノ防禦

第四百七十二 退却意志ナク水流ノ防禦ヲ爲ス場合ニ於テハ森林、叢林、水車、工場等屢、兩岸ヲ蔭蔽スルモノノ存在ニ依リテ強大ナル密度ニ占領スルヲ要スルコトアリ

火網ハ敵岸、水流上及兵員竝ニ器材ヲ隱蔽シ得ベキ近距離ノ蔭蔽地竝ニ敵岸迄ノ各近接路ヲ有效

ニ射撃スルヲ要ス

一般彈幕射撃ハ多クハ河川上ニ行ハルベシ是抵抗主線ハ我が河岸ノ緣端ニ在レバナリ

防禦ノ努力ハ戰術的竝ニ技術的見地ヨリ敵ノ攻撃ニ最モ有利ナリト認メラル諸點ニ指向セラル

對戰車防禦ハ水陸兩用戰車ノ企圖ニ最モ適當セル水流ノ部分上ニ增強セラル

輕砲數門ハ或場合ニハ我が河岸ノ堤防上ニ側防的ニ布置セラルルコトアリ

防禦ハ堰ニ依リテ水準面ヲ隆起セシメ兩岸ノ堤防ヲ削減シ徒涉場ヲ破壊シ拒馬及固定地雷ヲ沈設

シ又ハ我が河岸ノ附近ニ鐵條網ヲ布置スル等ニ依リ障礙ノ價值ヲ増大スベシ

陣地ハ我が河岸ニテ十分ナル縱深ヲ有シ以テ敵ノ創設スル總ユル橋頭堡ノ擴大ヲ阻止シ得ベキ斜

交陣地ヲ設ケ得シムルヲ要ス

對戰車防禦モ亦障礙ヲ突破シ得タル敵裝甲兵器ノ活動ヲ制壓シ得ル爲陣地ノ縱長竝ニ隔障部上ニ

編成セラル

若シ敵ガ一橋頭堡ヲ保有スルニ至レバ砲兵及飛行隊ハ敵前進部隊ノ阻止ニ協力スルト共ニ敵ノ渡河點ヲ主目標トスベシ此ノ渡河點ハ其ノ他尙敵ヨリ攻撃セラレアル正面ノ上流ニ於テ特ニ夜間ニ

投下スル浮游水雷ニ依リテモ攻撃シ得ベシ

第三款 森林及住民地

第四百七十三 森林及住民地ハ諸運動(特ニ接敵、部署ノ配置、戦闘ノ離脱)及宿營ヲ地上及空中ノ通視ヨリ免レ得シム又或程度ニ敵火ニ對シテ防護シ且安易ニ掩蔽部及障碍物ヲ設置シ得シム之ニ反シ森林及住民地ハ之ニ進入シ又ハ之ヲ占領スル大小部隊ノ連繫ヲ破リ諸兵種ノ使用殊ニ其ノ協同ニ絶大ナル困難ヲ來スモノナリ特ニ裝甲兵器ノ強大ナル活動ハ通過地域ノ稀少ナルト之ニ障碍物ヲ設置スルノ容易ナルトヨリ頗ル不利ナリ

第四百七十四 防勢ニ於テハ蔭蔽セル地方ノ占領ハ其ノ當初ニ於テ多數ノ歩兵ノ配置ヲ要ス爾後諸工事ニ依リ通過不能ノ受動地域ヲ作り得之ニ依リ其ノ兵員ハ減少シ得ルニ至ル森林及住民地ハ天然ノ支撐點ヲ構成シ防者ニハ裝甲兵器ノ攻撃竝ニ地上及空中ノ通視ヨリ免レテ各火器ヲ配置スルコトヲ得シム陣地占領ニ方リテハ森林及住民地ハ眞先ニ占領セラルベク次デ諸

工事ノ進捗ニ伴ヒ其ノ外方ニ防禦ヲ延長シ得シムベシ防禦ノ努力ハ正面ト同様ニ側方及後方ニモ及サルヲ要ス

森林及住民地ハ敵ノ砲撃及飛行機爆撃ノ好目標タリ其ノ面積小ナルトキハ眞ノ彈巢トナルコトアリ

防禦主線ハ屢、敵ノ正確ナル射撃ニ暴露シアル緣端自體ニハ通常之ヲ設ケズ其ノ内部ニ於テ逐次ノ火線ヲ設ケ後方ニ向フ進出路ヲ制壓スル爲若干ノ複廓ヲ編成ス豫備隊(歩兵及裝甲兵器)ハ複廓ノ附近又ハ更ニ後方ニ在ル支撐點内ニ保持セラレ以テ敵ノ溢出機動ニ對抗ス
攻勢ニ於テ大森林地帯及大住民地ハ迅速且決定的ノ活動ノ爲ニハ之ヲ避クルヲ要ス
繁茂セル森林竝ニ住民地ハ原則トシテ縱深攻撃ノ目標トナラズ之ヲ溢出スルヲ常則トス唯主力ガ溢出機動ヲ實施スル間其ノ緣端ノ攻撃ニ若干ノ兵員ヲ充當ス而シテ包圍ニ次デ之ヲ掃蕩スルヲ必要トスルコトアリ

然レドモ其ノ廣袤竝ニ其ノ位置ノ關係上直接ノ攻撃ヲ必要トスルコトアリ
其ノ攻撃ハ正面ノ緣端ヲ奪取セル後、側方ノ緣端ヨリ前進スルニ努ム若シ攻撃成功セザルトキハ